

令和 2 年度 神戸市子ども・子育て支援事業計画
及び神戸市次世代育成支援対策推進行動計画
「神戸っ子すこやかプラン 2024」の検証について

神戸市

もくじ

ページ

1	検証の概要	
(1)	神戸っ子すこやかプラン 2024 の策定	1
(2)	検証の方法	1
2	計画の検証	
(1)	教育・保育施設の利用状況（令和3年度）	2
(2)	保育所・認定こども園・小規模保育等定員数・待機児童数の推移	3
(3)	市民（保護者）調査結果	4
(4)	施設利用者調査結果	15
(5)	事業所調査結果	54
3	地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について	60
4	令和2年度 主な事業進捗状況	62

1 検証の概要

(1) 神戸っ子すこやかプラン 2024 の策定

平成 15 年 7 月に制定された次世代育成支援対策推進法及び平成 24 年 8 月に制定された子ども・子育て支援法に基づき、令和 2 年 3 月に子ども・子育てに関する総合計画である「神戸っ子すこやかプラン 2024」を策定し、子育て支援を総合的に進めている。

(2) 検証の方法

本計画の点検・評価については、各施策の実施状況、各施設・事業の利用実績、利用者アンケートによる市民意見等を把握し、PDCA サイクルに基づいて、毎年度「神戸市子ども・子育て会議」において検証する。

検証の手法としては、国の指針に示されているとおり、計画全体の進捗状況の評価するため、統計調査の利用やアンケート実施等により、個別事業を束ねた施策レベルと個別事業レベルにおける進捗状況を点検・評価する。

【施策レベルの指標例】

施策	評価指標
地域における子育て支援	①子育てに関して不安感や負担感を持つ保護者の割合
	②子育てについて、気軽に相談できる人(近所の人・友人)がいる保護者の割合
	③希望した時期に保育サービスを利用することができたと感じる割合
職業生活と家庭生活との両立の推進	④仕事と生活の調和の実現が図られていると感じる割合(希望と現実の差)

施策レベルの成果を段階的に補足する評価指標として、個別事業の「認知度、利用度、達成度(満足度)」の設問を設定

〈検証資料〉

①教育・保育施設の利用状況

「住民基本台帳に基づく人口(町丁目別・年齢別)」(令和 3 年 4 月 1 日現在)の 0～5 歳の人口に占める、保育所、認定こども園、幼稚園、小規模保育、事業所内保育、家庭的保育を利用する児童数の割合を調査することで各種施設等の利用状況を把握するとともに、待機児童と上記施設等の定員の状況を確認する。

②「神戸っ子すこやかプラン 2024」検証アンケート

・市民(保護者)アンケート調査

3 歳児健診を受診する児童の保護者を対象に、個別事業・施策の「認知度、利用度、満足度」を調査

・施設利用者アンケート調査

施設利用者を対象に、各施設・施策の「満足度」を調査

[アンケート実施施設]

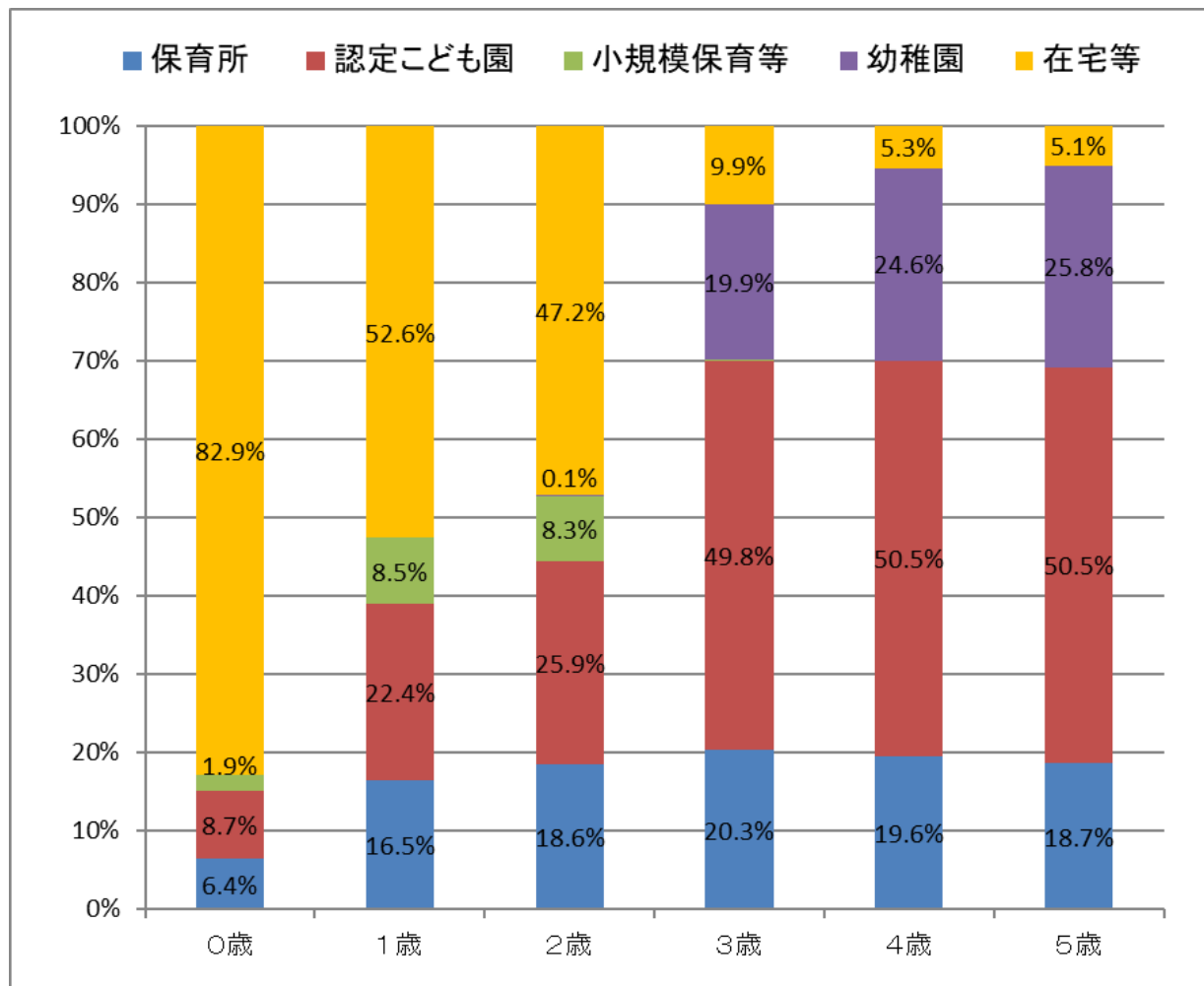
保育所、認定こども園、幼稚園、児童館、大学と連携した子育てひろば、学童保育(民設)、一時保育、子育てリフレッシュステイ、病児保育、ファミリー・サポート・センター、小規模保育、事業所内保育、家庭的保育
※児童館、学童保育(公設)については、別途実施する「児童館の指定管理者による管理運営状況の評価に関するアンケート」を活用

・事業所アンケート調査

市内の従業員 101 人以上の事業所を対象に、各事業所での子育て支援の取組み状況を調査

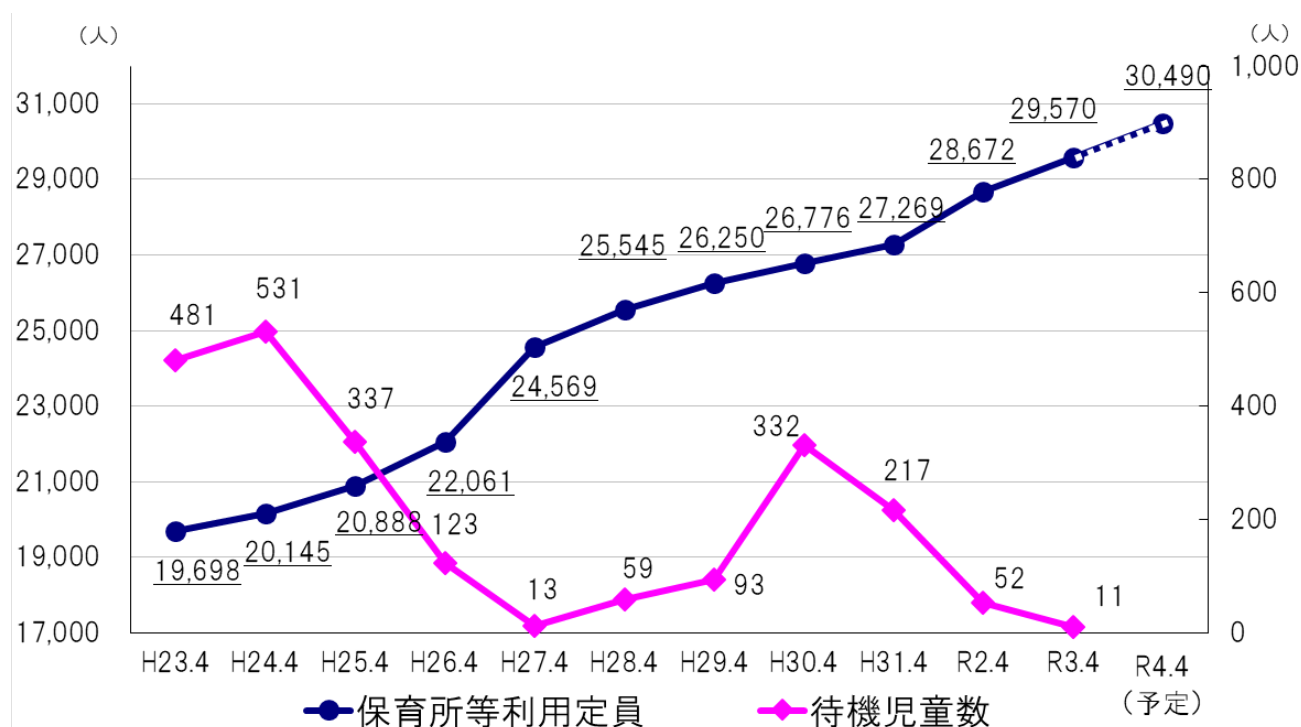
2 計画の検証

(1) 教育・保育施設の利用状況（令和3年度）



就学前児童（0～5歳児）の教育・保育施設の利用状況を見てみると、0歳児は82.9%、1～2歳児では、50%前後と在宅での育児比率が高い。3歳児では90.1%が、5歳児になると94.9%が幼稚園・認定こども園・保育所へ入所している状況である。

(2) 保育所・認定こども園・小規模保育等定員数・待機児童数の推移



保育所・認定こども園・小規模保育等定員数と待機児童数の推移をみると、平成26年度の約2,500人分の保育枠の拡大に伴い、平成27年4月の待機児童数は13人と前年に比べ大幅に減少したものの、女性の就労機会の増加などを背景に保育所等の利用希望者数の増加により、平成30年4月は332人、平成31年4月の待機児童は217人という結果となっていた。毎年度、保育枠の拡大を図ってきたが、令和元年度にはさらに約1,400人分・令和2年度には約900人の保育枠を拡大したことにより、令和3年4月の待機児童数は過去最少の11人にまで減少している。

引き続き、地域の保育ニーズを把握しつつ、保育の受け入れ枠の確保を図っていく。

(3) 市民（保護者）調査結果

1 調査方法

3歳児健診を受診する児童の保護者に対し、

(1) 問診票に調査票を同送し、健診の場で回収。

(2) 問診票に二次元コードを記載したアンケート依頼文を同送し、WEB サイトから回答を収集。

2 調査期間

令和3年9月

3 配布等

(1) 健診の場で回収

①配布数 469 セット

②回収数 310 サンプル

③回収率 66.1%

(2) WEB 回答

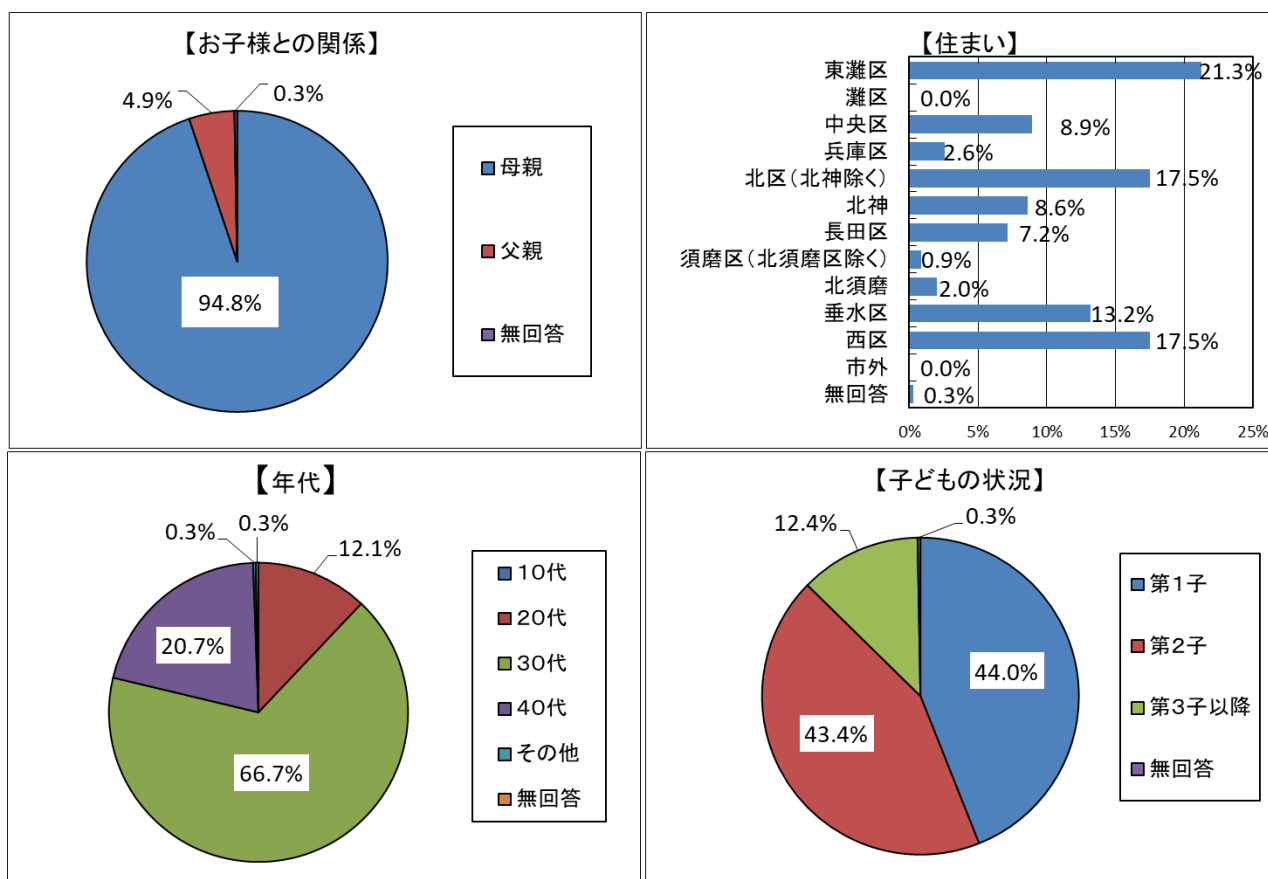
①配布数 372 セット

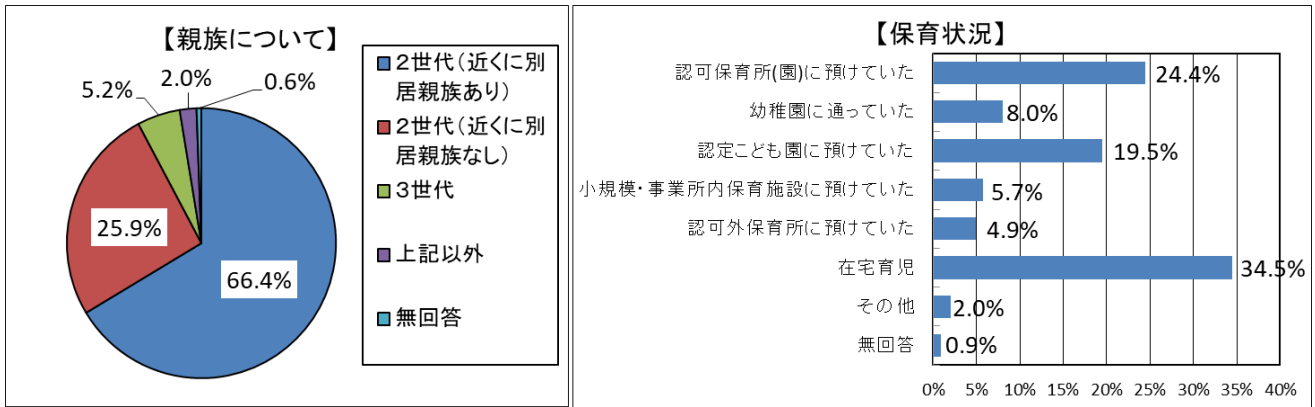
②回収数 38 サンプル

③回収率 10.2%

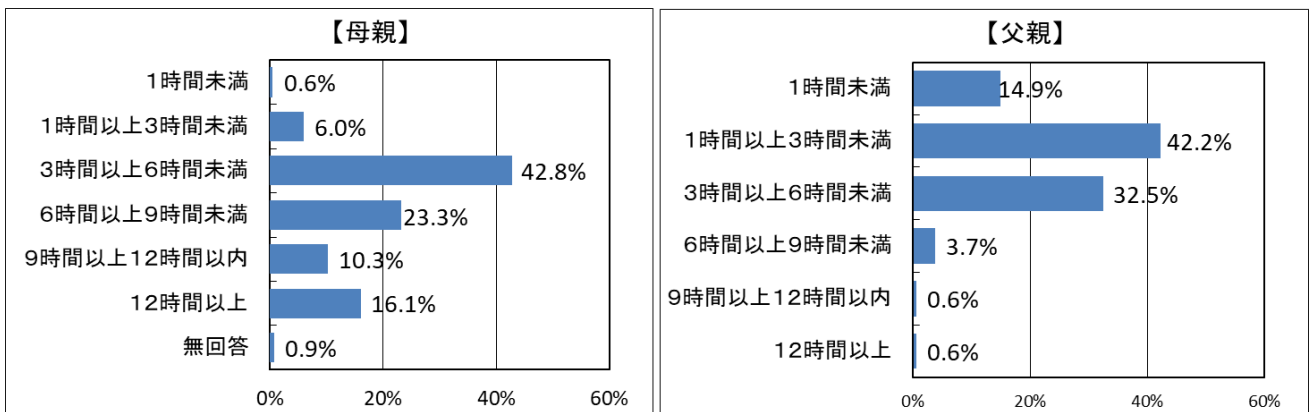
4 調査結果

(1) 回答者の属性

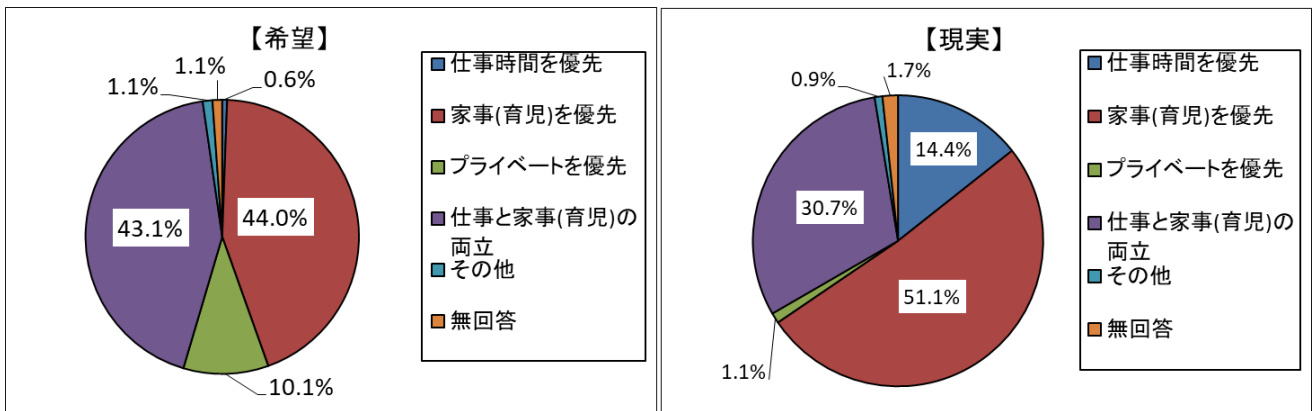




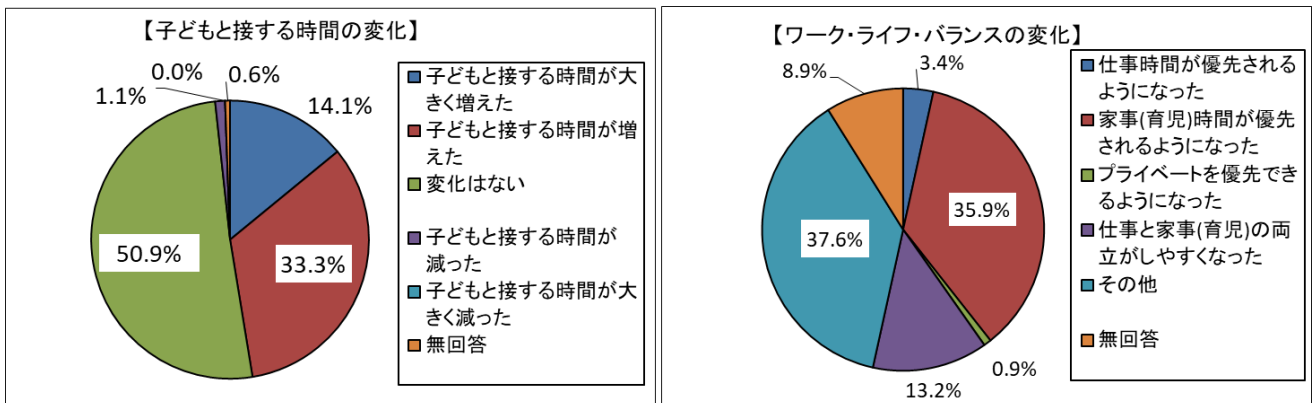
(2) 一日平均どれくらい子どもと接していますか(睡眠時間を除く)。



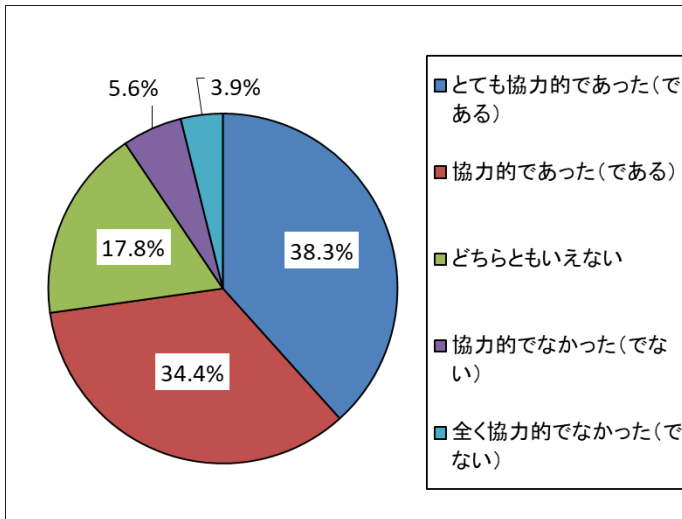
(3-1) 「仕事時間」と「家事(育児)」「プライベート時間」の優先度



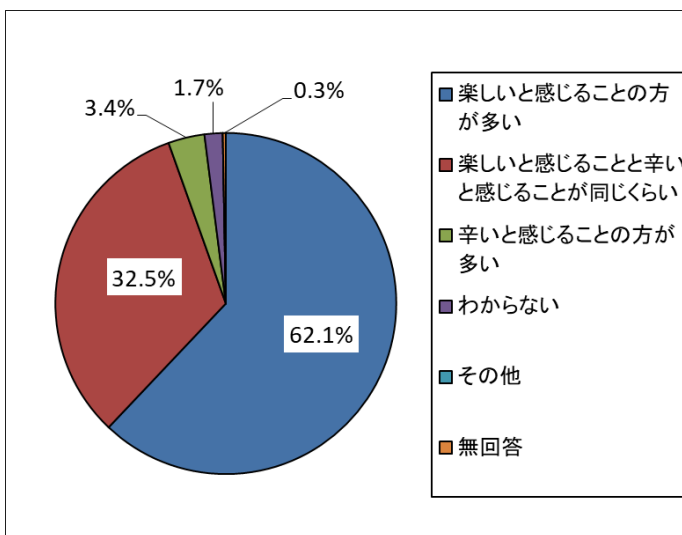
(3-2) 新型コロナウイルスの影響で接する時間やワーク・ライフ・バランスに変化はありましたか。



(4) 育児休暇制度・短時間勤務制度の利用について、職場は協力的か。(n=180)



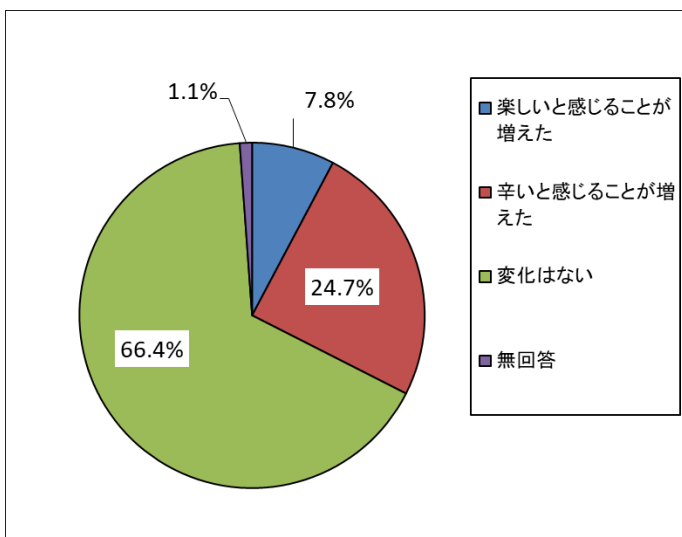
(5-1) 子育てを楽しんでいると感じることが多いかどうか



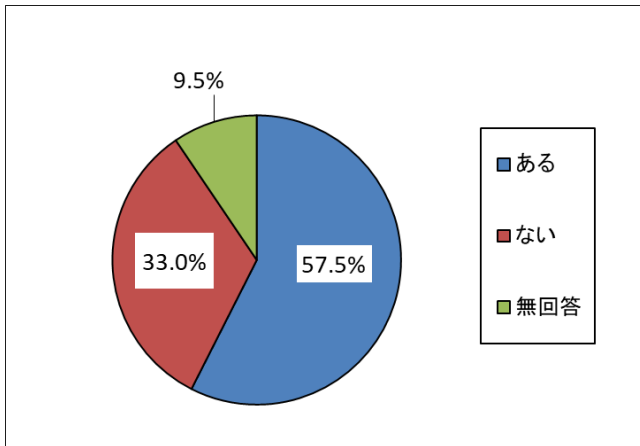
【特にどういう時に辛いと感じるか】

- ・子どもが言うことを聞かないとき、泣いているとき (64件)
- ・一人の時間が持てない、時間に追われる、思い通りに物事が進まないとき (48件)
- ・新型コロナウイルスの影響で外出ができないとき、気分転換ができないとき (46件)
- ・自分の体調が悪いとき (15件)
- ・一人で育児しているとき (13件)
- ・子どもの機嫌が悪いとき (7件)
- ・その他、子どもの成長が遅れているなど (10件)

(5-2) 新型コロナウイルスの影響を受けて、変化はありましたか



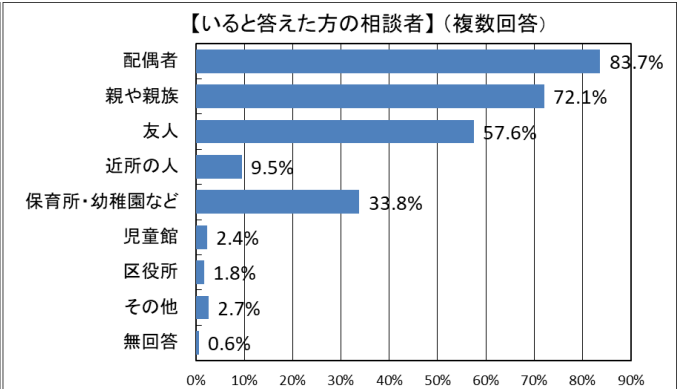
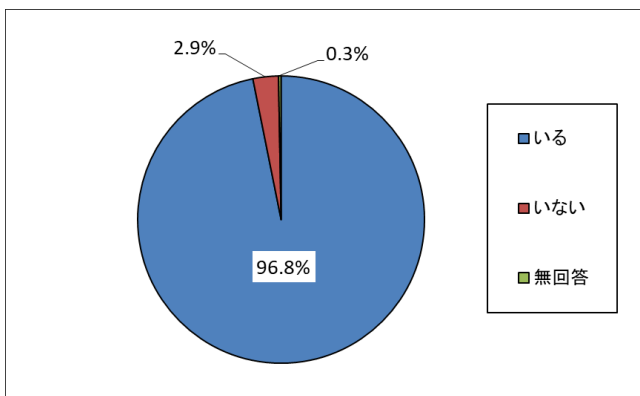
(6) 子どもとの外出時に困ること・困ったことがあるか



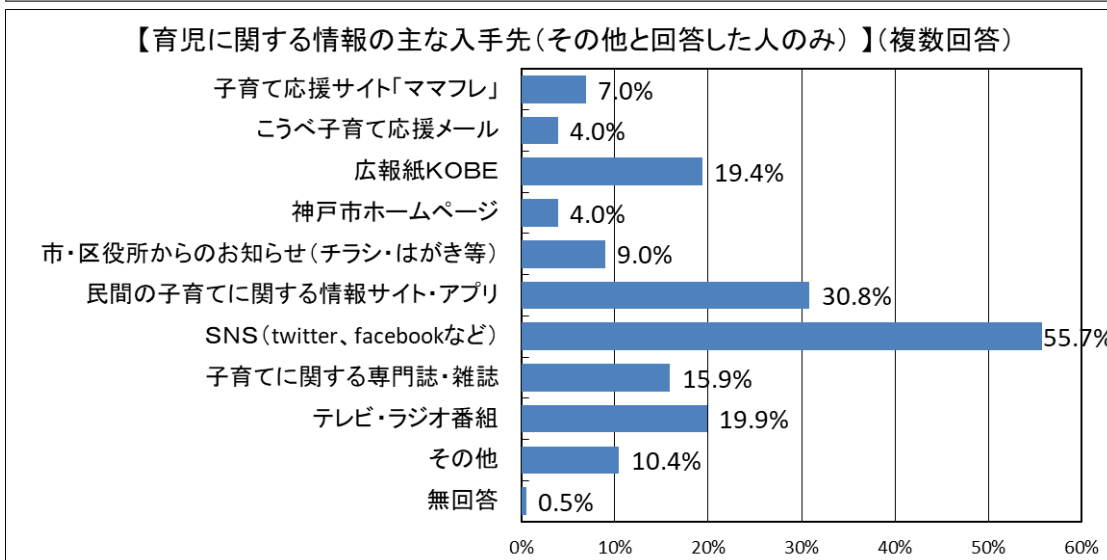
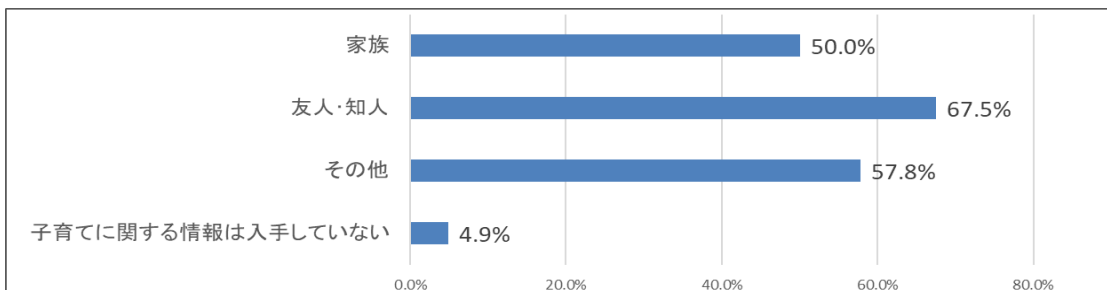
【何に困る・困ったか】

- ・トイレが汚い、子ども用トイレや親子で利用できるトイレが少ない、授乳室・おむつ替えスペースがない (65件)
- ・エレベーターが少ない、使えない、遠いところにしかない、狭い (24件)
- ・道がガタガタ、段差が多い、ベビーカーを押しての移動がしづらい、ベビーカーでバスや電車に乗りづらい (16件)
- ・新型コロナウイルスの影響で他人の視線が気になる (15件)
- ・子ども連れで利用できる飲食店が少ない (11件)
- ・子どもが楽しめる遊び場が少ない (9件)
- ・その他、子どもの機嫌が悪くなる時など (9件)

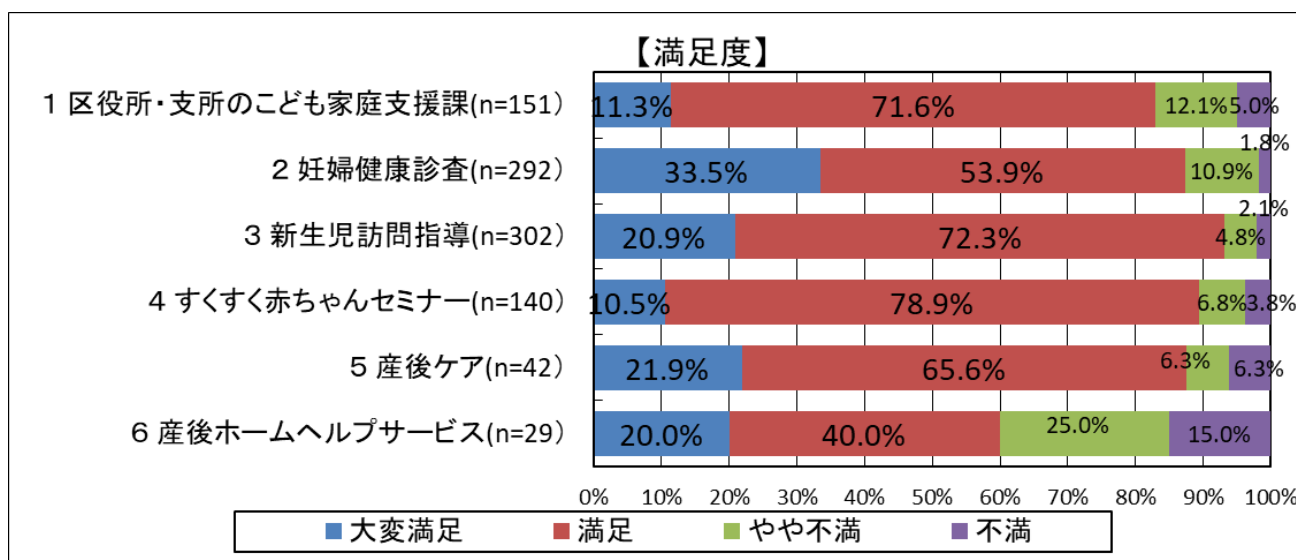
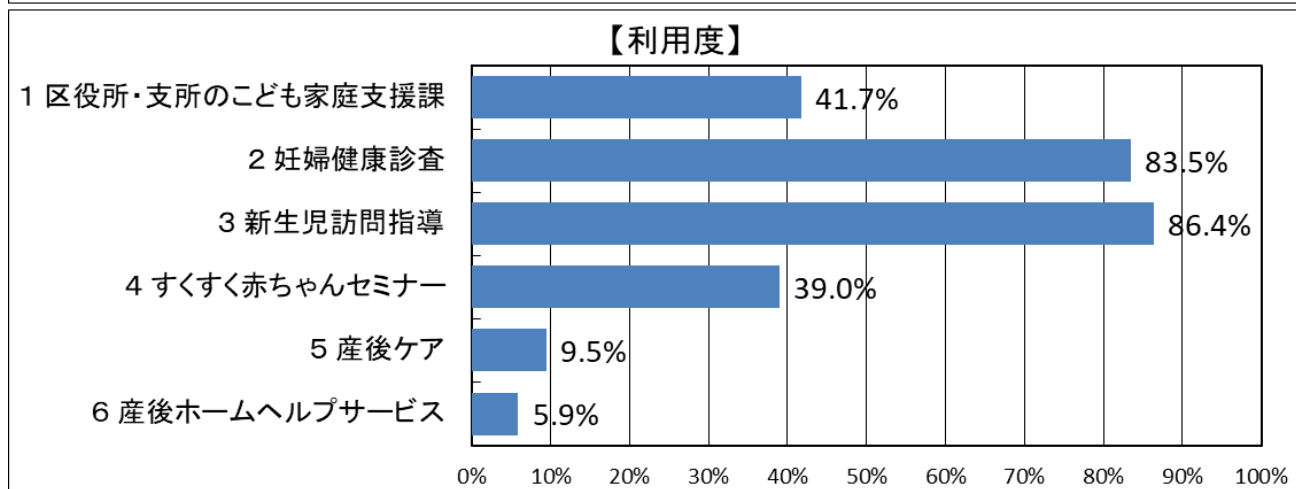
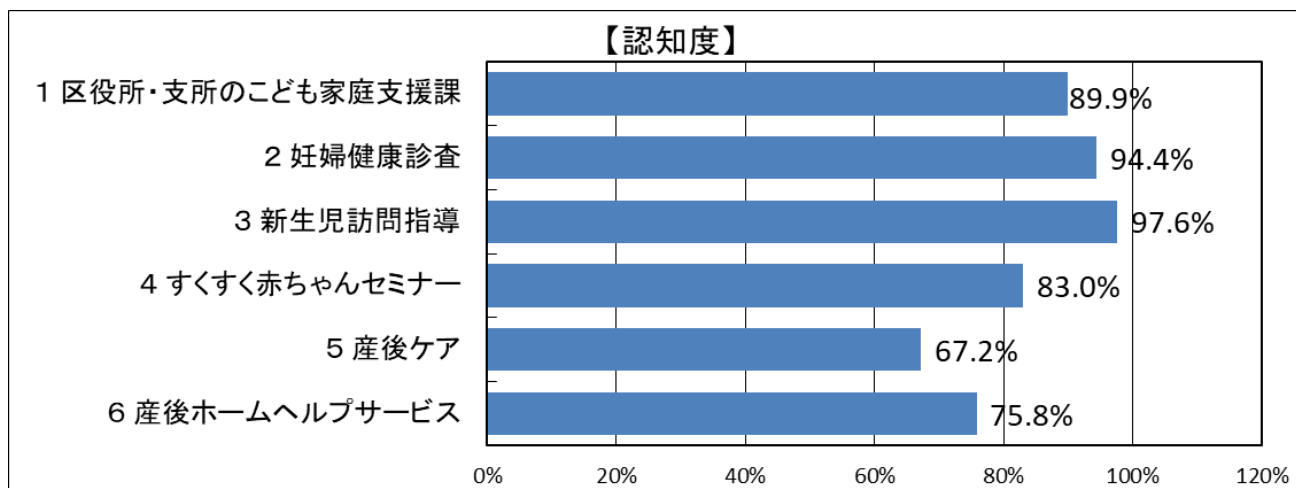
(7) 子育てについて気軽に相談できる人がいるか



(8) 育児に関する情報についてどこから入手しているか (複数回答)

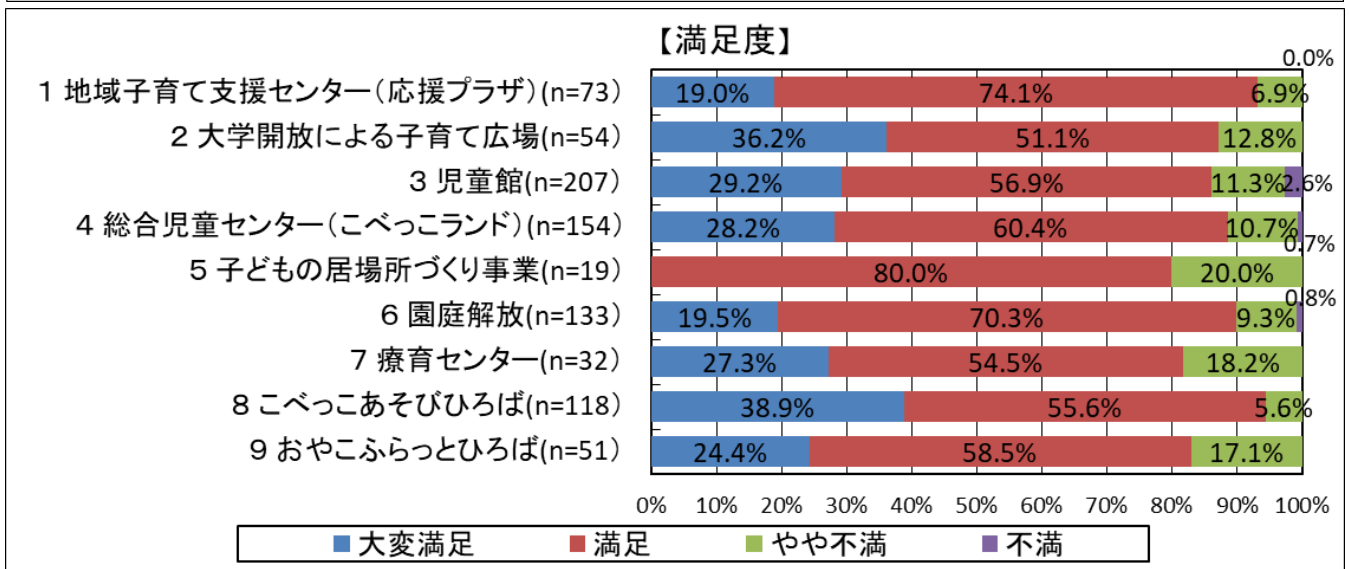
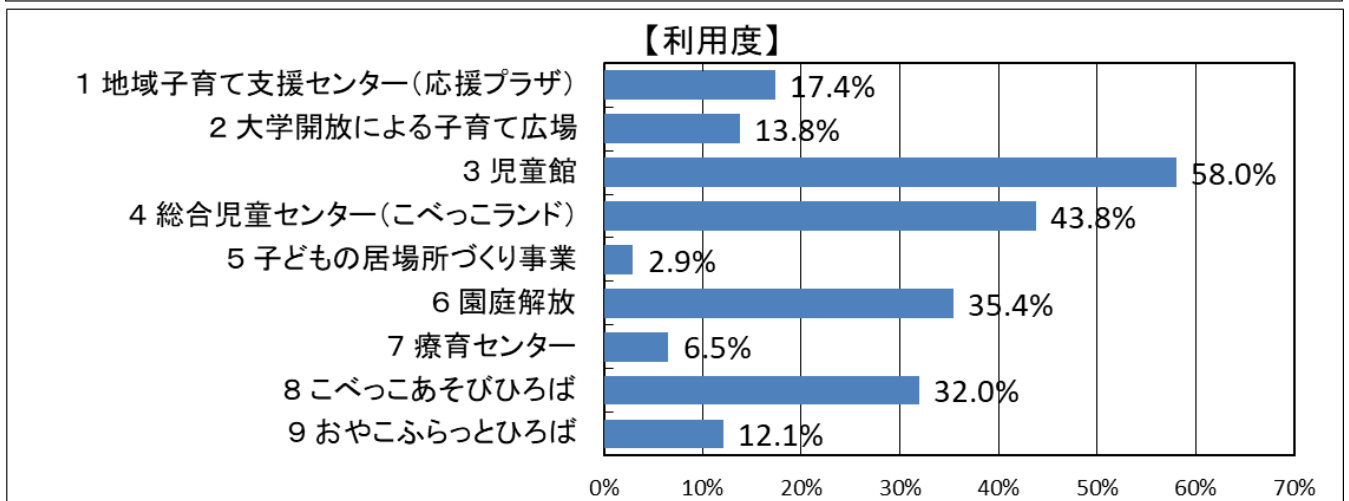
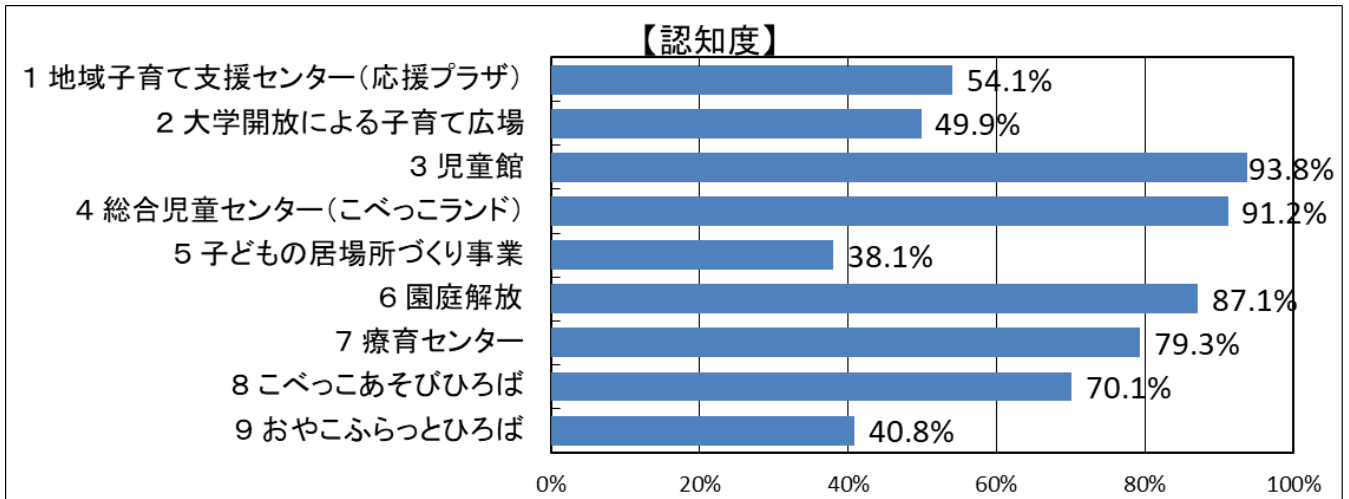


(9) 母子保健事業の認知度、利用度、満足度



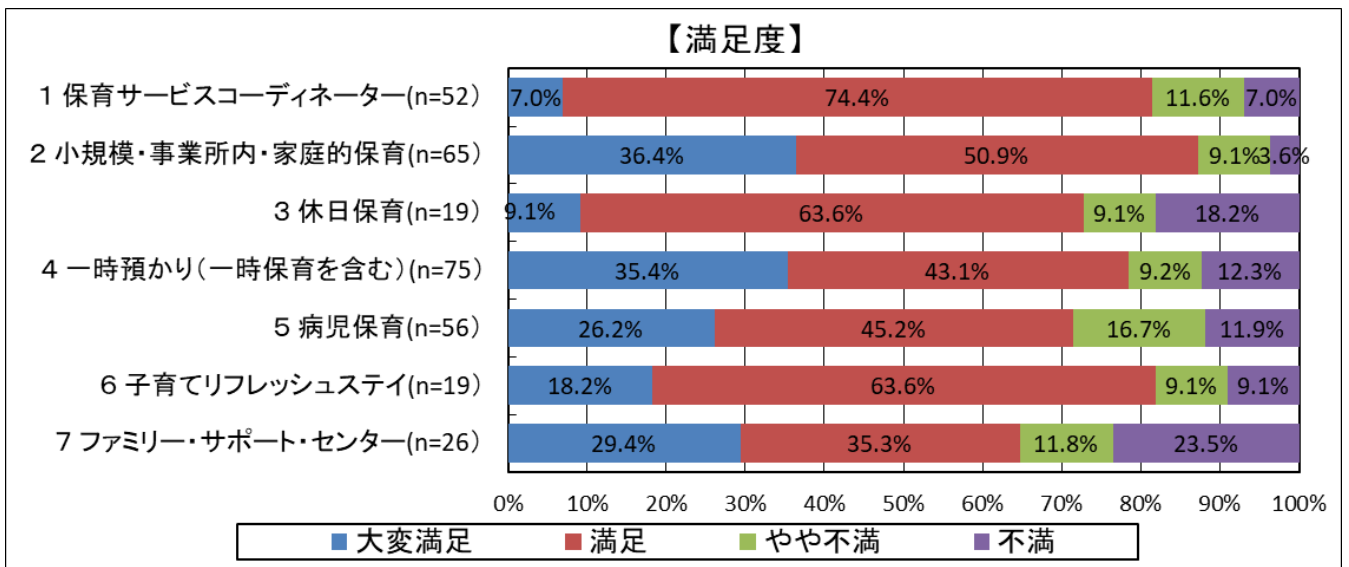
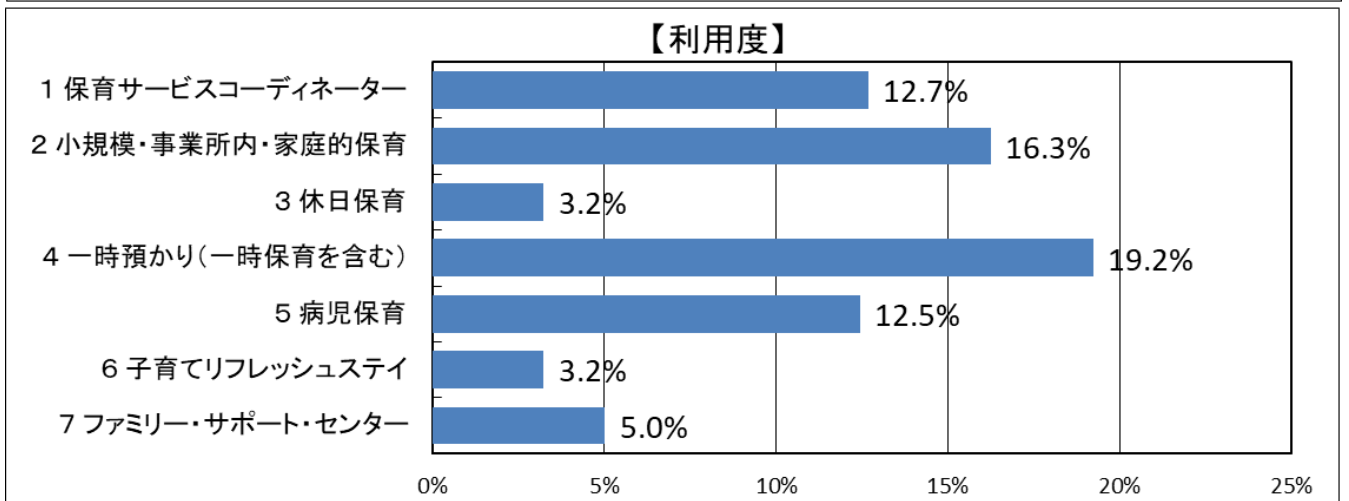
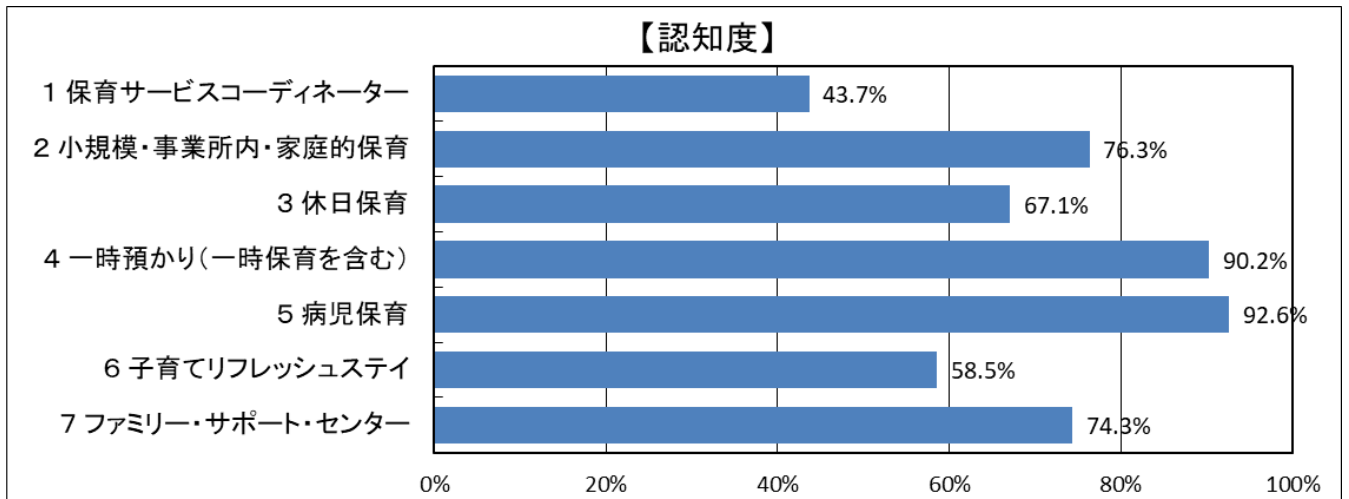
事業名	「やや不満」「不満」と回答した理由 (抜粋)
区役所・支所の子育て相談窓口	・職員によって得られる情報が異なる
妊婦健康診査	・全額負担してほしい
新生児訪問指導	・相談に対する具体的なアドバイスが得られなかった ・自宅に来られるのが嫌だ
すくすく赤ちゃんセミナー	・第1子のときにしか案内がこない ・場所が遠く、予約もとりにくい
産後ケア	・条件があり利用しづらい
産後ホームヘルプサービス	・費用が高く利用できない

(10) 地域子育て支援事業の認知度、利用度、満足度



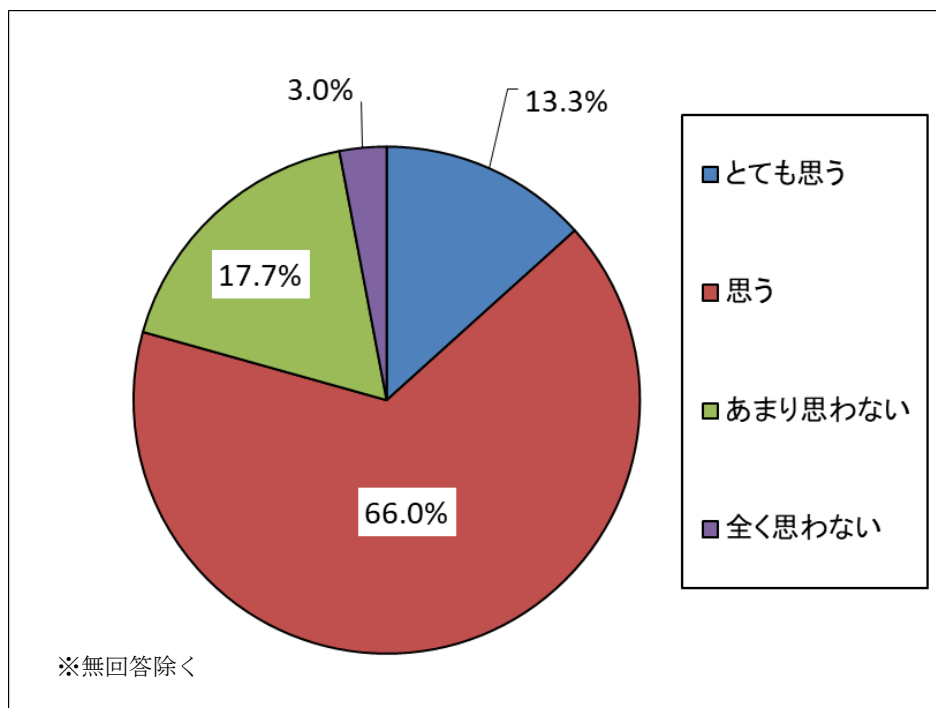
事業名	「やや不満」「不満」と回答した理由 (抜粋)
児童館	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティが出来上がっていて入りづらい ・おもちゃが古く汚い
総合児童センター (こべっこランド)	<ul style="list-style-type: none"> ・人が多く、狭い ・大きい子がいると、小さい子が危険で遊べない
園庭開放	<ul style="list-style-type: none"> ・他に人がおらず、交流が全くなかった
療育センター	<ul style="list-style-type: none"> ・空きが少なく予約がとれない
こべっこあそびひろば	<ul style="list-style-type: none"> ・場所が遠く行きづらい

(11) 保育サービスの認知度、利用度、満足度

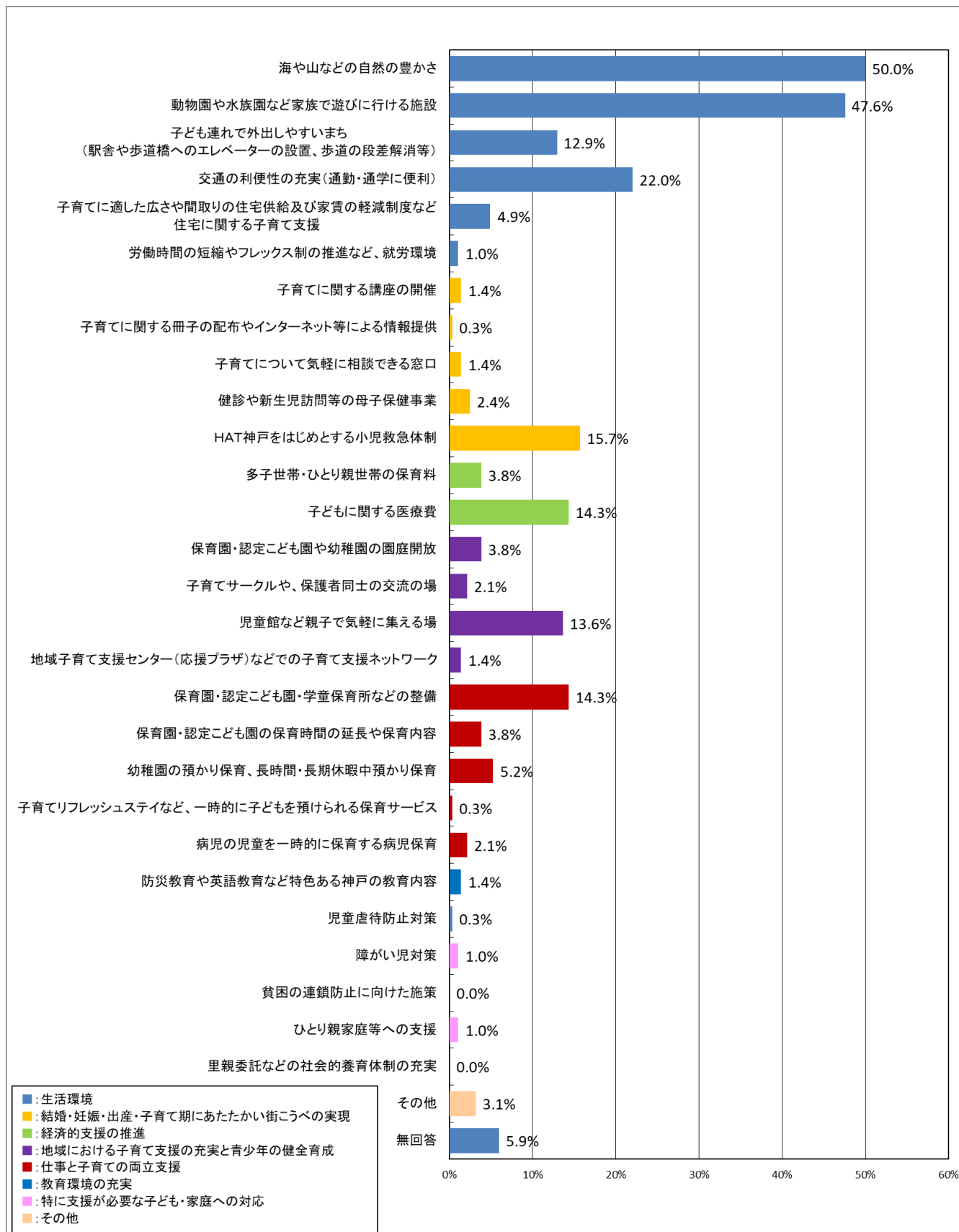


事業名	「やや不満」「不満」と回答した理由(抜粋)
保育サービスコーディネーター	・対応が悪く、担当者によって得られる情報が異なる
小規模・事業所内・家庭的保育	・卒園後に次の保育園等に入れるかが不安
一時預かり	・料金が高い ・申し込んでも預けることができないことが多い
病児保育	・施設数が少なく、場所も遠い ・枠が少なく、預けることが難しい
ファミリー・サポート・センター	・利用するまでに手間がかかる

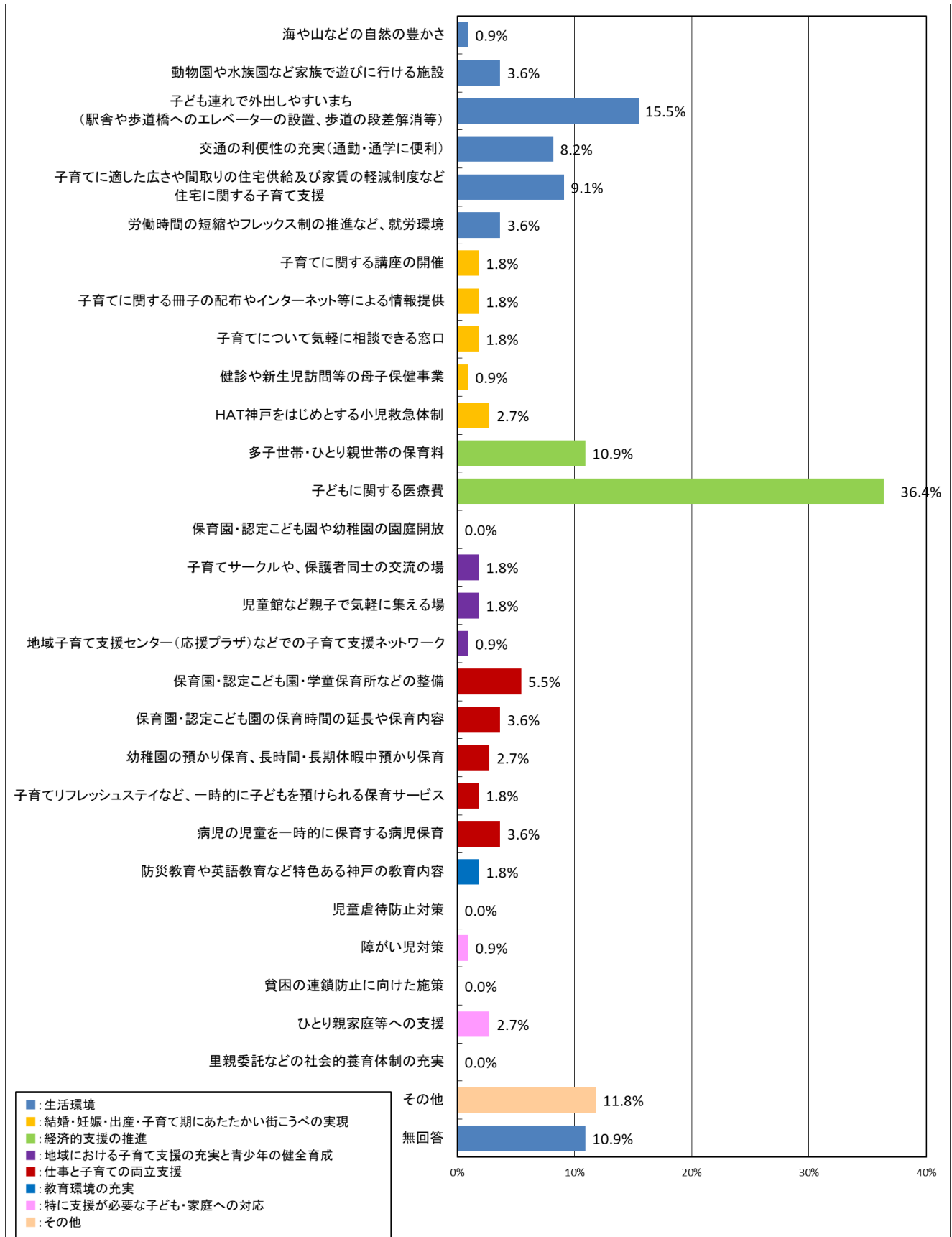
(12-1) 神戸で子育てして良かったと思いますか。



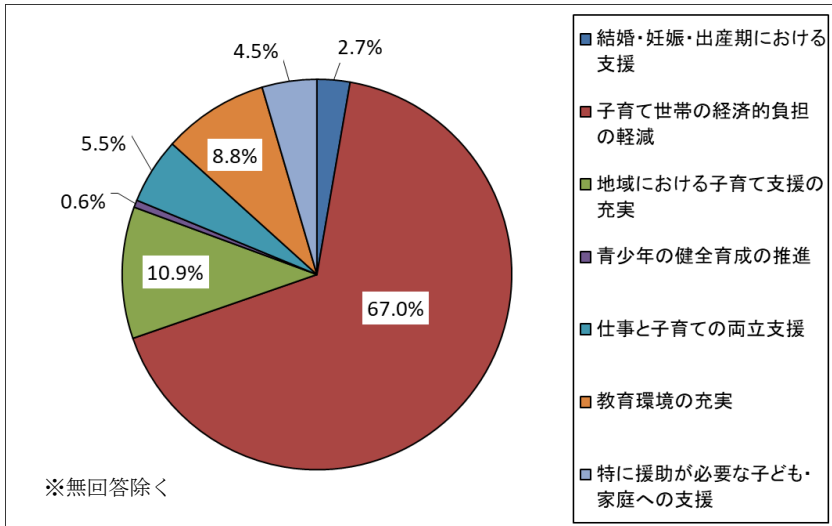
(12-2) 「とても思う」「思う」とお答えの方は、具体的にどのようなところがよかったですか
(3つまで回答)



(12-3) 「あまり思わない」「全く思わない」とお答えの方は、具体的にどのようなところがよくないと思いますか（3つまで回答）



(13) 子育て支援策について、今後神戸市に期待すること



(14) 神戸市の子育て支援についての自由意見 (97件) (抜粋)

こども医療費 (31件)
助成額を拡大または無料にしてほしい。
無料の対象年齢を上げてほしい。
仕事と子育ての両立 (13件)
地域によって格差がないように保育所の数を増やしてほしい。
病児保育・休日保育を充実させてほしい。
経済的支援の充実 (12件)
結婚・出産・転居向けなどの助成金を拡充してほしい。
第2子も保育料を無償にしてほしい。
教育環境の充実 (8件)
先生の負担が増えない範囲で、学力向上に特に力を入れてほしい。
withコロナの新しい授業形態や行事のありかたについて考えてほしい。
学童・児童館 (7件)
小学校内や小学校のすぐ近くで学童保育を実施してほしい。
建物が古く部屋も狭いため、施設整備を進めてほしい。
特に支援が必要な子ども・家庭への対応 (6件)
3人以上の多子家庭に対する経済的支援の拡充をしてほしい。
ヤングケアラーの方に対するサポートを手厚くしてほしい。
保育士の処遇改善 (5件)
保育士の人数を増やして負担を減らすとともに、給料の底上げをしてほしい。
子育て情報の発信 (4件)
新型コロナの影響で外出がしづらいため、子どもとの在宅時間の過ごし方についての情報を発信してほしい。
子育て世帯が受けれるサービスをもっと周知してほしい。
医療体制 (4件)
小児救急を増やしてほしい。
その他 (23件)
他市の人が神戸市を羨ましいと思えるような子育て支援をしてほしい。
区役所等の窓口対応を改善してほしい。

(4) 施設利用者調査結果

1 調査時期

令和3年9月

2 調査対象

原則、各事業につき、実施箇所全施設を対象

①保育所

各施設12名を無作為抽出し、該当児童の保護者を対象に実施

②認定こども園

各施設12名を無作為抽出し、該当児童の保護者を対象に実施

③幼稚園

公立4名・民間6名を無作為抽出し、該当児童の保護者を対象に実施

④児童館

調査期間中の利用者10名を対象に実施

⑤大学と連携した子育てひろば

調査期間中の利用者30名を対象に実施

⑥学童保育

各施設5名を無作為抽出し、保護者、子どもを対象に実施

⑦一時保育

各施設、調査期間中の利用者8名を対象に実施

⑧子育てリフレッシュステイ

各施設、調査期間中の利用者10名を対象に実施

⑨病児保育

調査期間中の利用者30名を対象に実施

⑩ファミリー・サポート・センター

依頼会員（両方会員含む）から300名を無作為抽出し、実施

⑪小規模保育 ⑫事業所内保育 ⑬家庭的保育

各施設、調査期間中の利用者6名（5名未満の施設についてはその人数）を対象に実施

I 保育所

1 調査方法

公立保育所 56 箇所及び私立保育所 66 箇所計 122 箇所を通じて、保育所ごとに各年齢 2 名ずつ無作為抽出した子どもの保護者を対象に二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集。

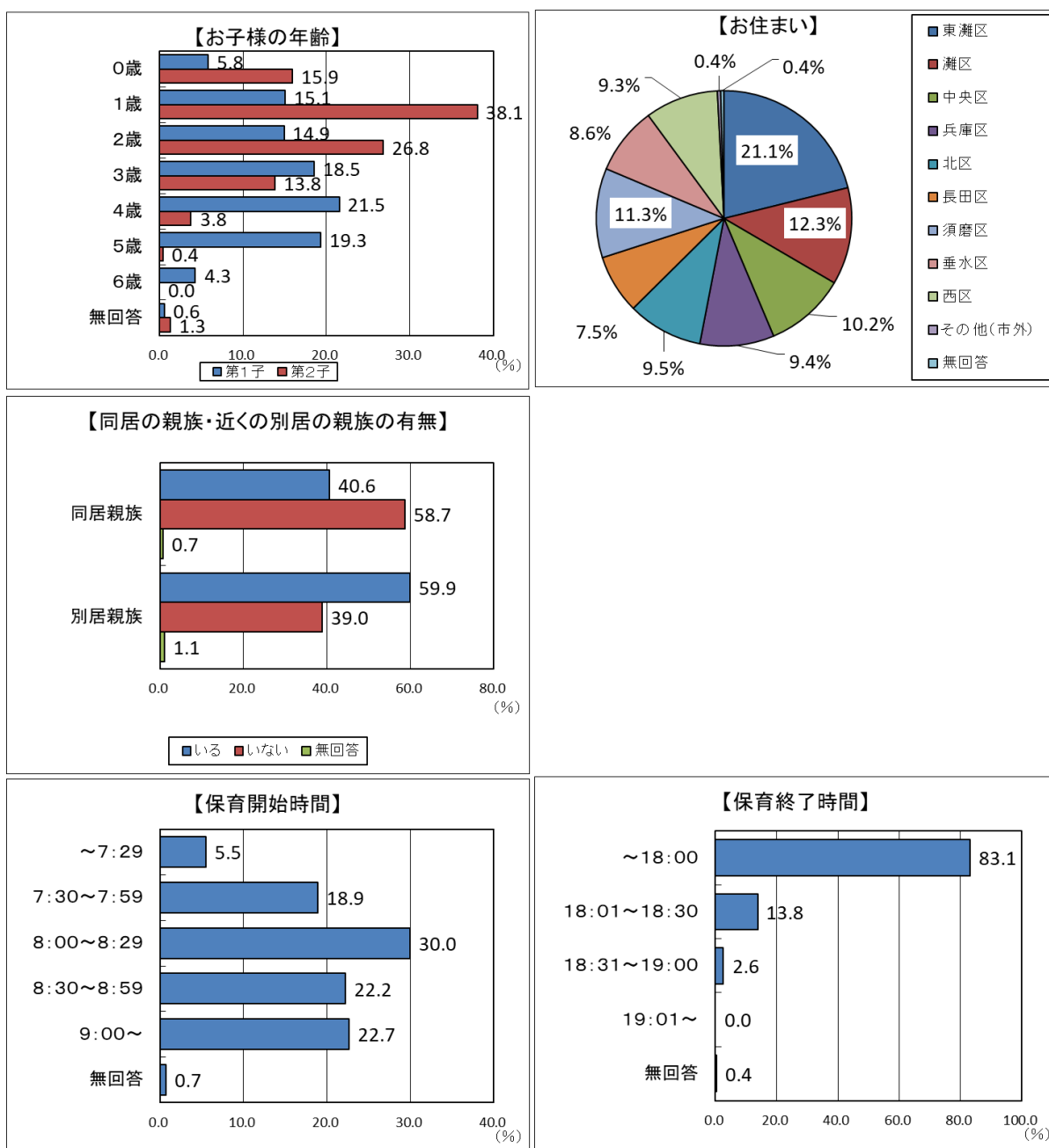
2 調査期間

令和 3 年 9 月

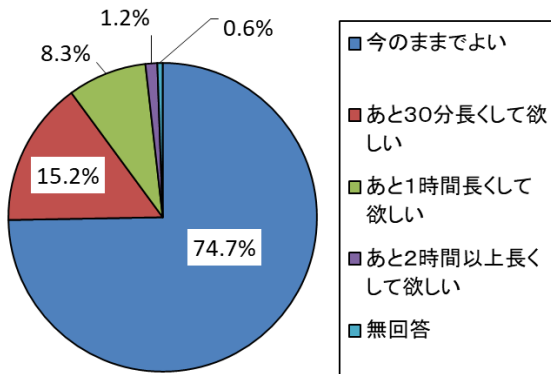
3 配布等

- (1) 配布数 1,226 セット (公立 : 559 私立 : 667)
- (2) 回収数 724 サンプル (公立 : 389 私立 : 335)
- (3) 回収率 59.1% (公立 : 69.6% 私立 : 50.2%)

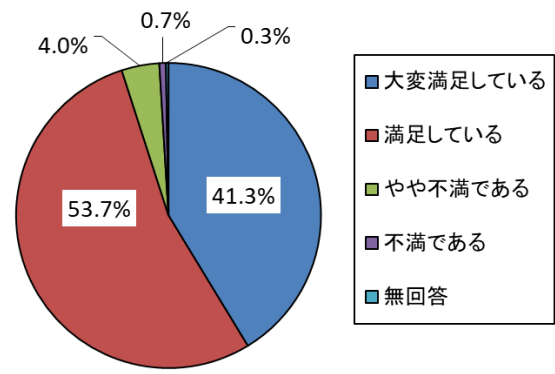
4 調査結果【全体】



【保育時間についての希望】



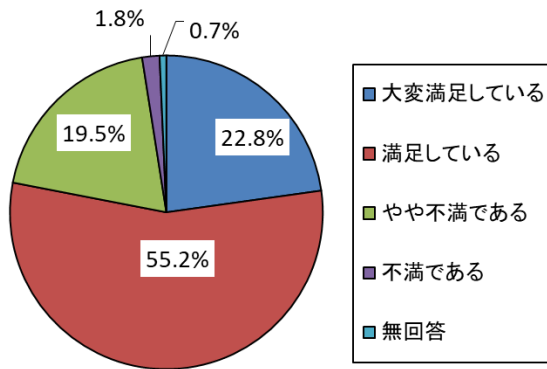
【保育内容全般について】



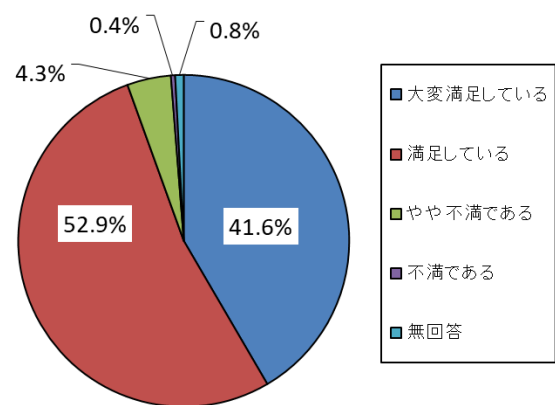
※「やや不満」「不満」の理由

- ・教育にも少しは力をいれてほしい
- ・先生の数足りていないと感じる など

【建物や園庭などの施設について】



【職員の対応について】



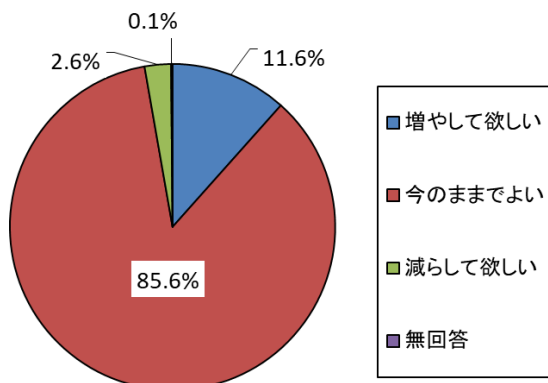
※「やや不満」「不満」の理由

- ・園庭が狭い
- ・建物が古く狭い など

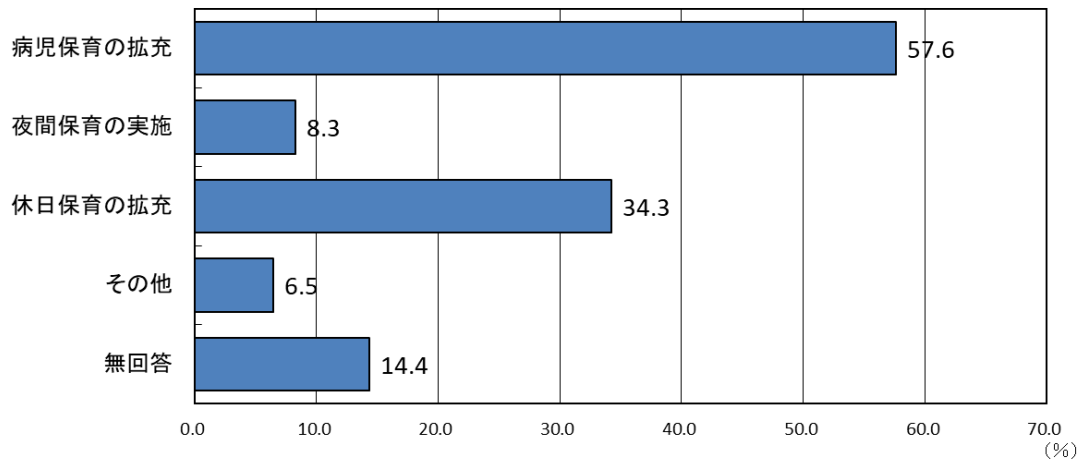
※「やや不満」「不満」の理由

- ・園での様子を詳しく教えてもらえない
- ・職員によって対応の差が大きい
- ・挨拶をしない先生がいる など

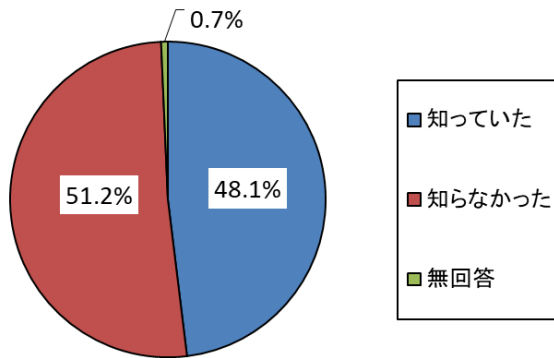
【地域の親子との交流について(園庭開放など)】



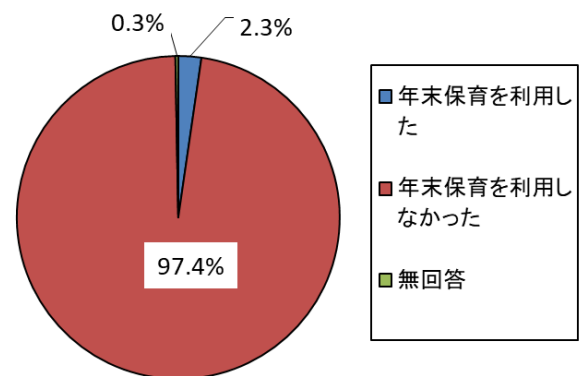
【特に充実して欲しい支援策】(複数回答)



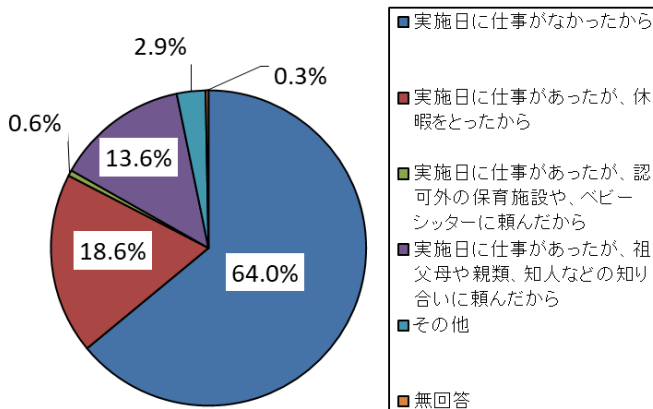
【年末保育の認知度】



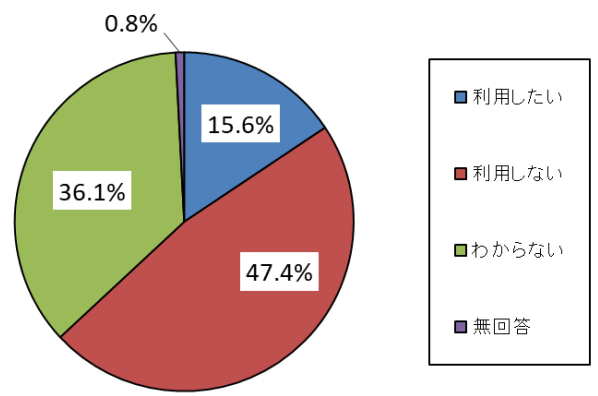
【年末保育の利用状況】



【利用しなかった理由】



【今後、年末保育があれば利用したいか】



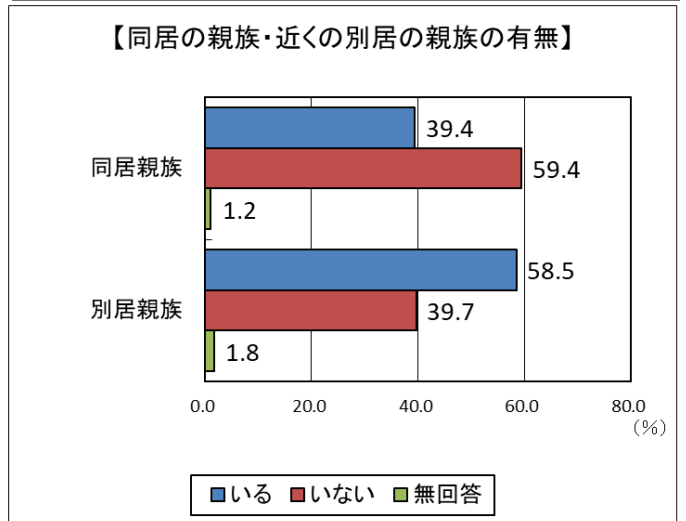
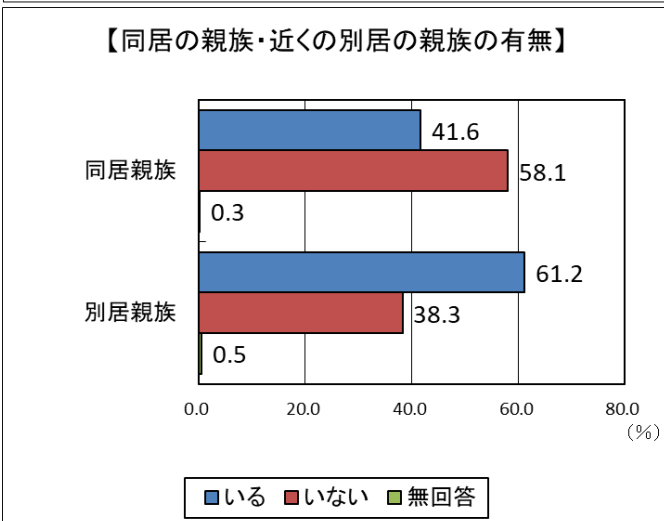
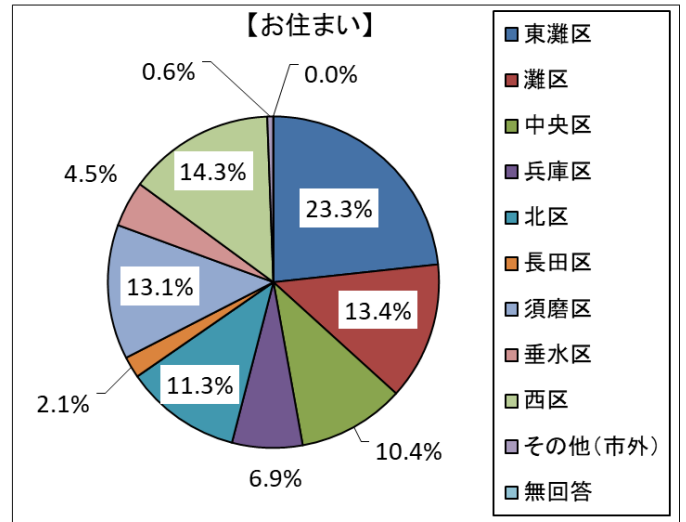
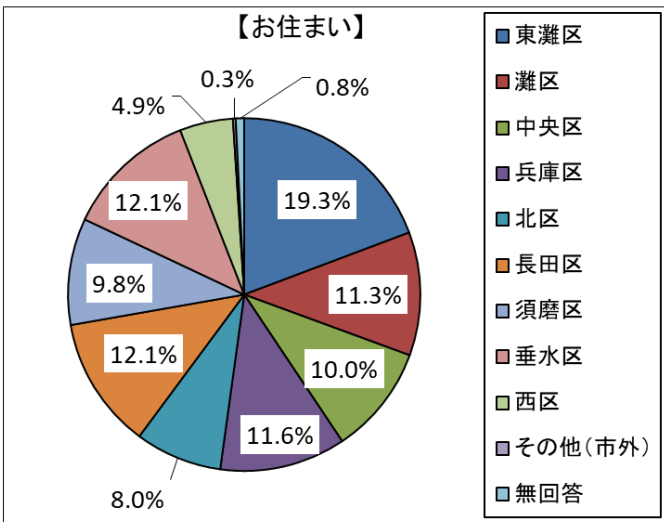
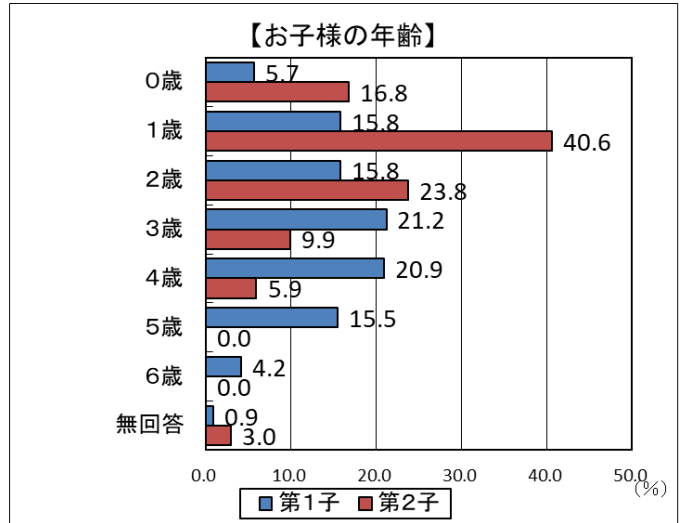
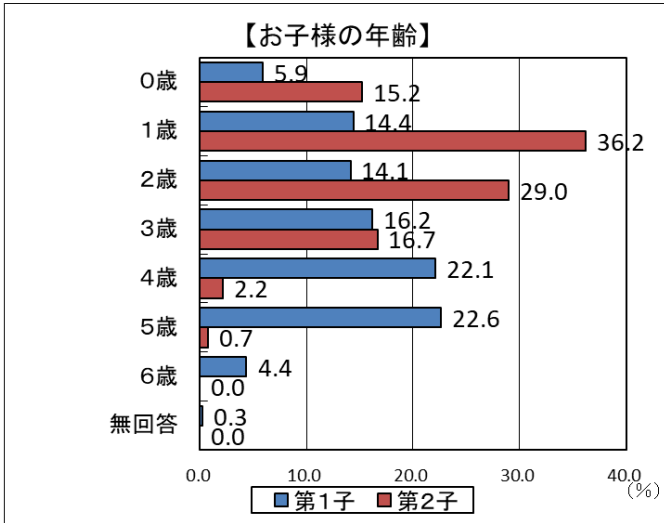
【自由意見】 78 件

- ・ 病児保育を充実させてほしい 13 件
- ・ 土日祝の休日保育を充実してほしい 11 件
- ・ 時間に余裕がないため、もう少し保育時間を長くしてほしい 9 件
- ・ 参観日や普段の様子がわかるようにしてほしい (Zoom 参観を導入してほしい) 8 件
- ・ 頑張っている保育士さんが離職しないように環境を整えてほしい 5 件 他

【保育所についての公私別アンケート結果】

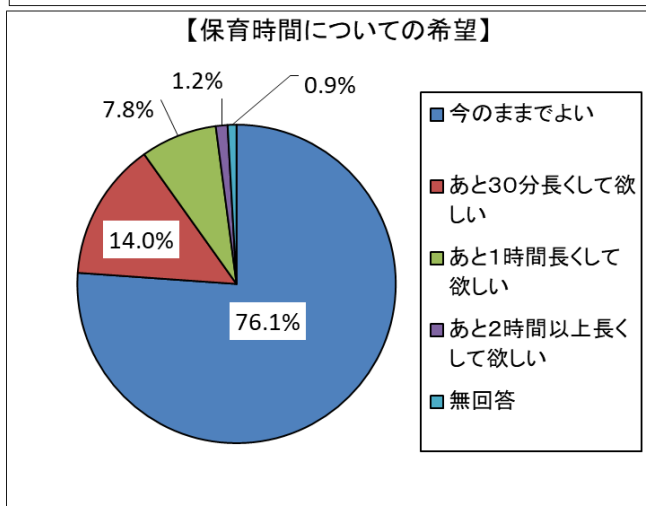
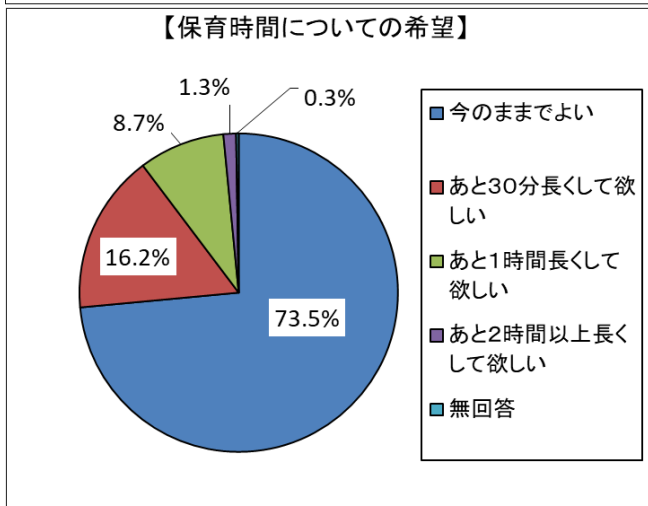
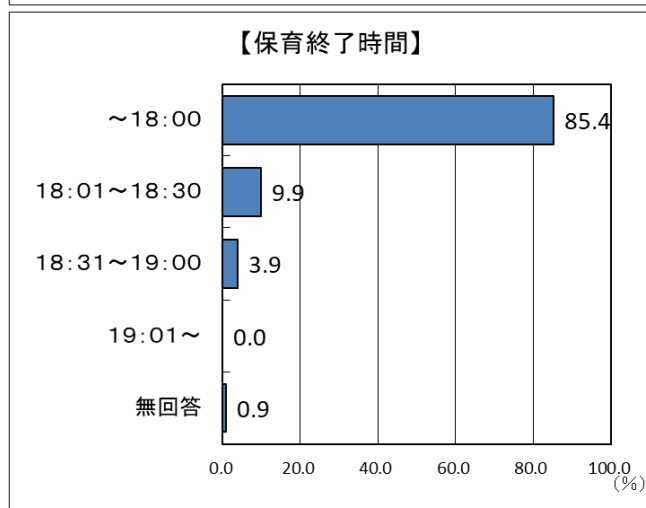
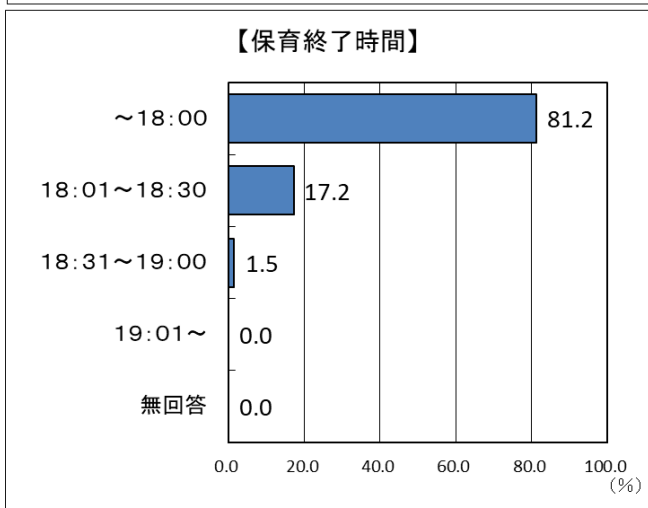
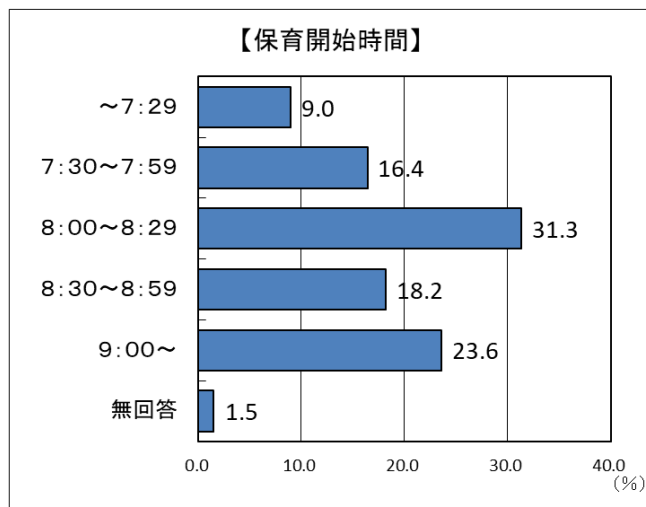
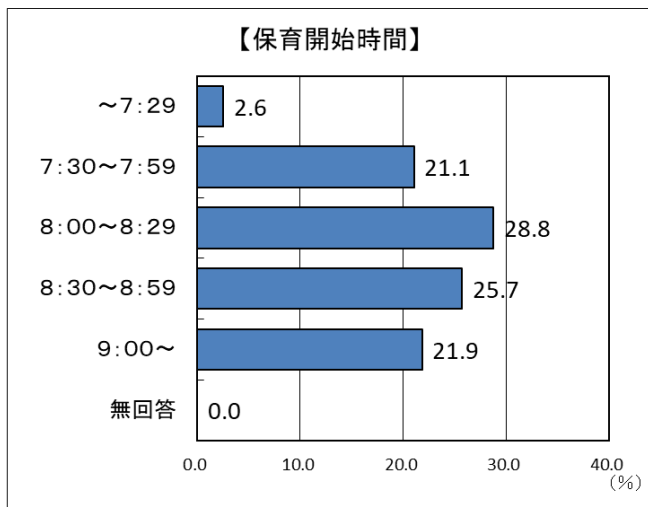
【公立】 n=389

【私立】 n=335



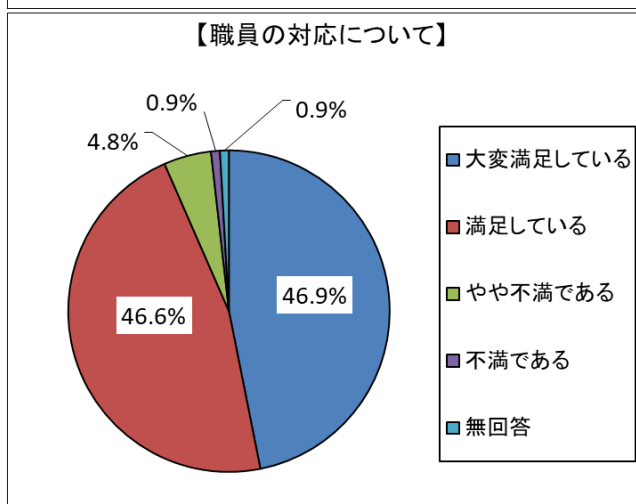
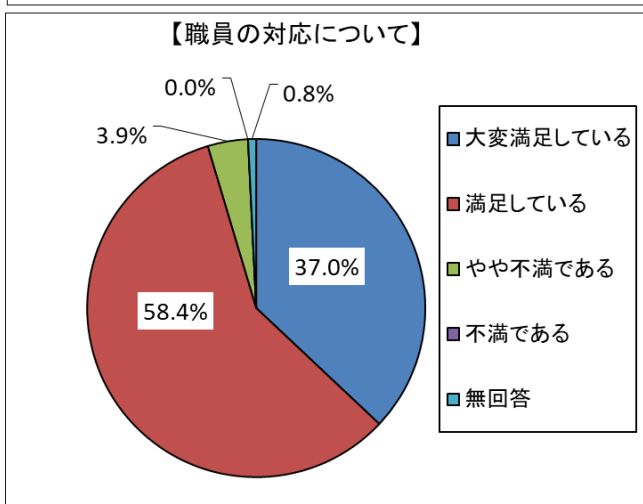
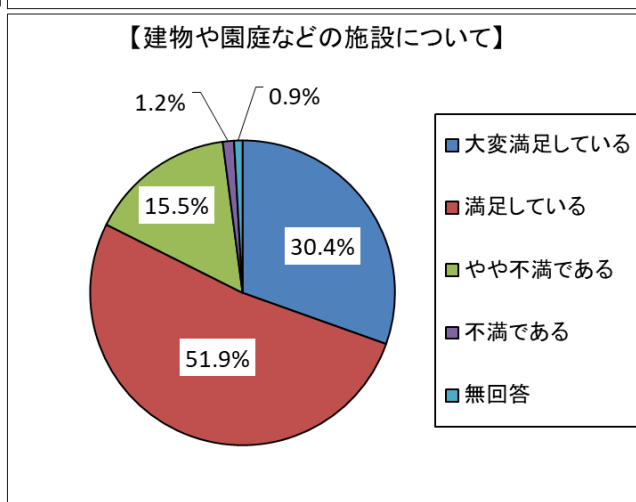
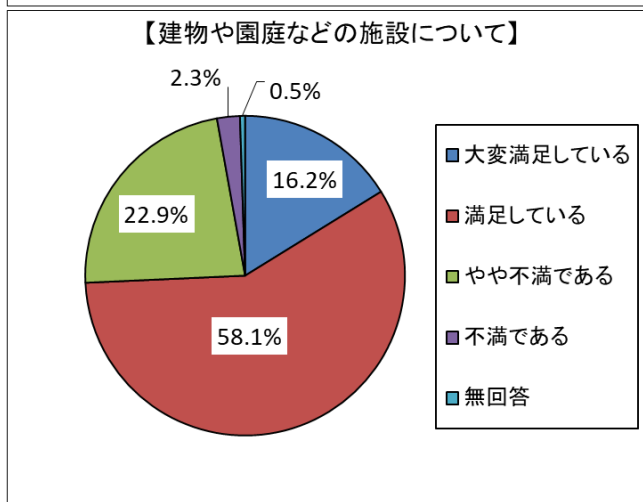
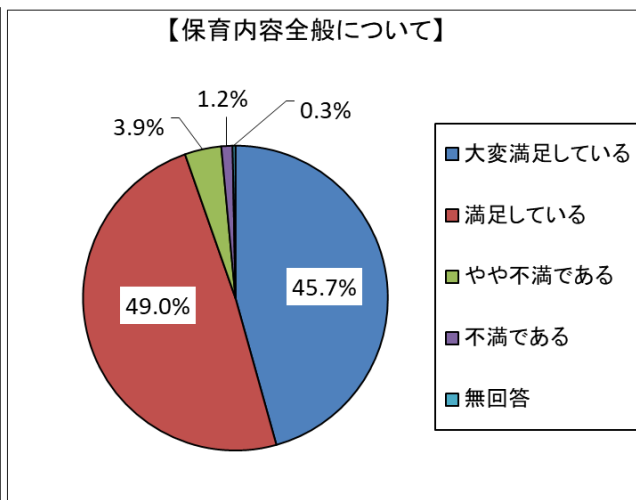
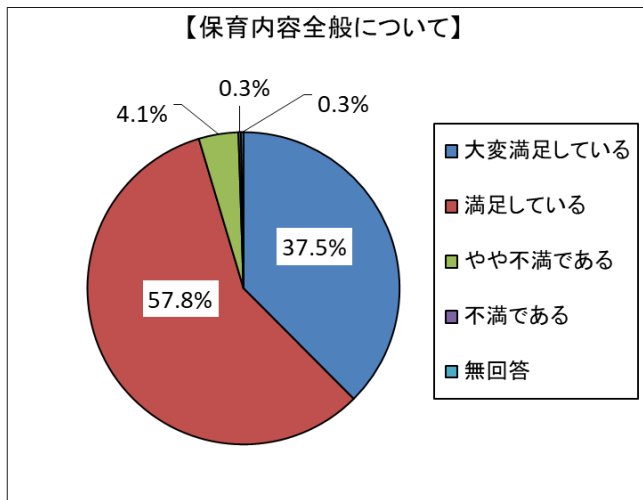
【公立】 n=389

【私立】 n=335



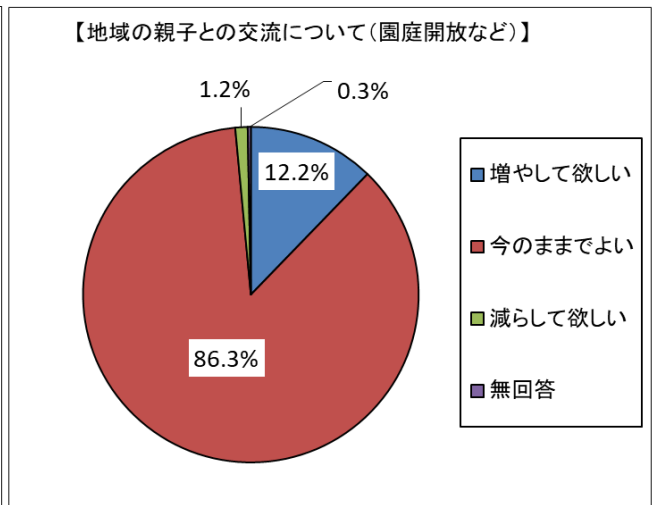
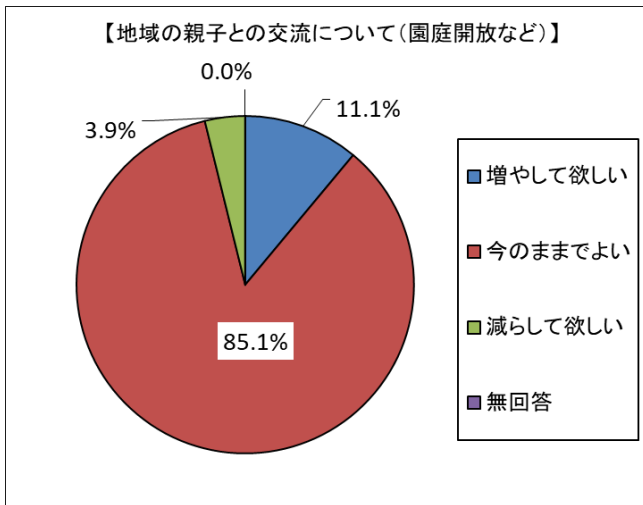
【公立】 n=389

【私立】 n=335

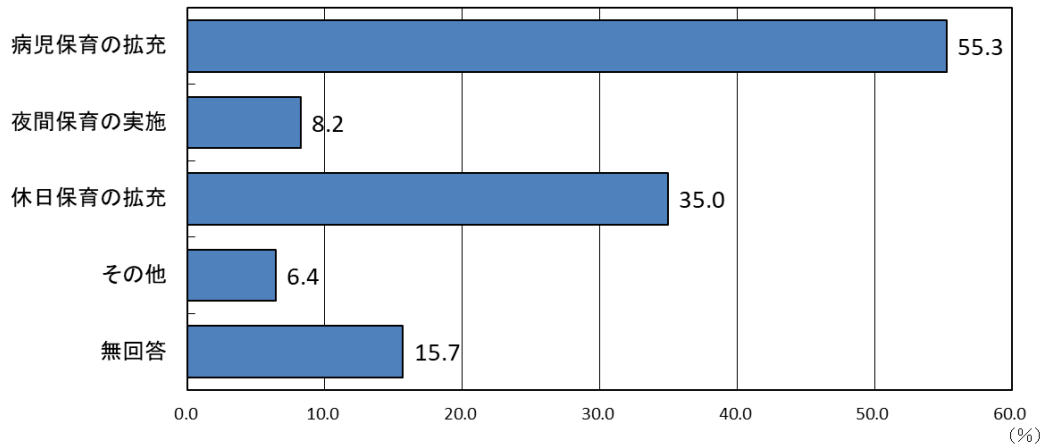


【公立】 n=389

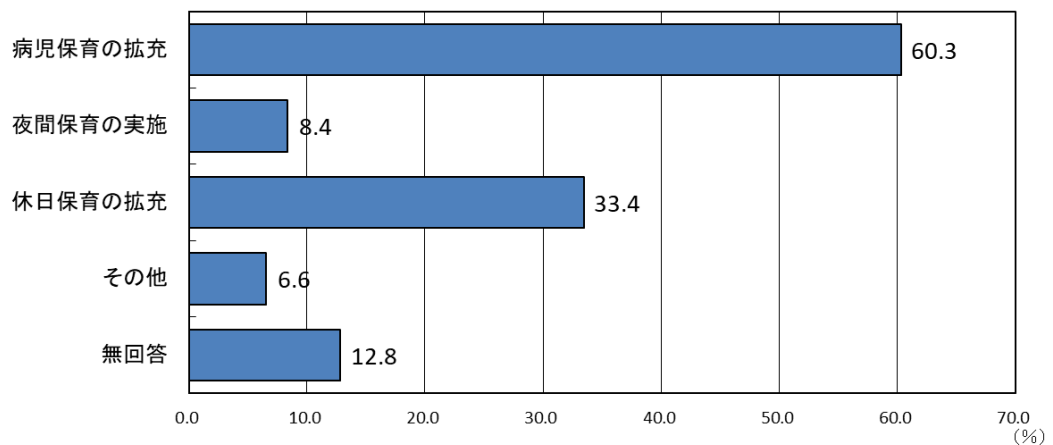
【私立】 n=335



【特に充実して欲しい支援策は(公立)】(複数回答)

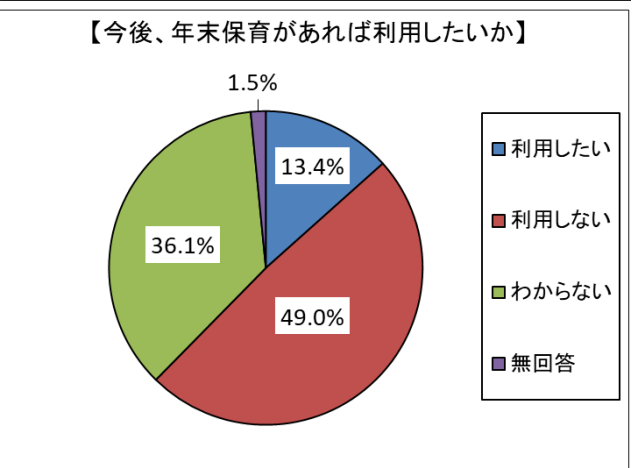
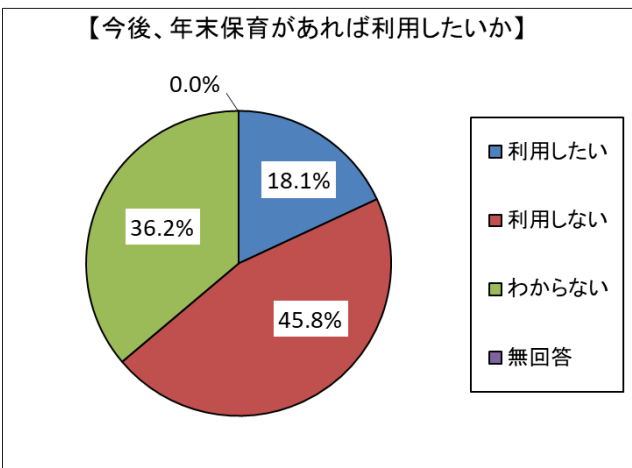
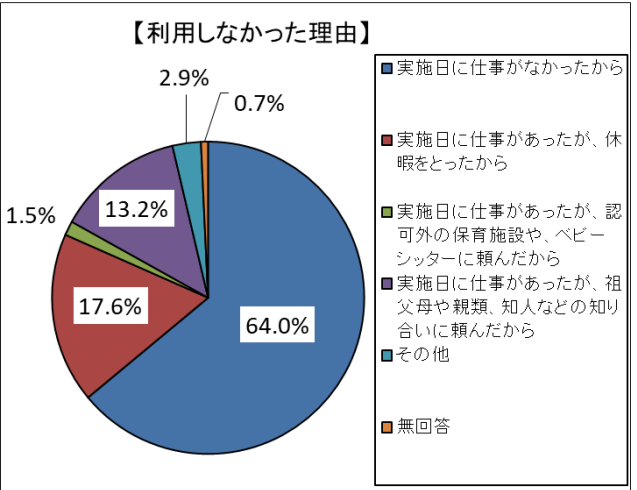
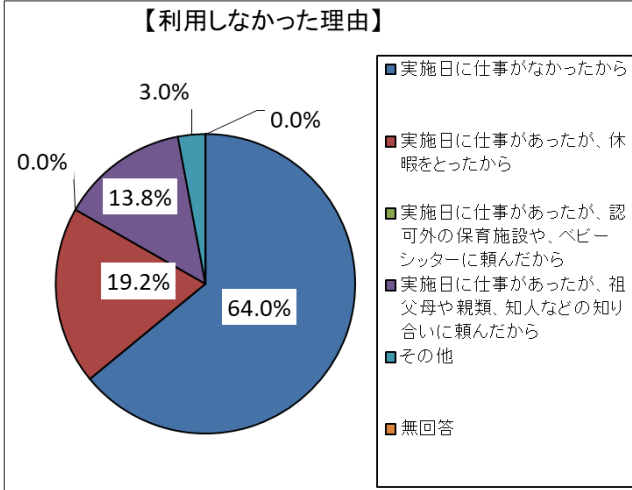
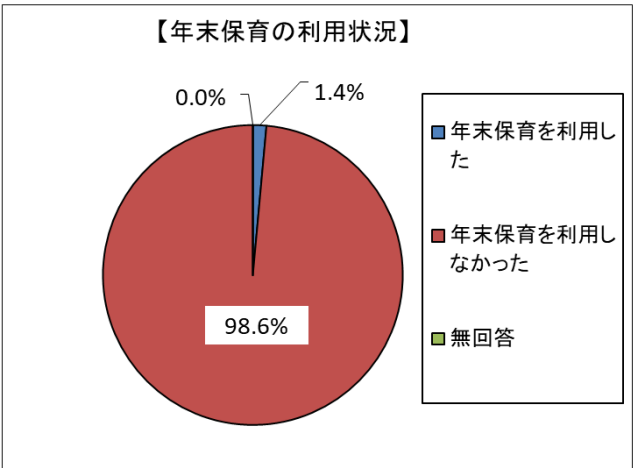
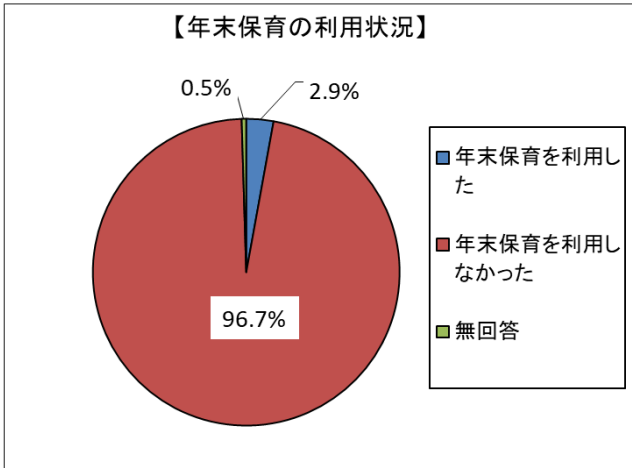
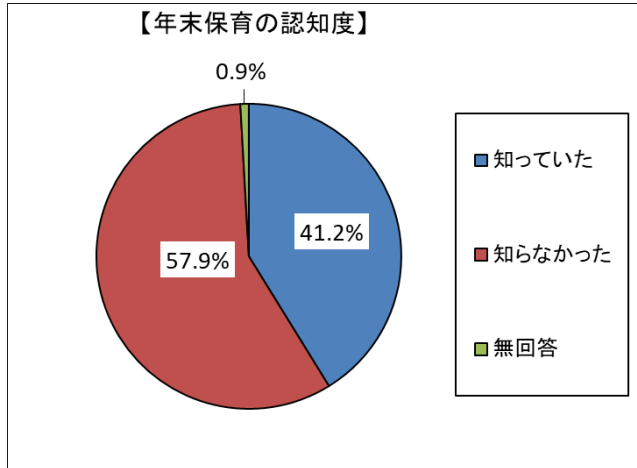
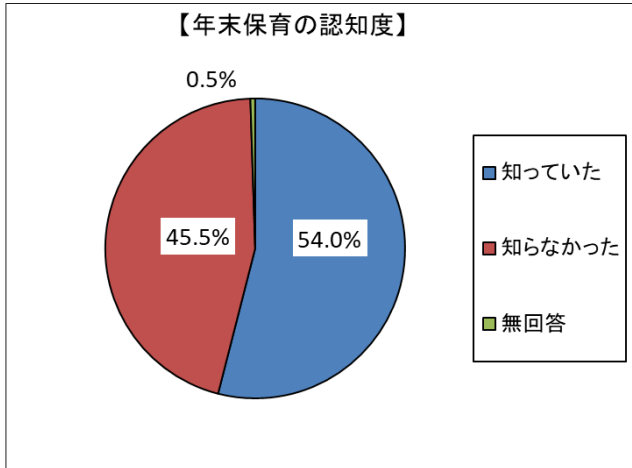


【特に充実して欲しい支援策は(私立)】(複数回答)



【公立】 n=389

【私立】 n=335



Ⅱ 認定こども園

1 調査方法

幼保連携型認定こども園 155 箇所及び幼稚園型認定こども園 17 箇所計 172 箇所を通じて、認定こども園ごとに各年齢 2 名ずつ無作為抽出した子どもの保護者を対象に二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集。

2 調査期間

令和 3 年 9 月

※ 子どもの保護者への配布の準備として、二次元コードを記載したアンケート依頼文を封筒に封入する際、作業の錯誤があり、得られた回答について適切な分析ができなかったため、集計結果の報告を見送ることとした。

Ⅲ 幼稚園

1 調査方法

公立幼稚園 32 箇所及び私立幼稚園 52 箇所計 84 箇所を通じて、幼稚園ごとに、各年齢 2 名ずつ無作為抽出された子どもの保護者を対象に二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集。

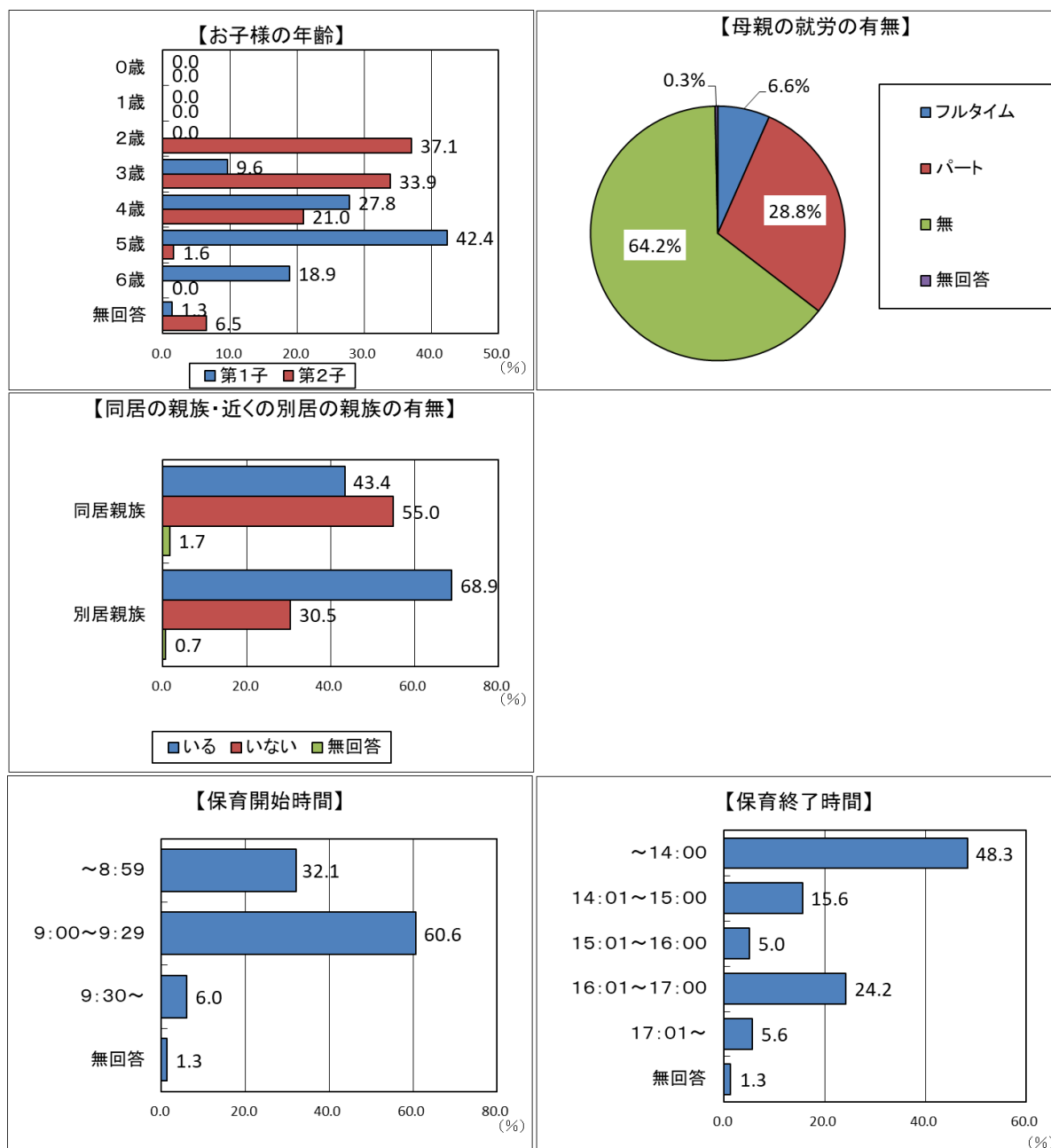
2 調査期間

令和 3 年 9 月

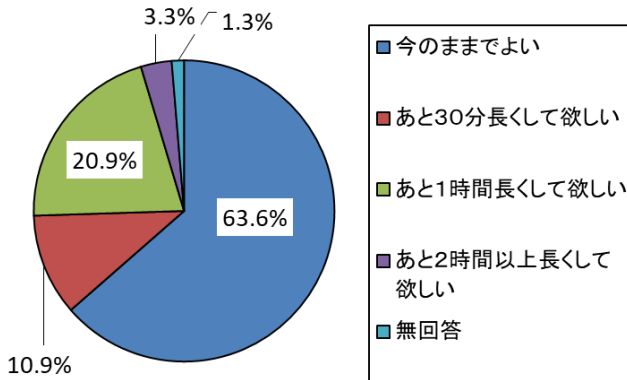
3 配布等

- (1) 配布数 380 セット (公立 : 118 私立 : 262)
- (2) 回収数 303 サンプル (公立 : 100 私立 : 203)
- (3) 回収率 79.7% (公立 : 84.7% 私立 : 77.5%)

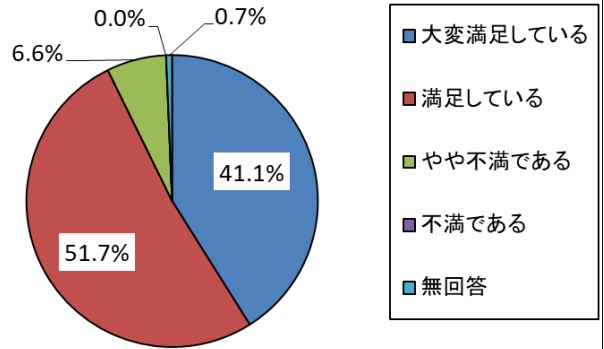
4 調査結果【全体】



【保育時間についての希望】



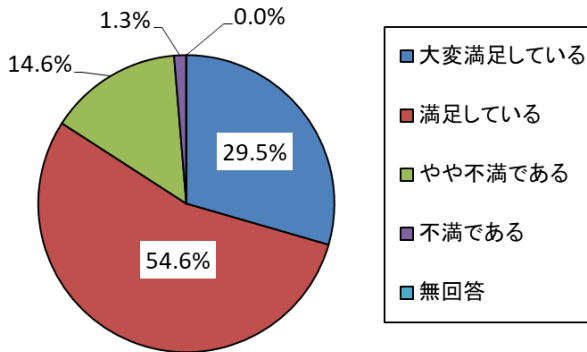
【保育内容全般について】



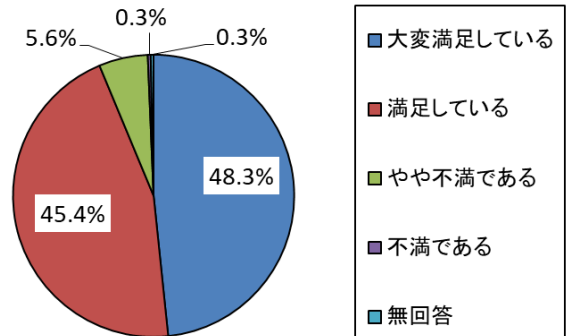
※「やや不満」「不満」の理由

- ・園での様子がわからない
- ・コロナ禍を踏まえても、行事が少ない など

【建物や園庭などの施設について】



【職員の対応について】



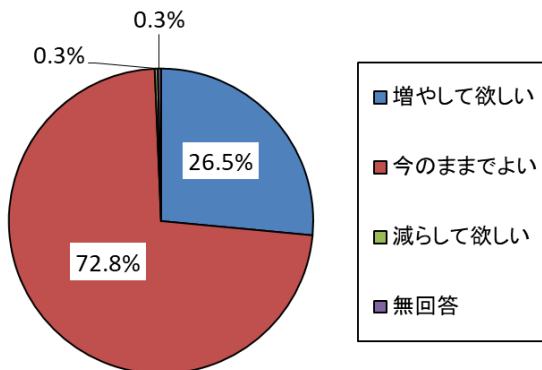
※「やや不満」「不満」の理由

- ・園庭が狭い
- ・建物・トイレが古い など

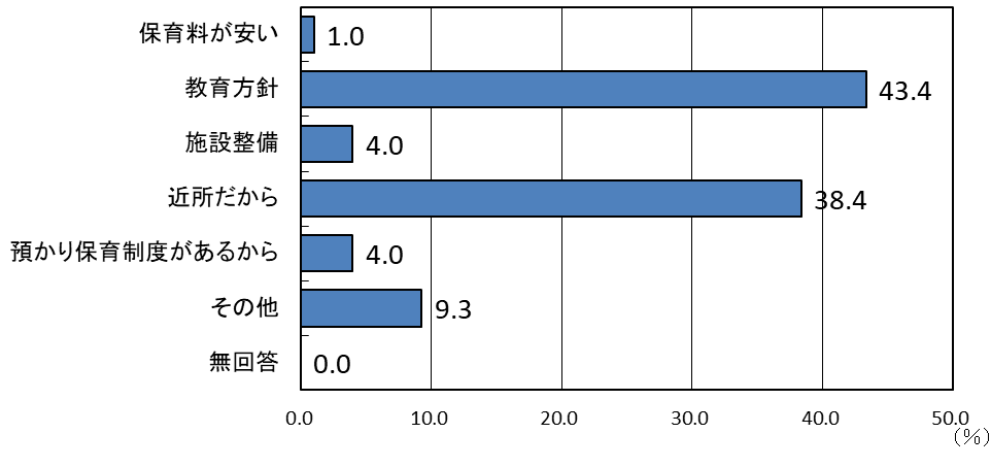
※「やや不満」「不満」の理由

- ・職員によって対応が異なる
- ・コロナ禍で行事もなく園での様子がわからない など

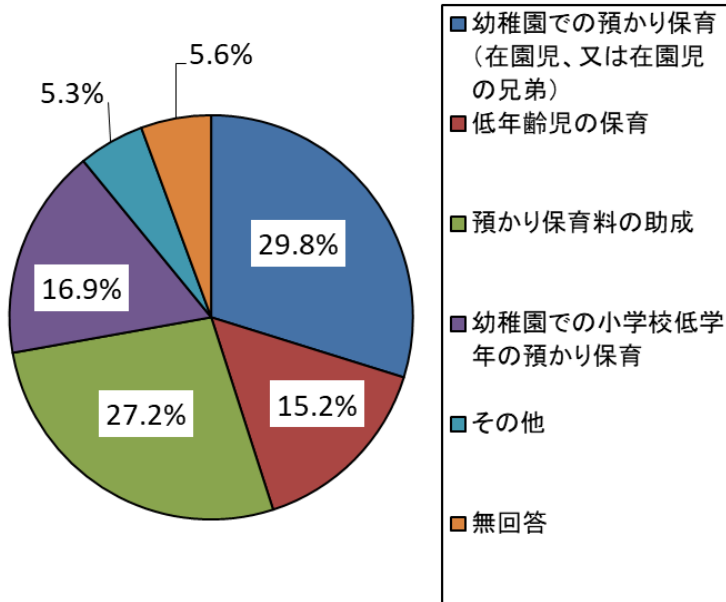
【未就園児保育や園庭開放などについて】



【園の選択理由】



【必要な子育て支援】

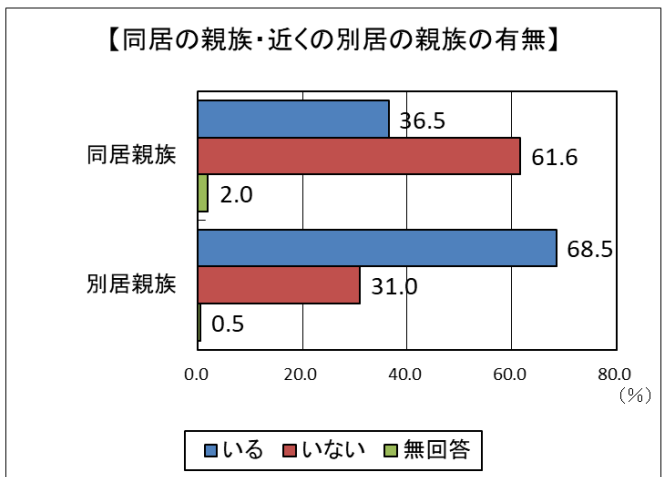
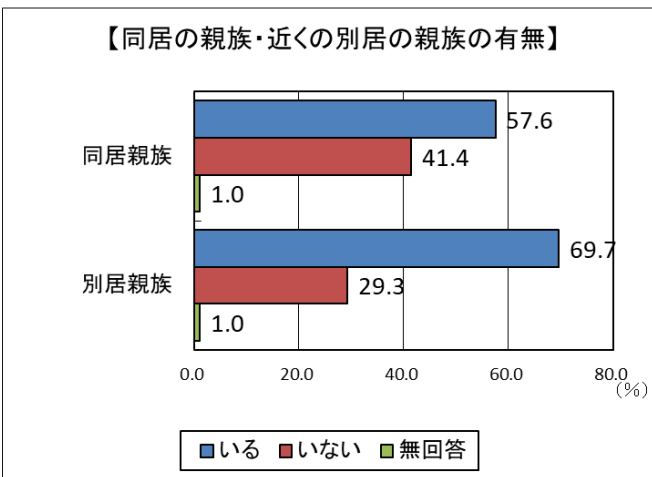
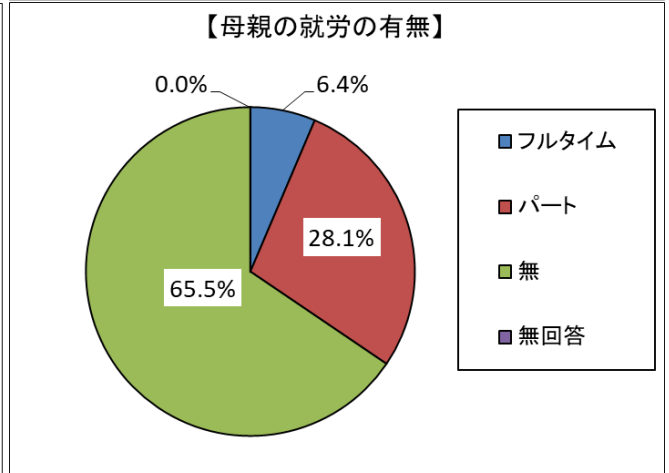
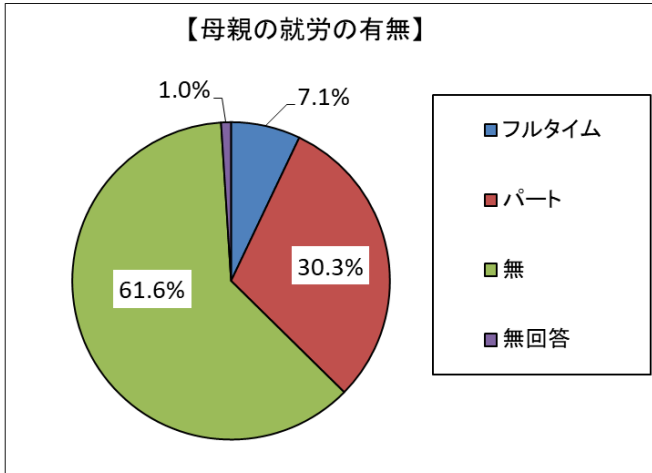
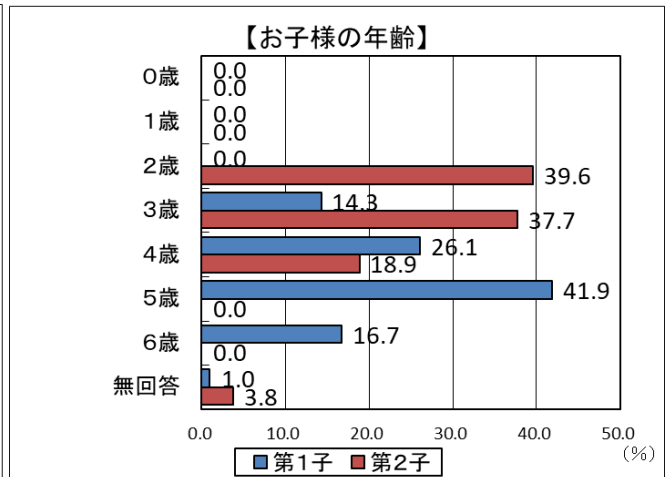
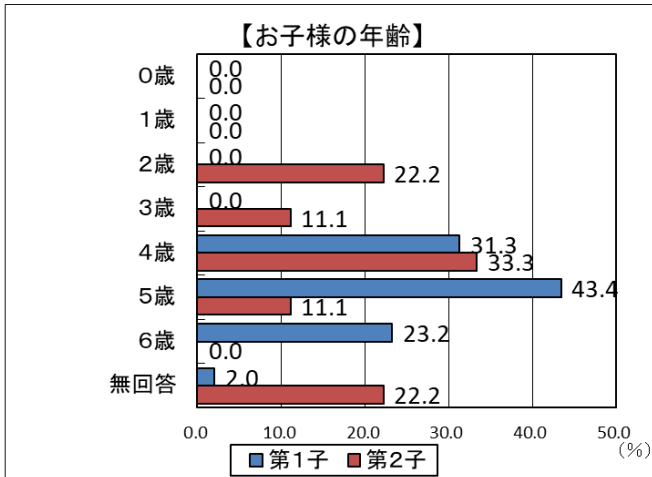


【自由意見】 52 件

- ・ 3歳児保育をしている園を増やしてほしい 11 件
- ・ 夏休みや冬休みの預かり保育を充実させてほしい 10 件
- ・ 給食を導入してほしい 6 件 他

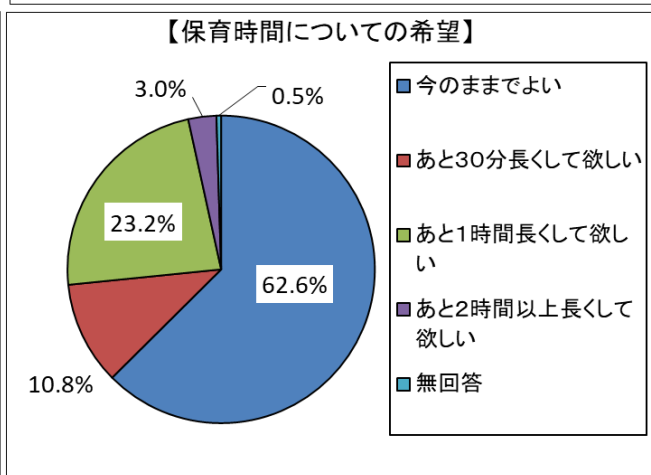
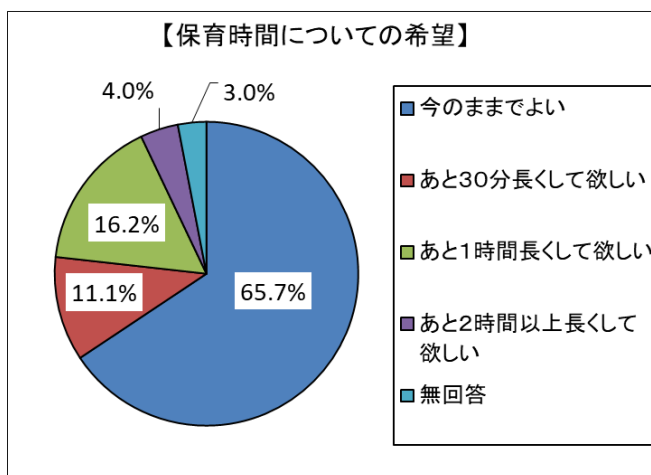
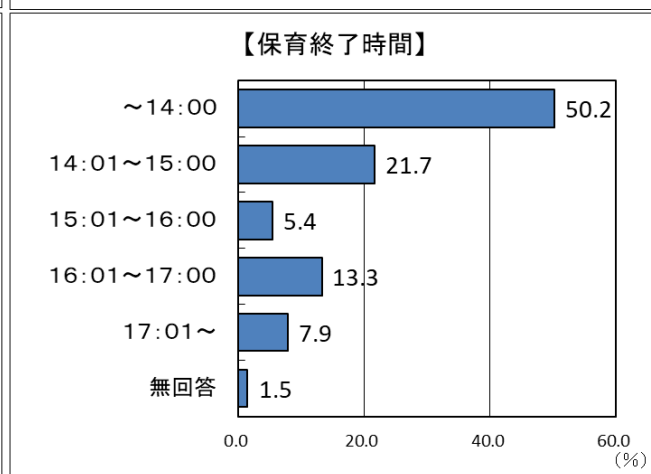
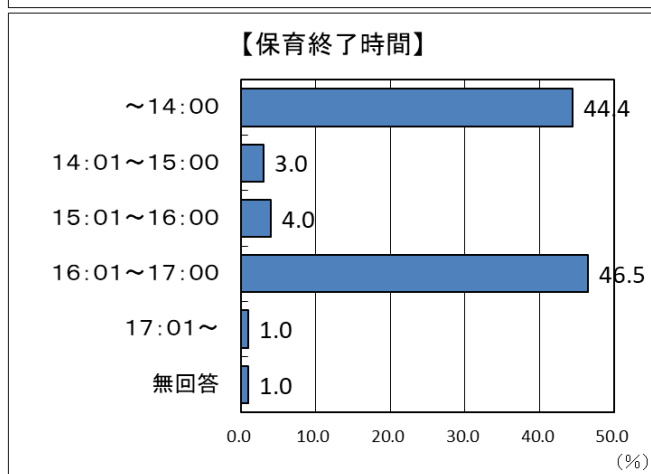
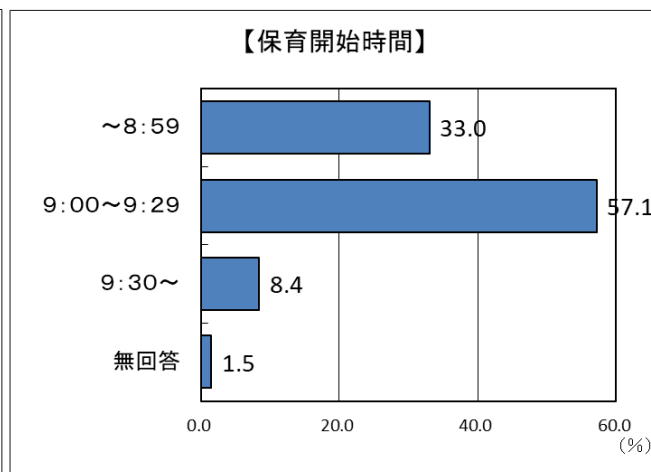
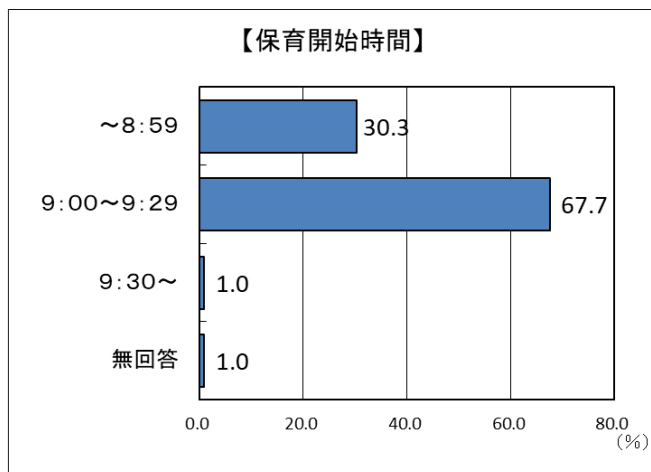
【公立】 n=100

【私立】 n=203



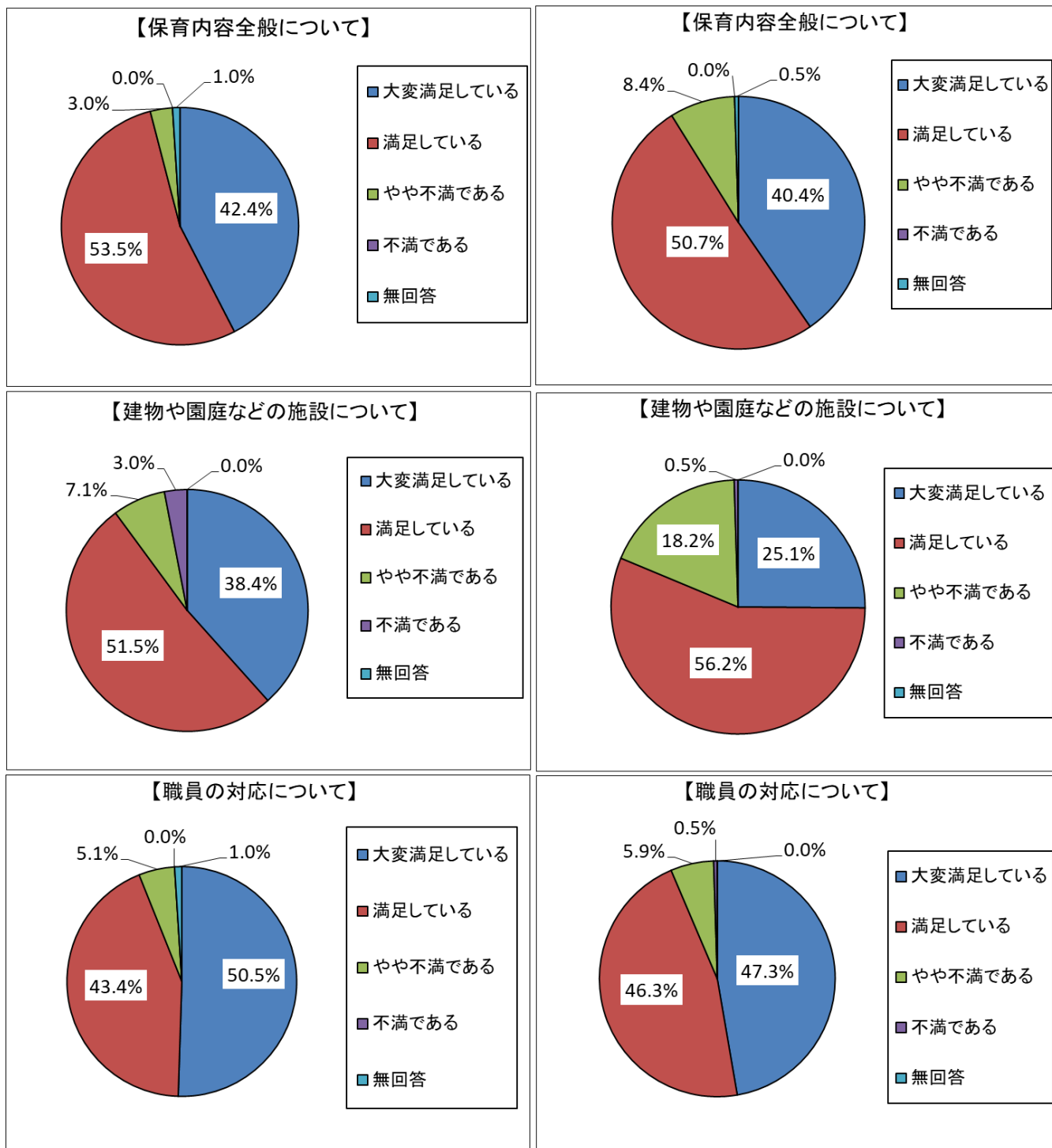
【公立】 n=100

【私立】 n=203



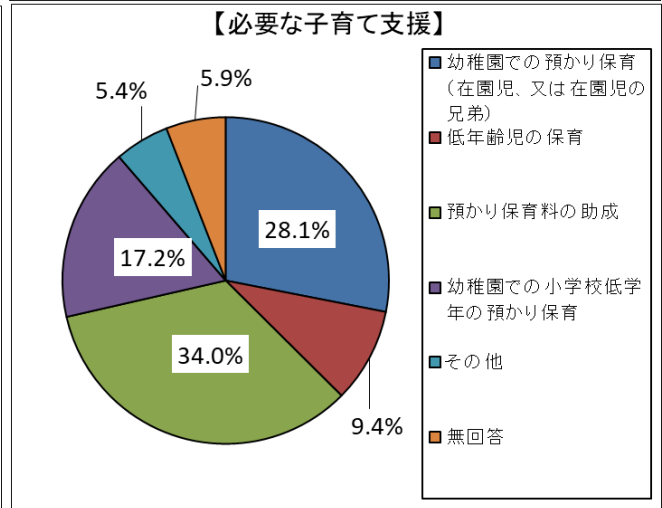
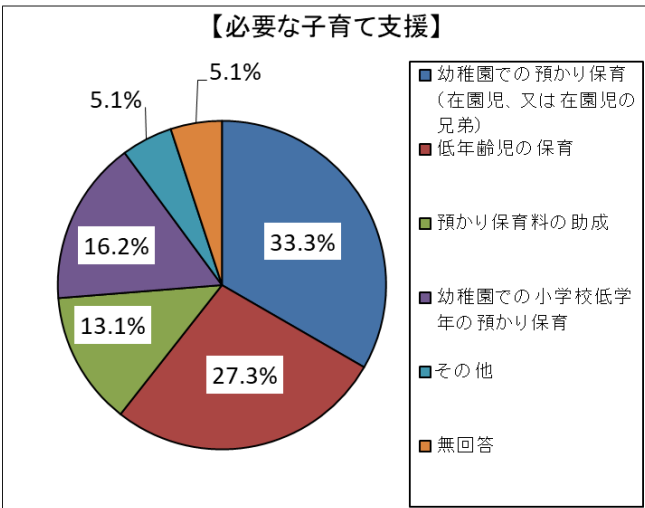
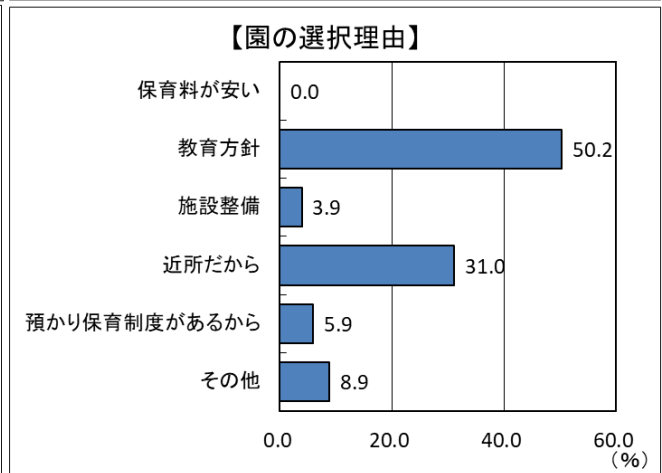
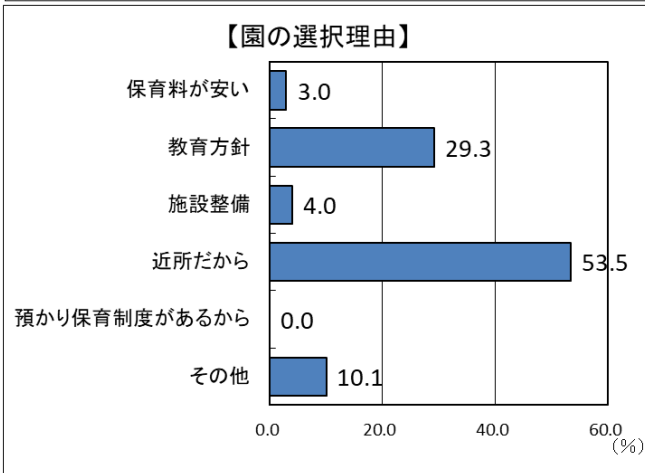
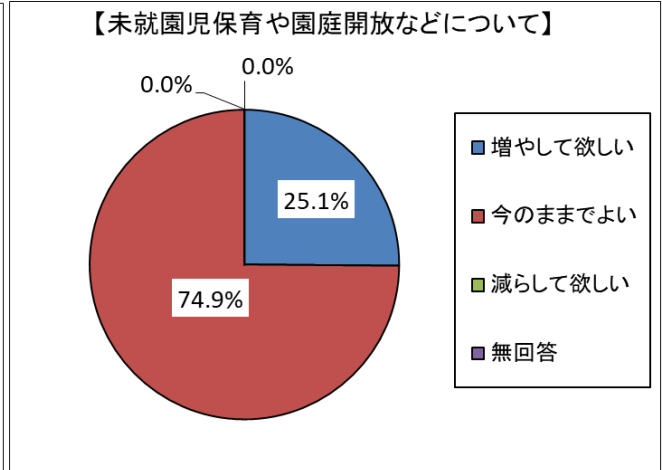
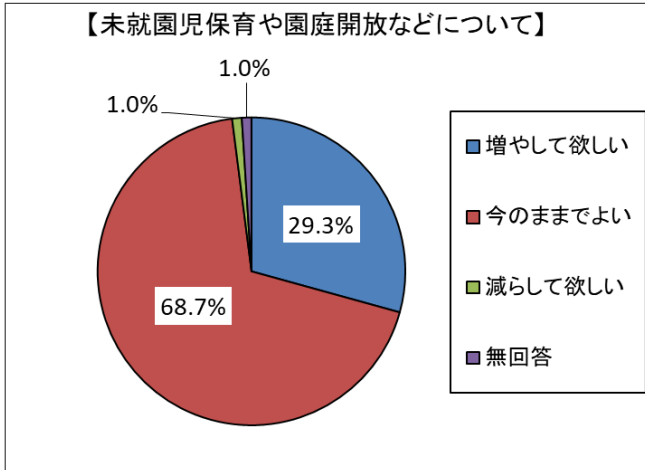
【公立】 n=100

【私立】 n=203



【公立】 n=100

【私立】 n=203

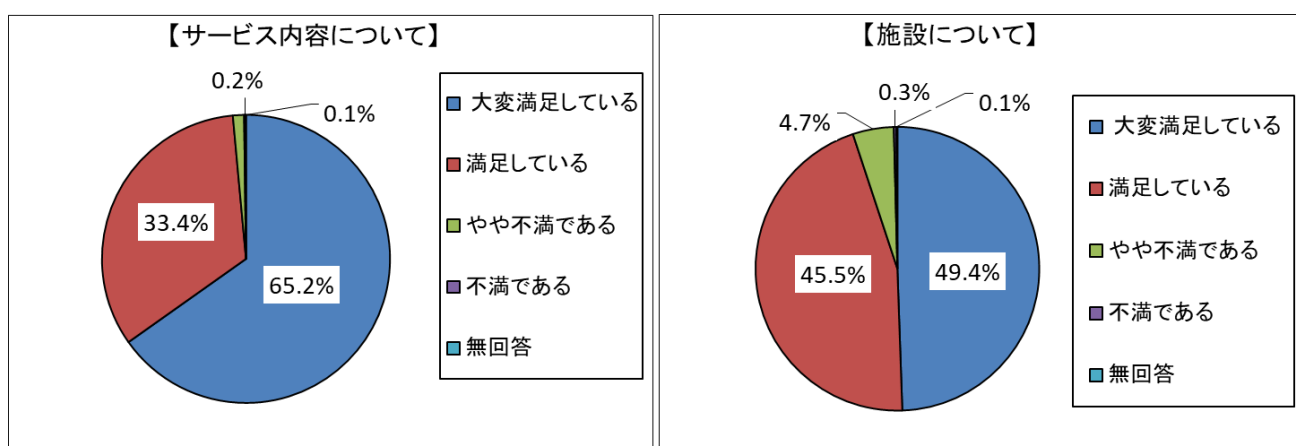
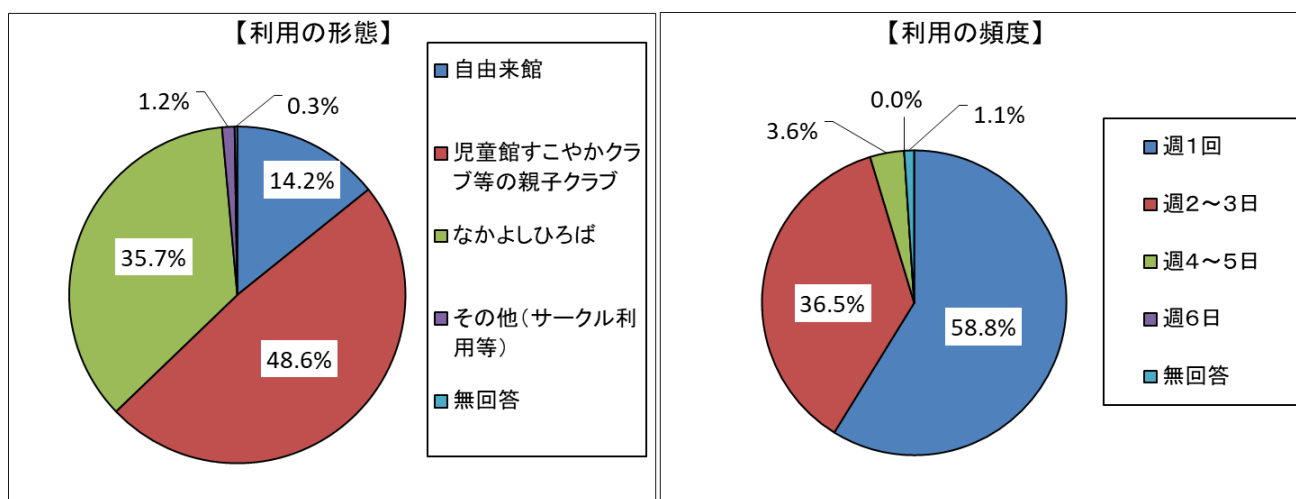


IV 児童館(午前中)

	【公立児童館 118 ヲ所】	【民設児童館 4 ヲ所】
1 調査方法	児童館を通じて、利用者に調査票を配布し、郵送で回収（施設利用者数に応じ、20～50部配布）	児童館を通じて、期間中に利用のあった10組の親子を対象に二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集。
2 調査期間	令和3年3月	令和3年9月
3 配布等	(1) 配布数 2,960セット (2) 回収数 1,975サンプル (3) 回収率 66.7%	(1) 配布数 20セット (2) 回収数 13サンプル (3) 回収率 65.0%

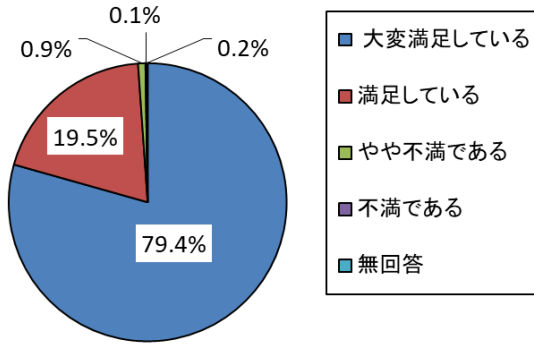
※公立児童館については、「児童館の指定管理者による管理運営状況の評価に関するアンケート」を活用

2 調査結果 (1,988 サンプル)

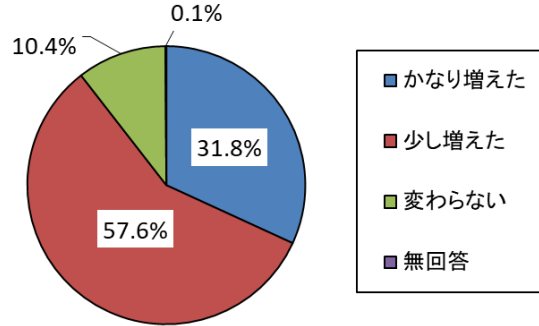


<p>※「やや不満」「不満」の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢相応のプログラムになっていない ・新型コロナウイルスの影響で制限が多い ・空いている日が少ない など 	<p>※「やや不満」「不満」の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設が古い、部屋が狭い ・トイレが汚い ・階段での移動が大変 など
---	--

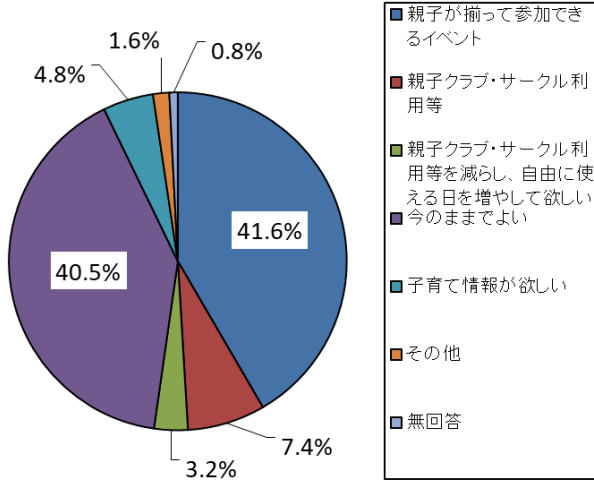
【職員の対応について】



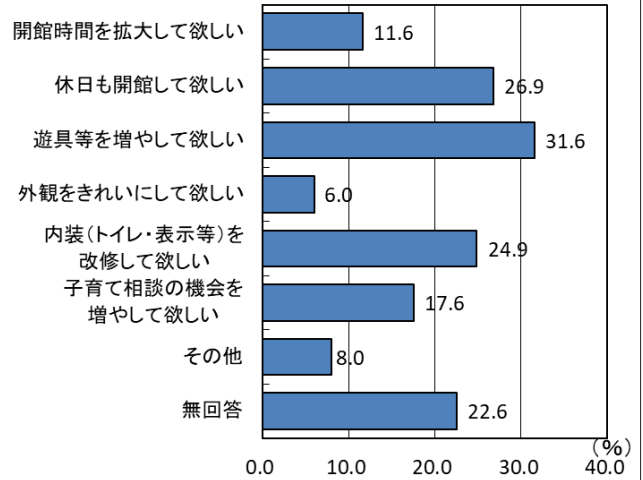
【利用により新しい知人は】



【児童館で増やして欲しいサービスについて】



【利用に関する要望】



【自由意見】 498 件

- ・親子で楽しく利用しているなどの御礼 293 件
- ・(新型コロナウイルスが落ち着いたら) イベントを増やしてほしい 62 件
- ・トイレをきれいにしてほしい、広くしてほしい、便座が冷たい、おむつを替えるスペースや授乳室などがほしい 34 件
- ・絵本やおもちゃを増やしてほしい 19 件 他

V 大学連携（大学と連携した子育て支援事業）

1 調査方法

【8大学10カ所】

令和3年9月に利用のあった親子を対象に二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集。

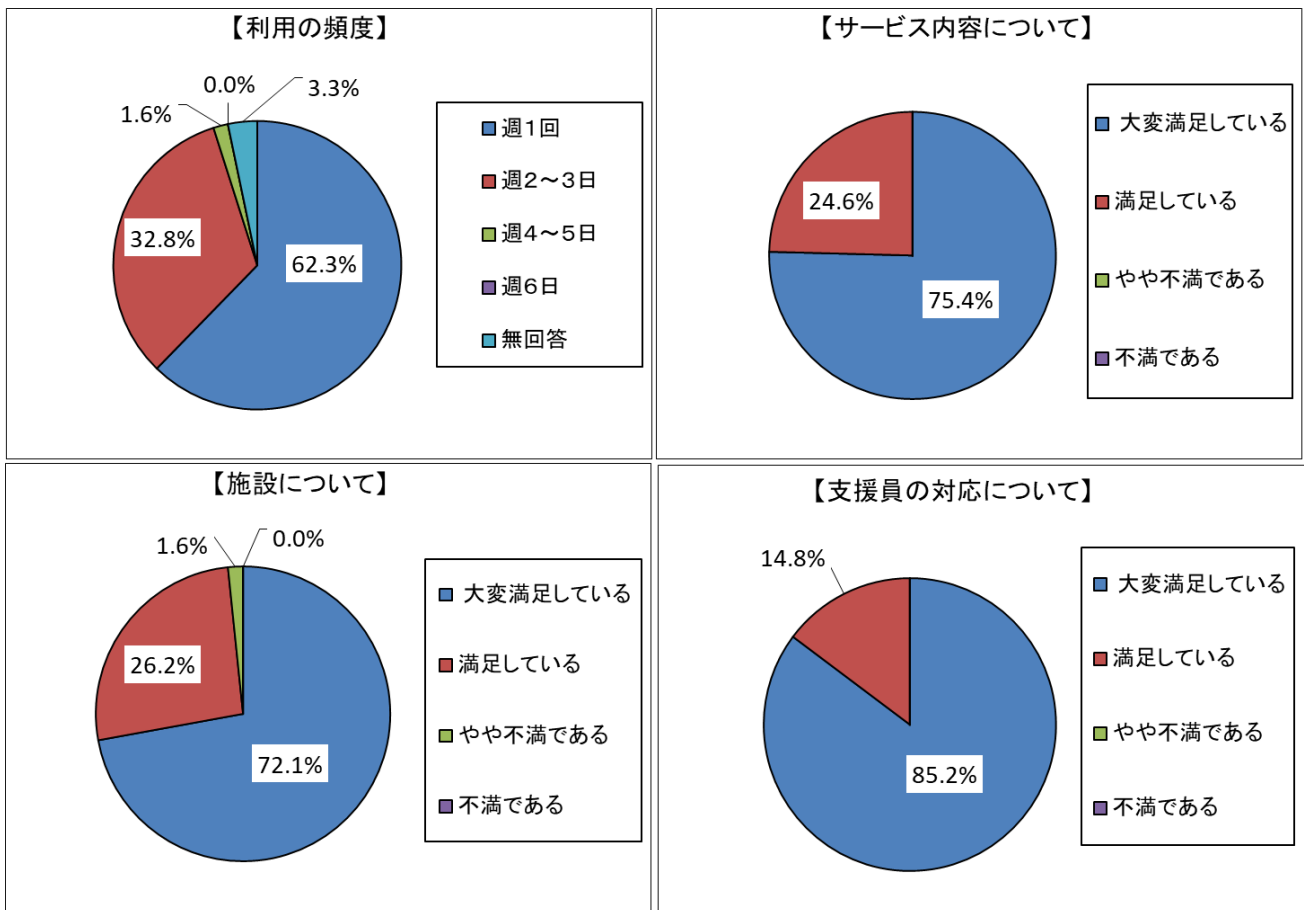
2 調査期間

令和3年9月

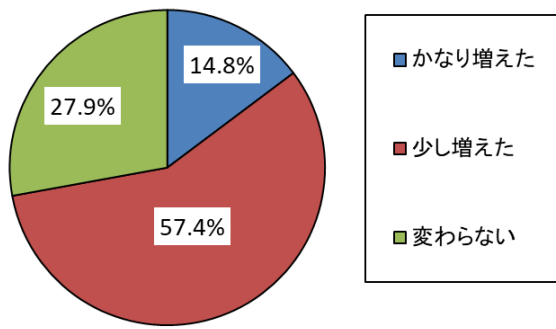
3 配布等

- (1) 配布数 100 セット
- (2) 回収数 61 サンプル
- (3) 回収率 61.0%

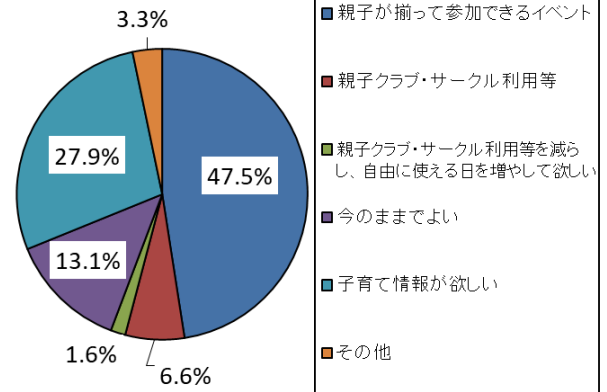
4 調査結果



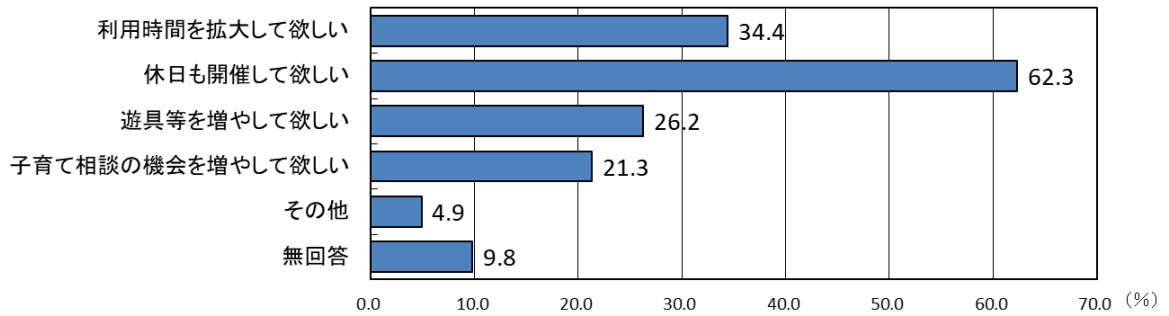
【利用により新しい知人は増えたか】



【大学で増やして欲しいサービスについて】



【利用に関する要望】



【自由意見】 15 件

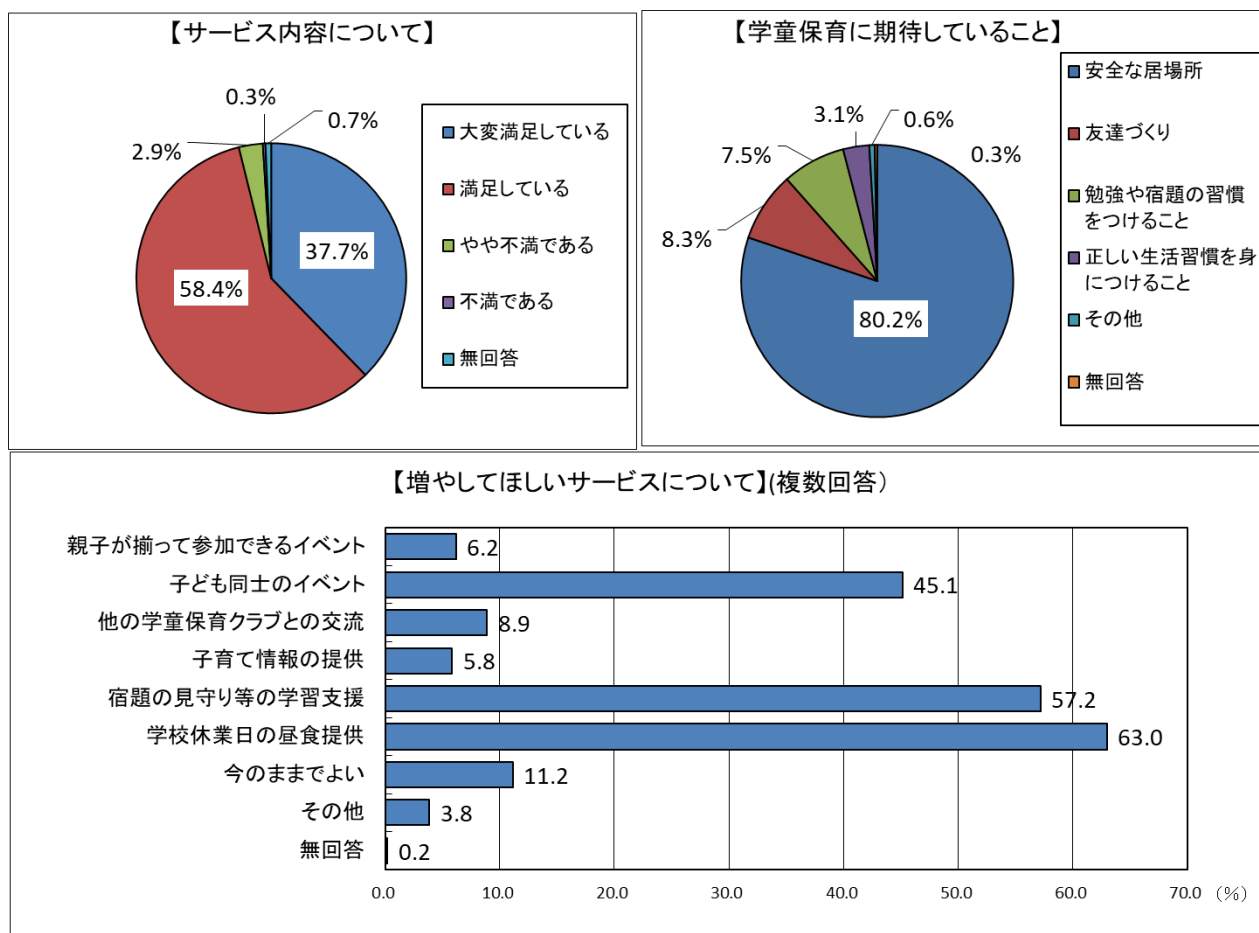
・土日にも運営してほしい、発達がゆっくりな子向けの講座やイベントを実施してほしい 他

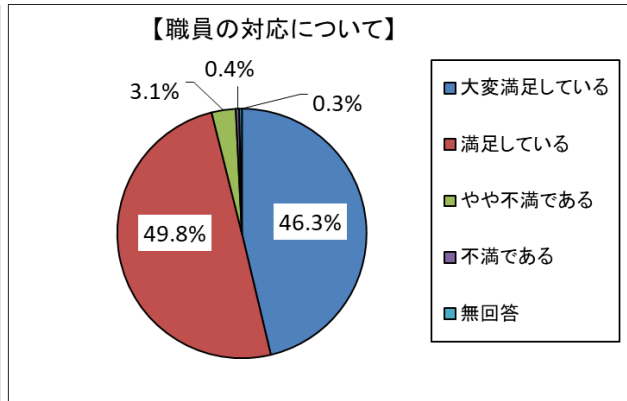
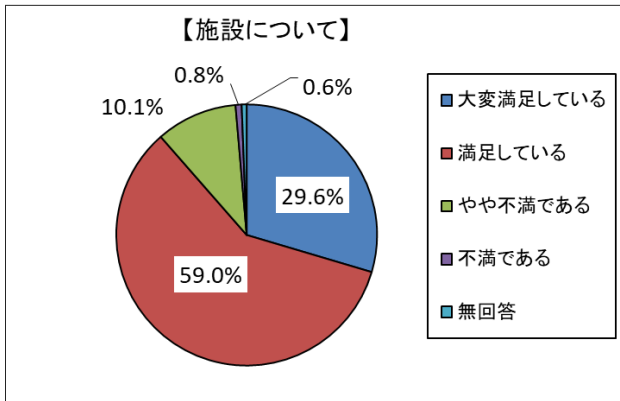
VI 学童保育

	【公設学童保育所 188 箇所】	【民設学童保育 39 箇所】
1 調査方法	学童保育所を通じて、子ども用と保護者用の調査票を配布し、郵送で回収（施設利用者数に応じ、15～50 部配布）。	学童保育所を通じて、期間中に利用のあった 5 組の親子を対象に二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集。
2 調査期間	令和 3 年 3 月	令和 3 年 9 月
3 配布等	(1) 保護者 ①配布数 5,460 セット ②回収数 4,015 サンプル ③回収率 73.5% (2) こども ①配布数 5,460 セット ②回収数 4,013 サンプル ③回収率 73.5%	(1) 保護者 ①配布数 101 セット ②回収数 72 サンプル ③回収率 71.3% (2) こども ①配布数 101 セット ②回収数 45 サンプル ③回収率 44.6%

※公設学童保育所については「児童館の指定管理者による管理運営状況の評価に関するアンケート」を活用

4 調査結果（保護者用）（4,087 サンプル）



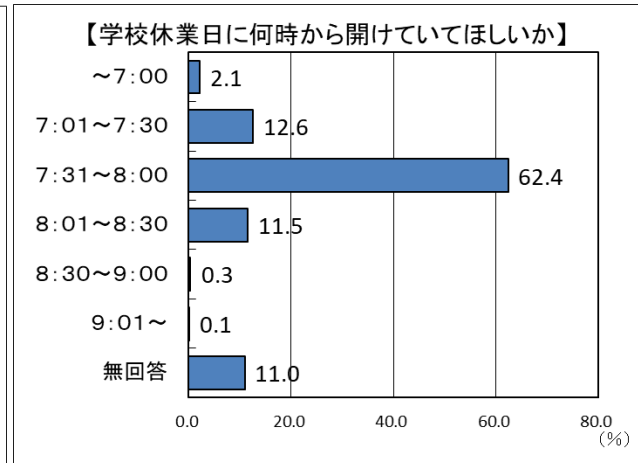
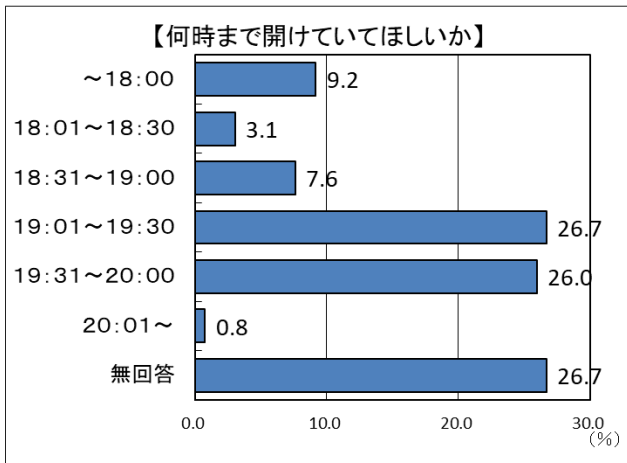
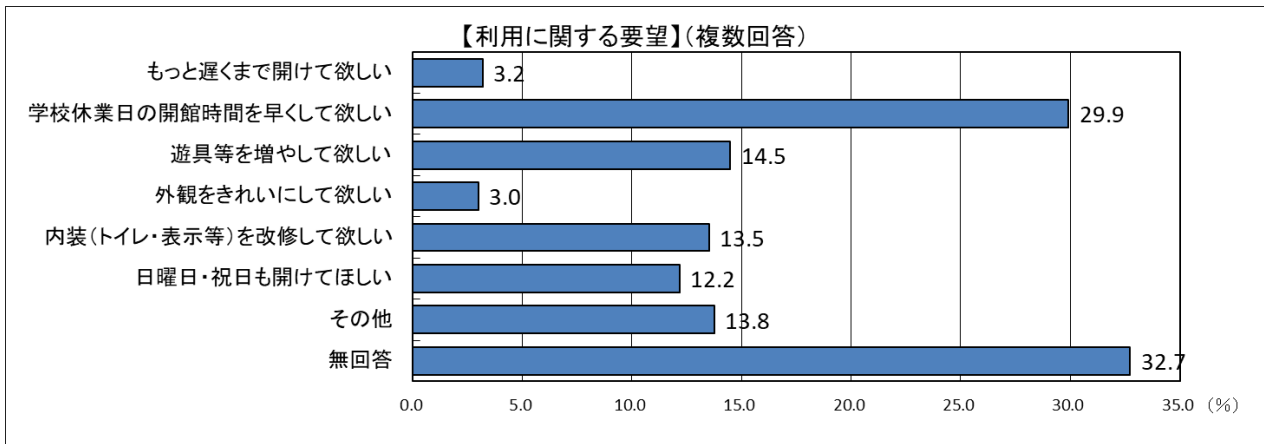


※「やや不満」「不満」の理由

- ・建物が古い
- ・人数に対してスペースが狭い
- ・外遊びができない など

※「やや不満」「不満」の理由

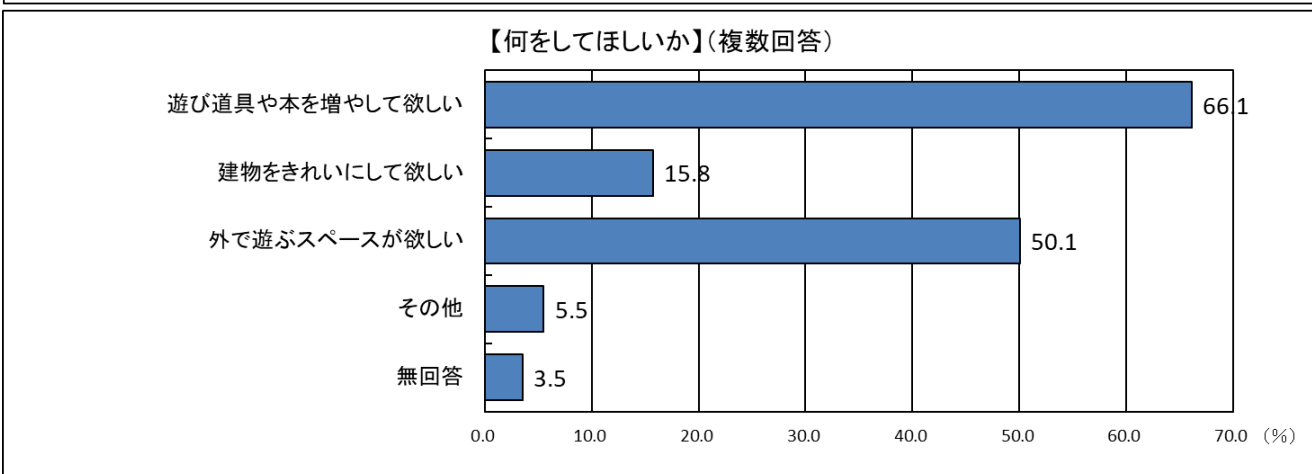
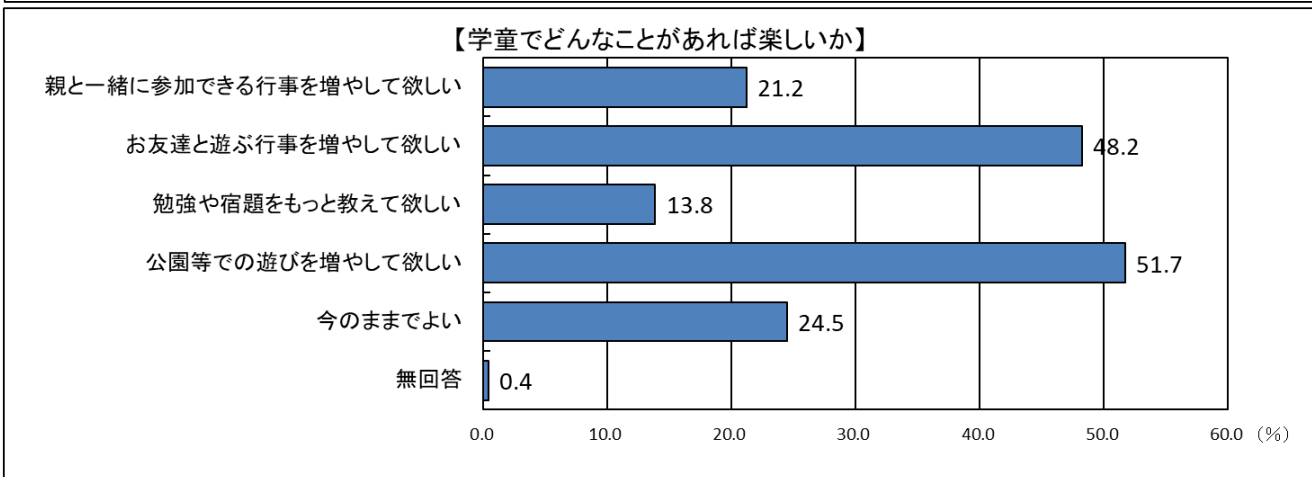
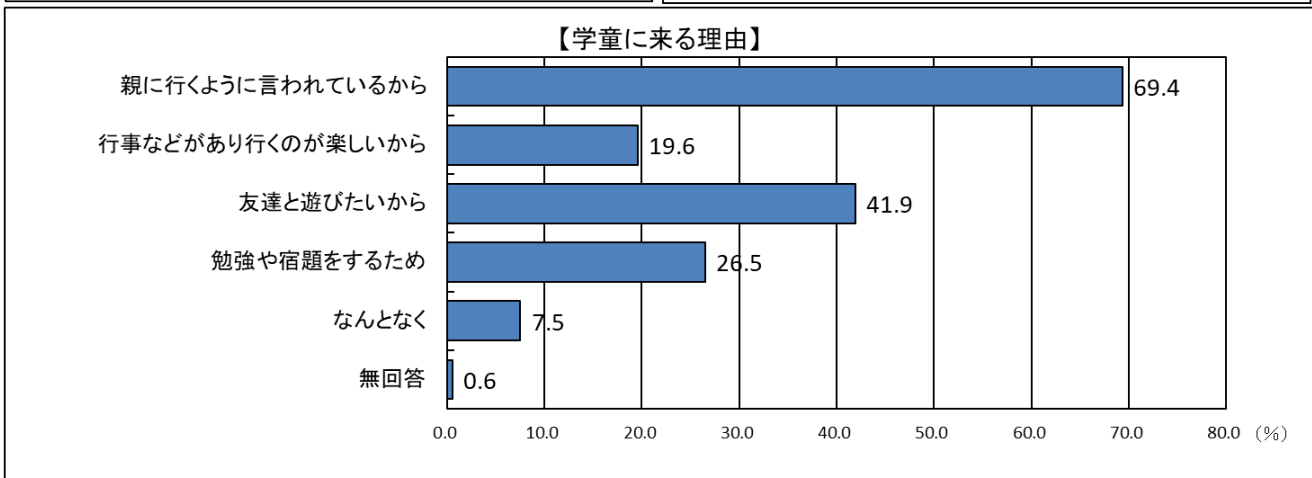
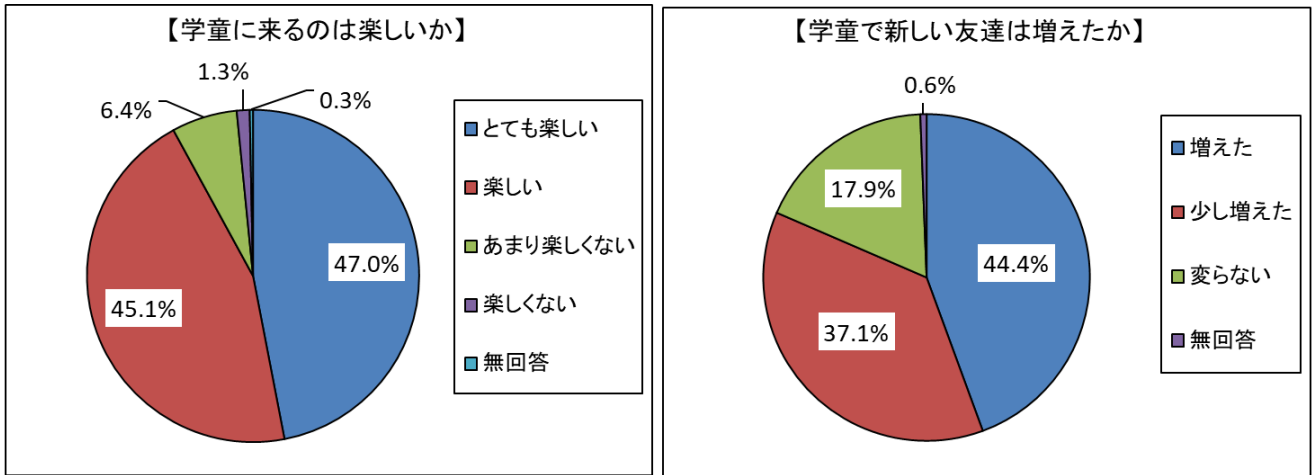
- ・職員によって対応に差がある
- ・大きい声で怒る
- ・愛想が悪い など



【自由意見】 622 件

・預かっていただき、感謝しているなどの御礼	122 件
・学童代やおやつ代は利用日数に応じて徴収してほしい。	44 件
・4月から開館時間が8時からになると聞いており、大変助かる。	41 件
・長期休業日のみ利用できるようにしてほしい。	34 件
・外遊びの機会を増やしてほしい。	24 件
・長期休暇中に昼食の提供をしてほしい。	24 件
・健康に配慮したおやつを選んでほしい。	22 件
	等

5 調査結果（こども用）（4,058 サンプル）



Ⅶ 一時預かり（一時保育含む）

1 調査方法

一時預かり（一時保育含む）実施園（幼稚園、保育所（園）、認定こども園、小規模保育）322 園で、調査期間中の利用者に施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集。

※ 認定こども園（134 園）の一時預かり利用者にも配布を行ったが、子どもの保護者への配布の準備として、二次元コードを記載したアンケート依頼文を封筒に封入する際、作業の錯誤があり、得られた回答について適切な分析ができなかったため、認定こども園の回答は集計を見送ることとした。

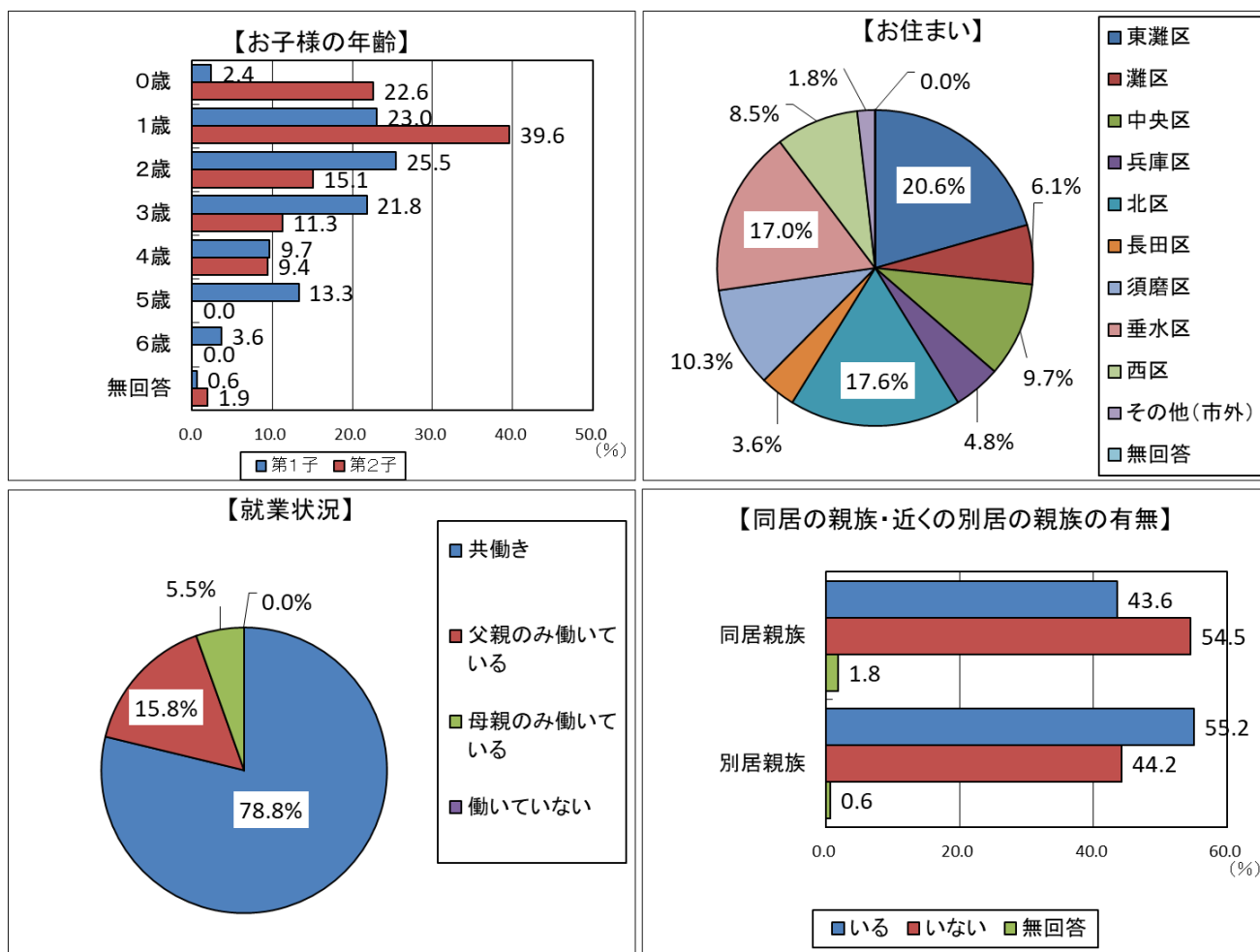
2 調査期間

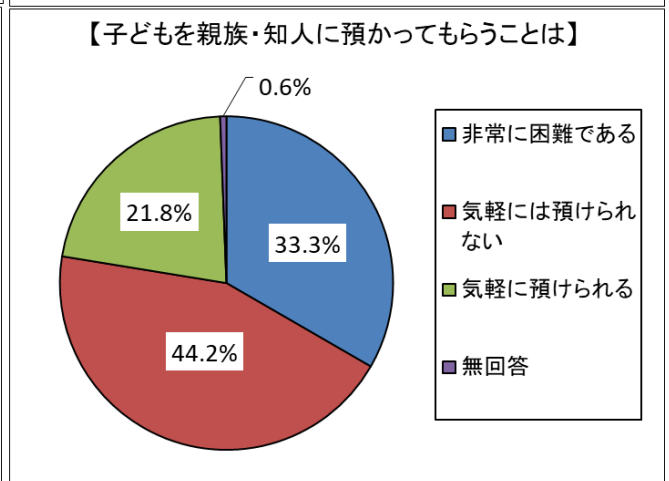
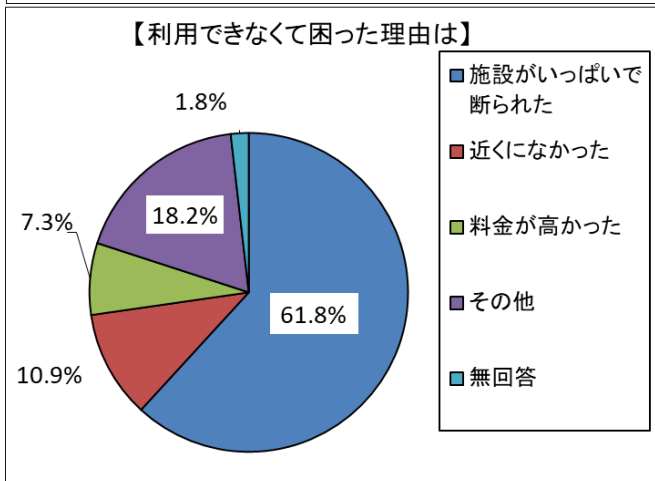
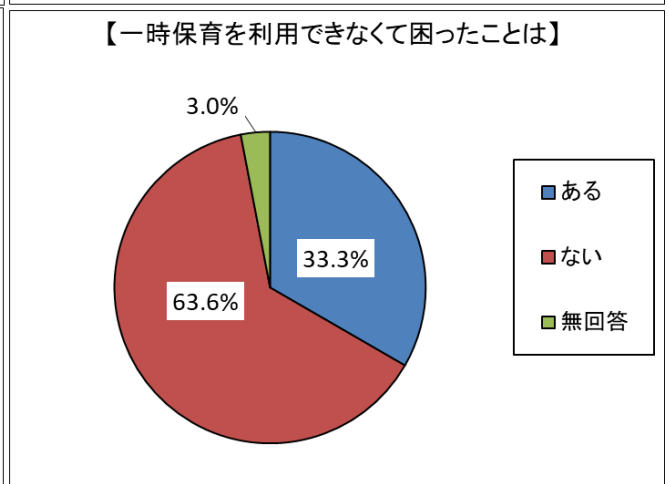
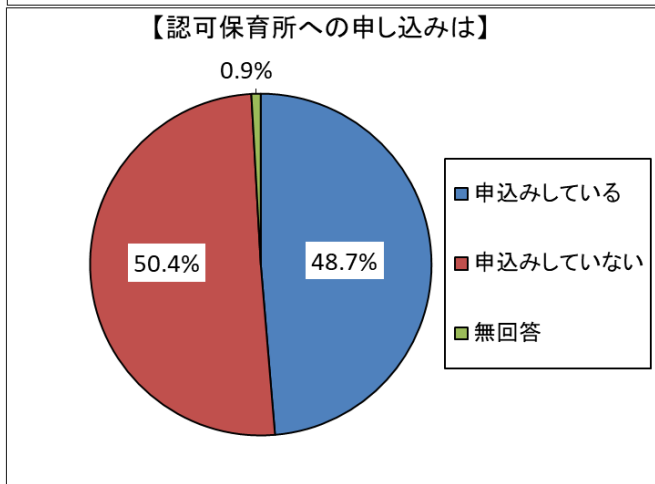
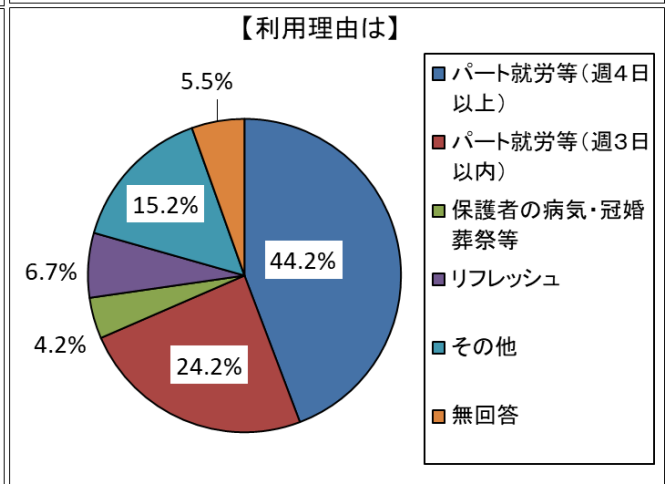
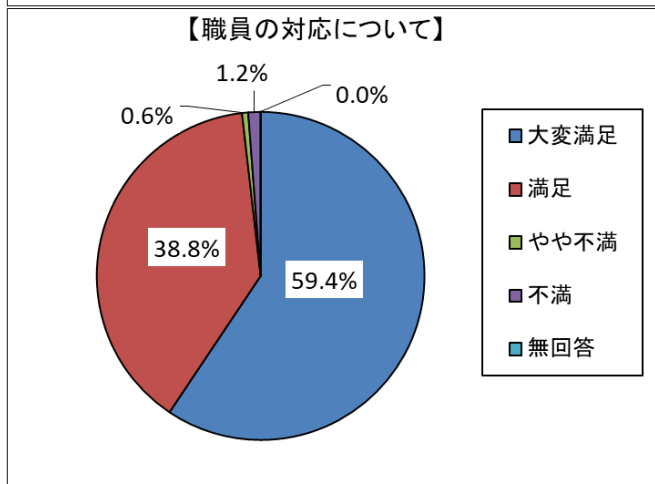
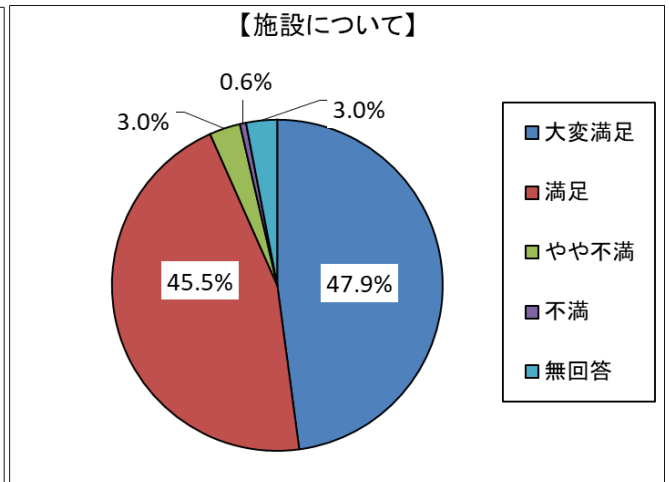
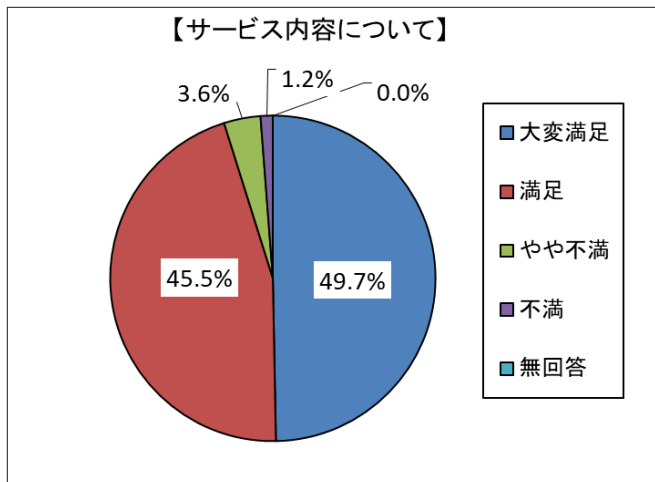
令和3年9月

3 回収数

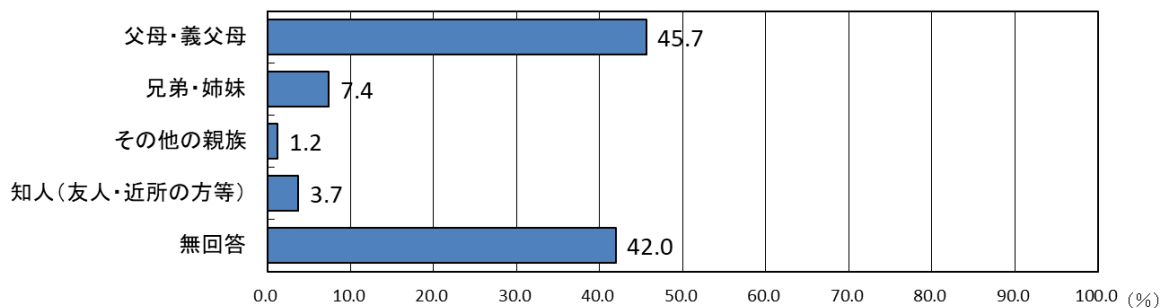
- (1) 配布数 292 セット
- (2) 回収数 165 サンプル
- (3) 回収率 56.5%

4 調査結果

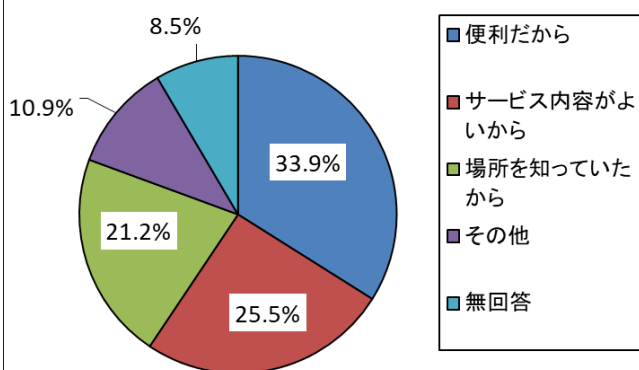




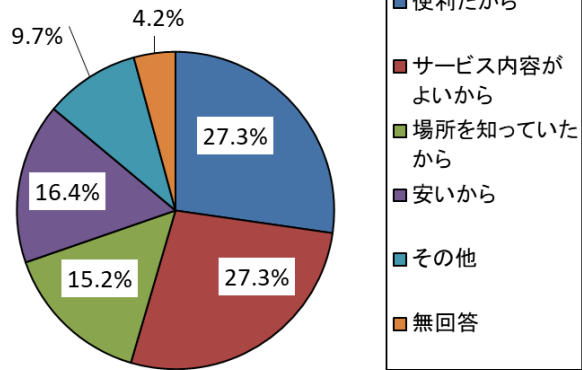
【気軽に預けられると回答した方は、どなたに預けられますか】



【子育てリフレッシュステイでなく本保育所を利用した理由】



【民間の託児サービスでなく本保育所を利用した理由】



【自由意見】 28 件

- ・ 利用日数の上限を増やしてほしい 4 件
- ・ 新型コロナウイルスの影響で、リフレッシュのための預かりを断られた 2 件
- ・ 多子軽減補助金の手続きが面倒 他

Ⅷ 子育てリフレッシュステイ

1 調査方法

子育てリフレッシュステイを実施している施設（児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設）23 箇所
で、調査期間中の利用者に施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイト
から回答を収集。

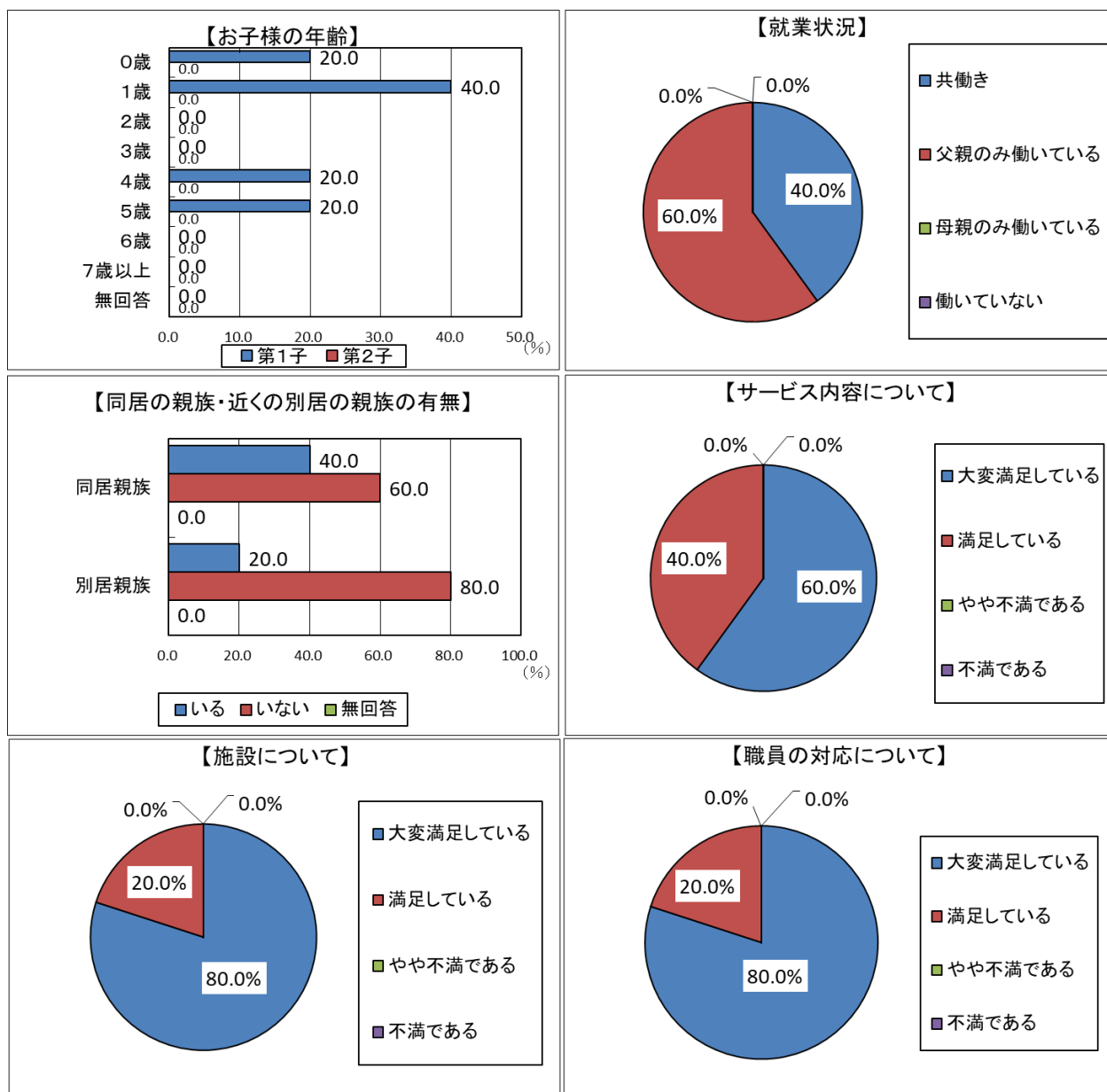
2 調査期間

令和3年9月

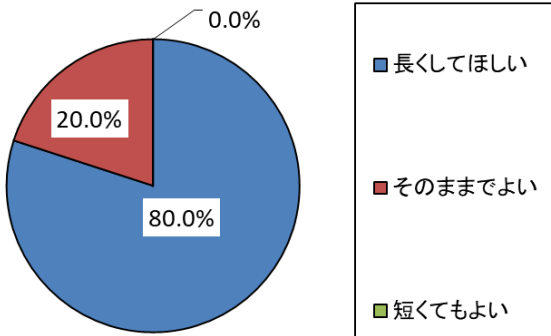
3 回収数

- (1) 配布数 23 セット
- (2) 回収数 5 サンプル
- (3) 回収率 21.7%

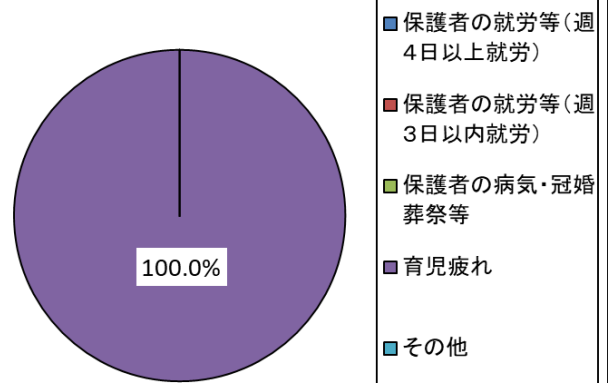
4 調査結果



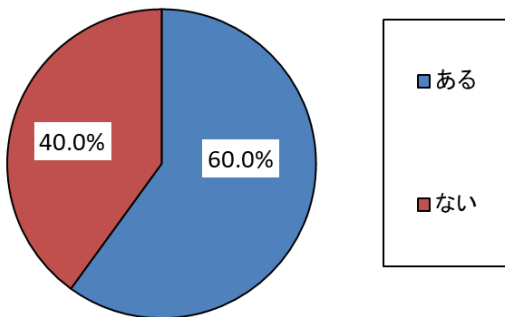
【利用期間について】



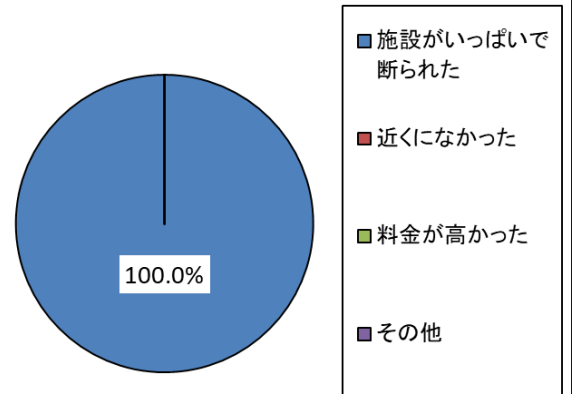
【利用理由について】



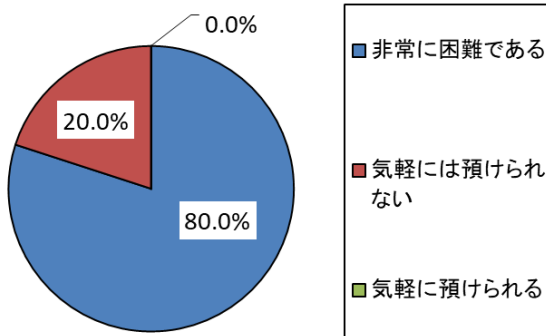
【利用できなくて困ったことは】



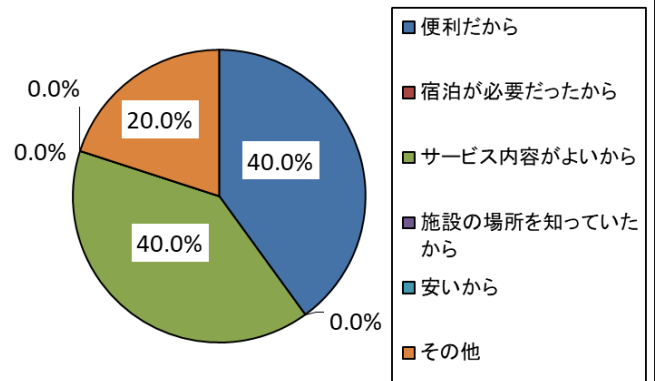
【利用できなくて困った理由は】



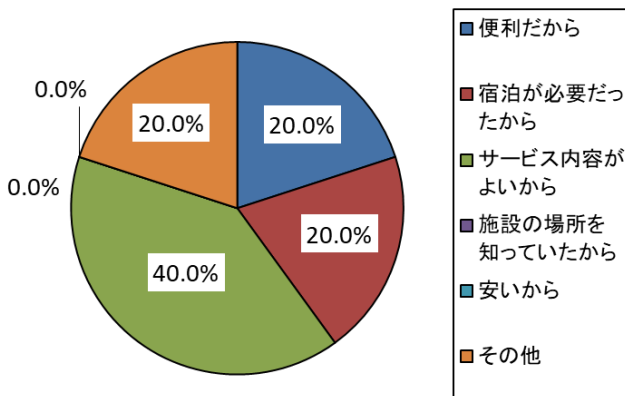
【子どもを親族・知人に預かってもらうことは】



【認可保育所の一時保育ではなく本サービスを利用した理由は】



【民間の託児サービスでなく本サービスを利用したのは】



Ⅸ 病児保育

1 調査方法

病児保育を実施している全施設（21 箇所）で、調査期間中の利用者に施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集。

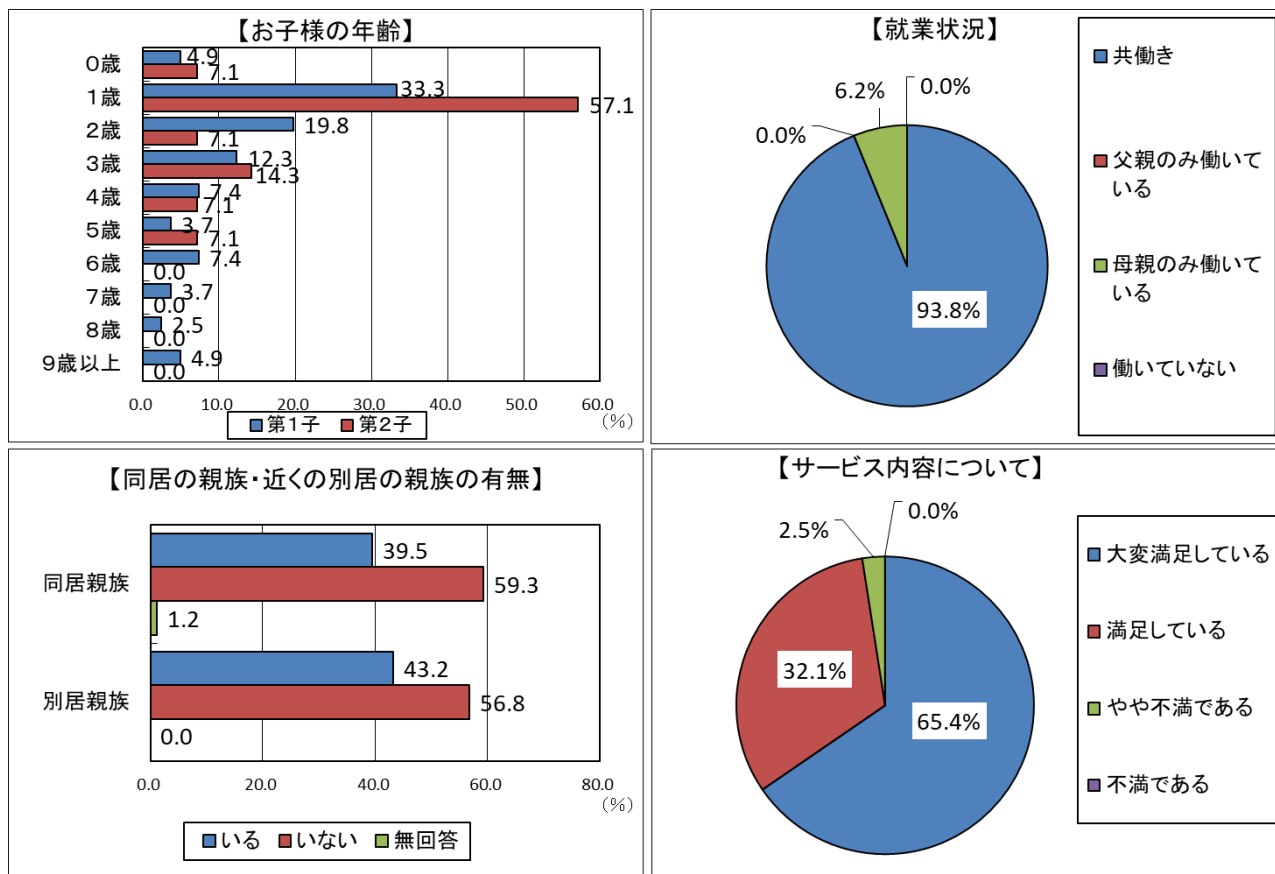
2 調査期間

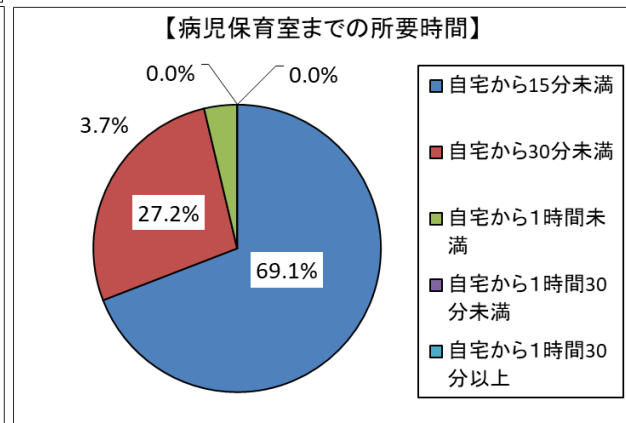
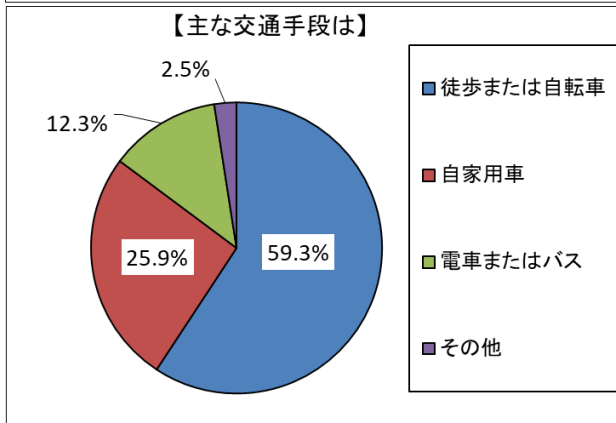
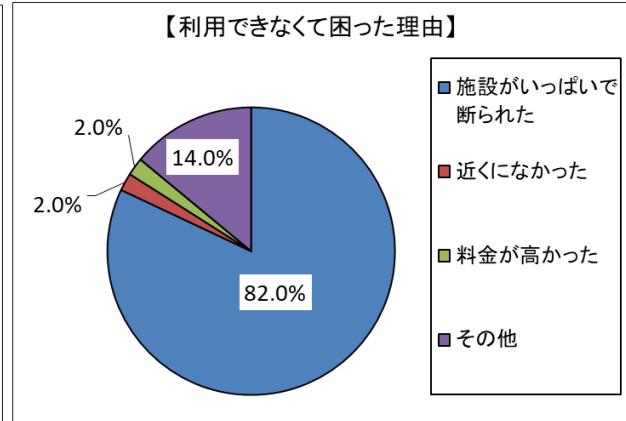
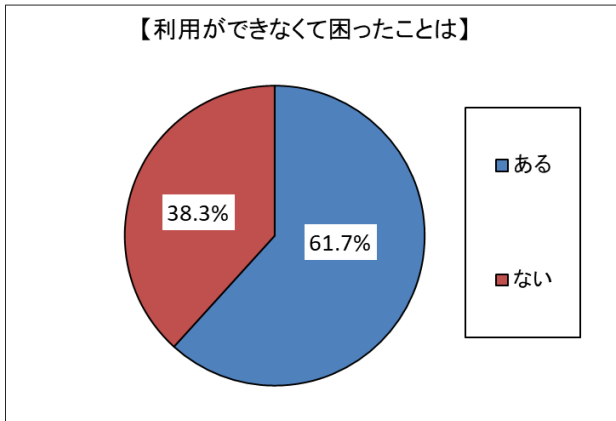
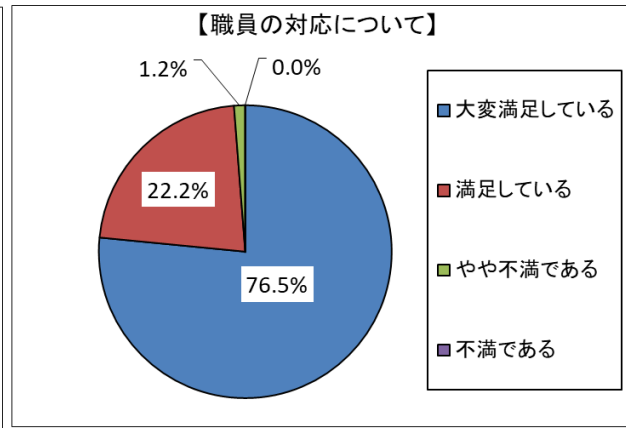
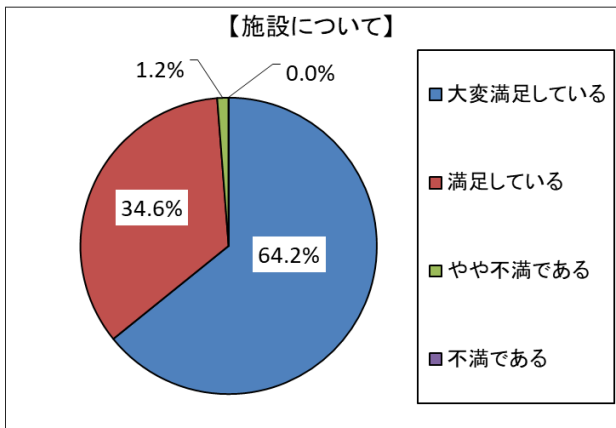
令和3年9月

3 回収数

- (1) 配布数 180 セット
- (2) 回収数 81 サンプル
- (3) 回収率 45.0%

4 調査結果





【自由意見】 34 件

- 施設数、定員を増やしてほしい 15 件
- 共働きのため、病児保育で預かってくれることが大変助かる 他

X ファミリー・サポート・センター

1 調査方法

ファミリー・サポート・センター依頼会員(協力会員を兼ねる人を含む)から 300 名を無作為抽出し、施設を通じて調査期間中の利用者に二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集。

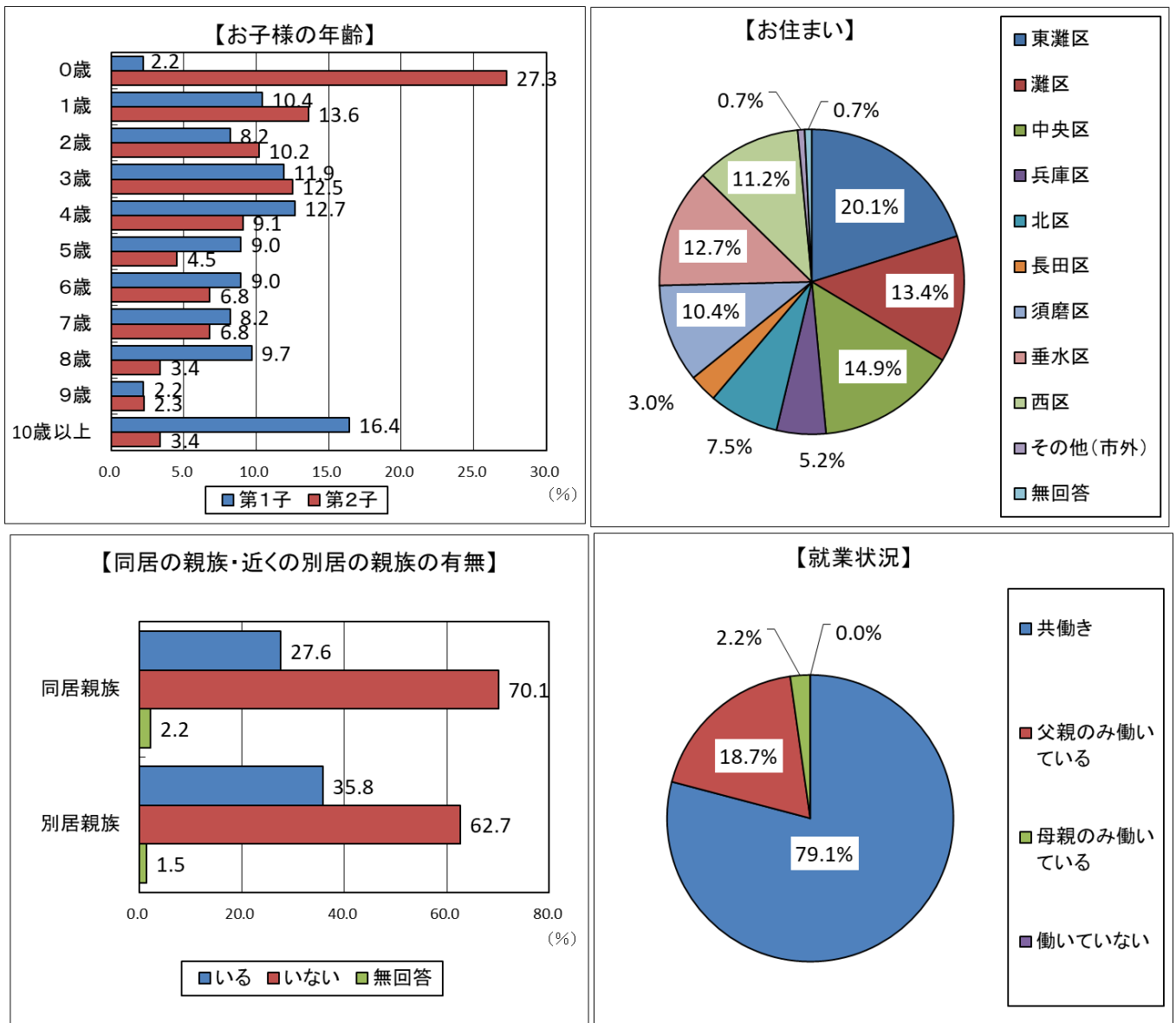
2 調査期間

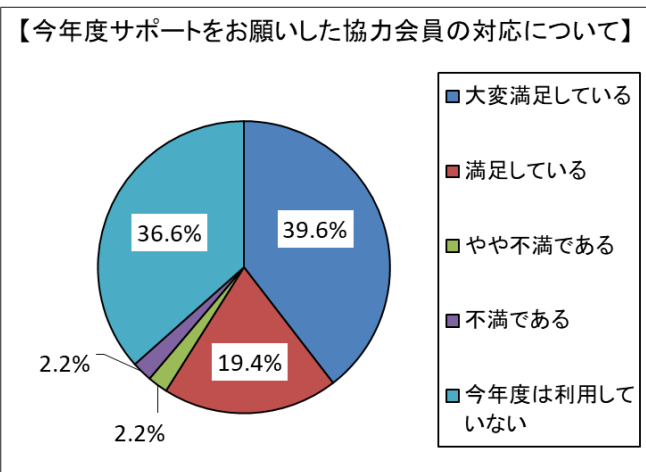
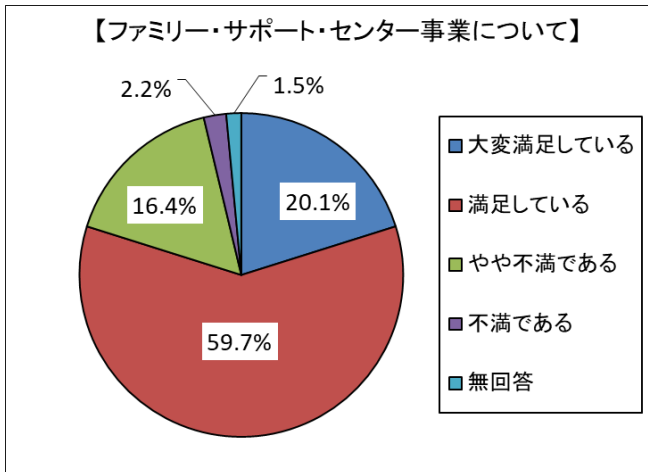
令和3年9月

3 配布等

- (1) 配布数 300 セット
- (2) 回収数 134 サンプル
- (3) 回収率 44.7%

4 調査結果



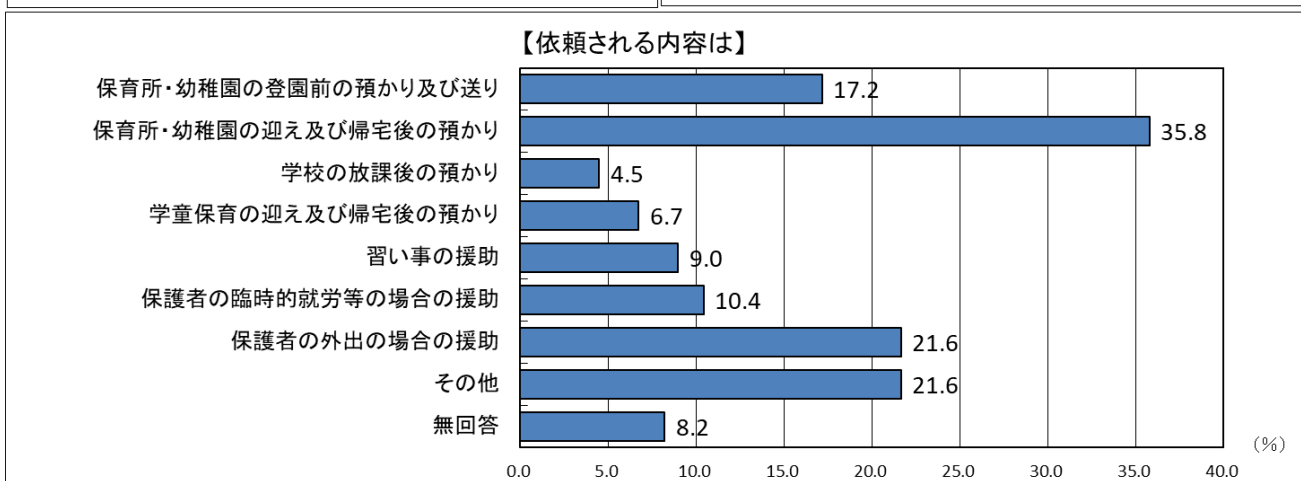
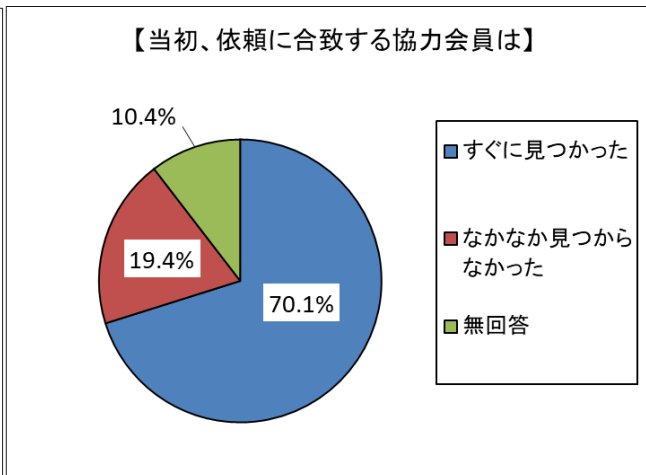
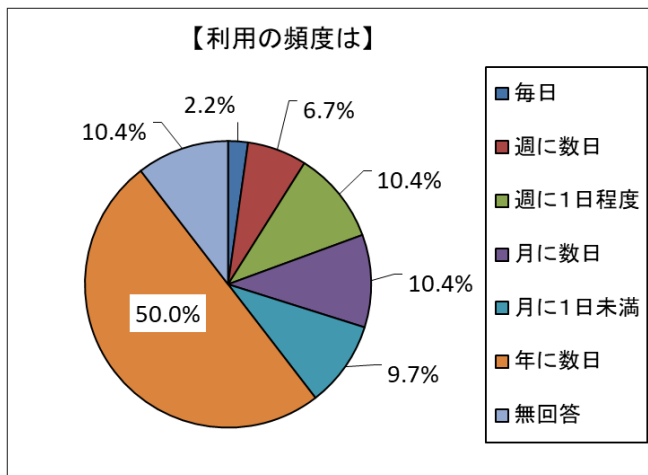


※「やや不満」「不満」の理由

- ・急な利用ができない
- ・手続きが煩雑
- ・料金が高く手軽に利用できない など

※「今年度は利用していない」の理由

- ・利用する機会・必要がなかったため
- ・コロナ禍で預けづらいため など



【自由意見】 32 件

- ・料金が高く利用しづらい 9 件
- ・手続きが煩雑で利用しづらい 5 件 他

XI 小規模保育

1 調査方法

小規模保育を実施している施設（136 箇所）で、調査期間中の利用者に施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集。

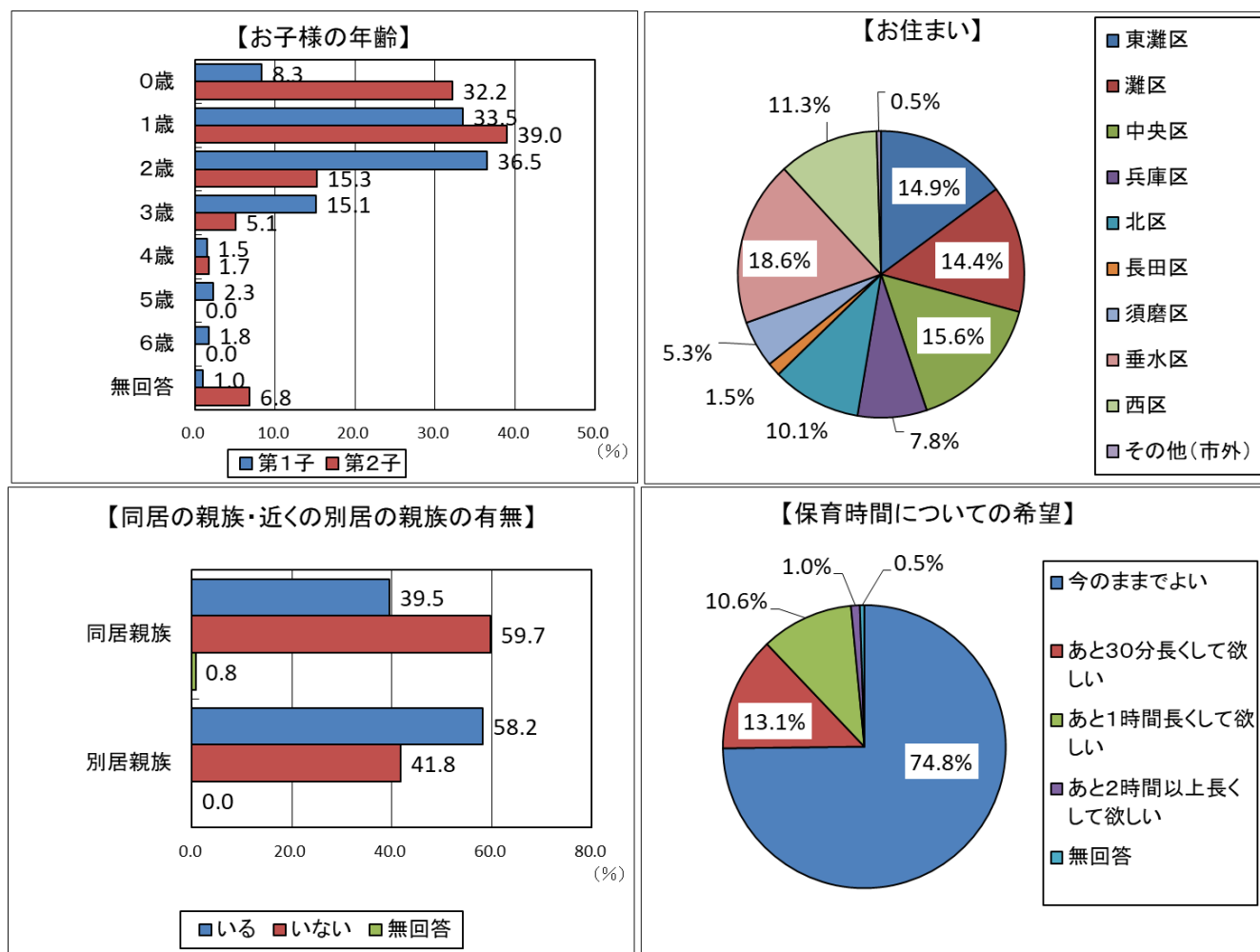
2 調査期間

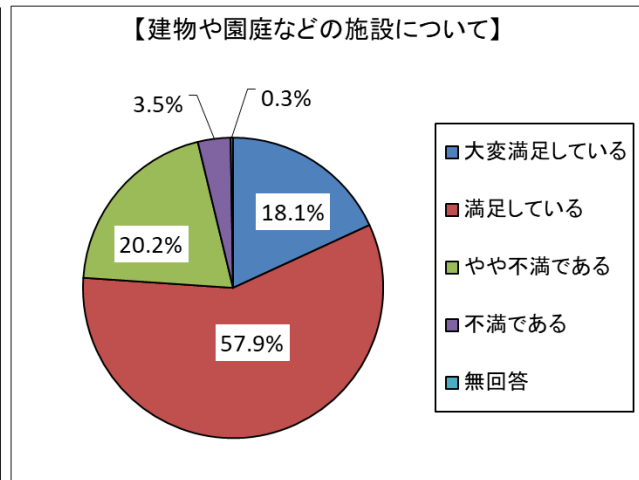
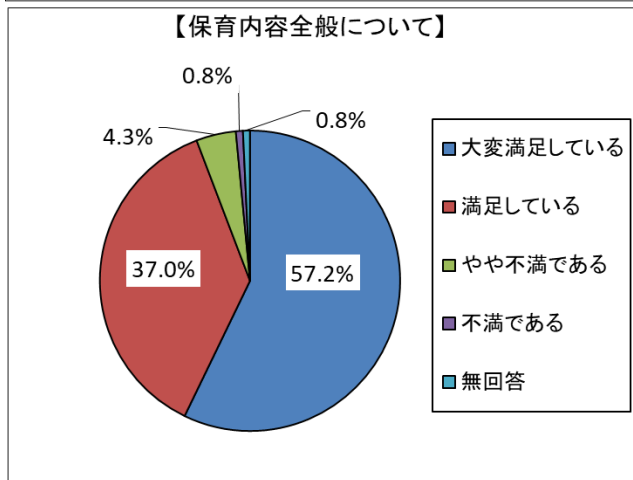
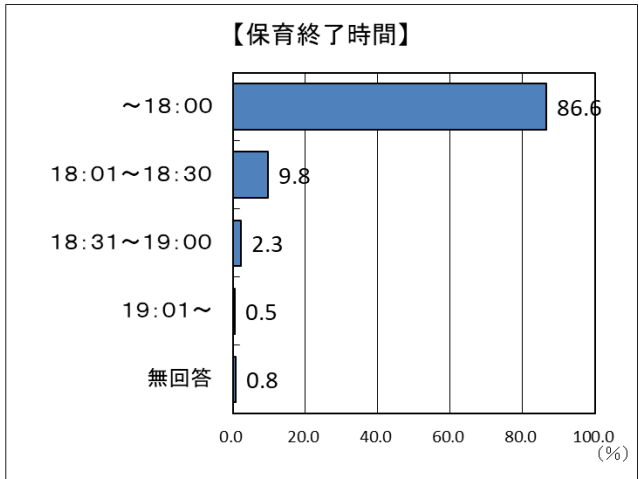
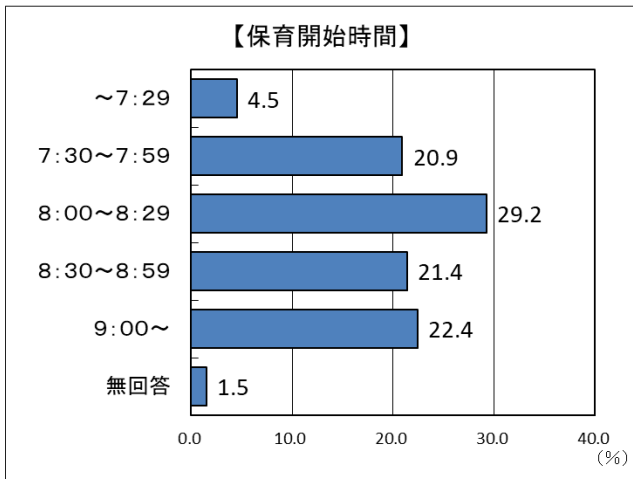
令和3年9月

3 配布等

- (1) 配布数 623 セット
- (2) 回収 397 サンプル
- (3) 回収率 63.7%

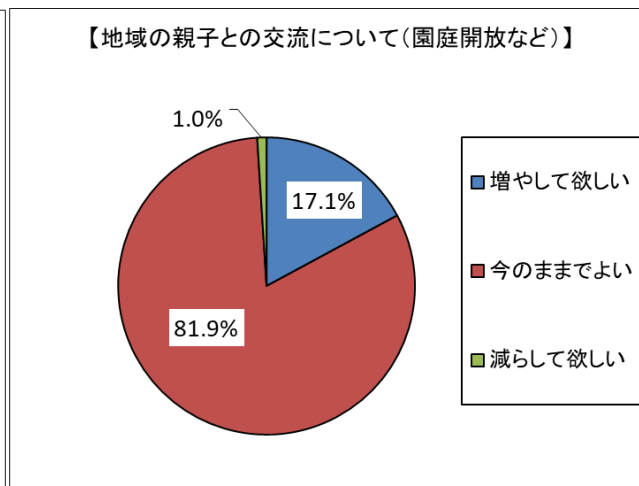
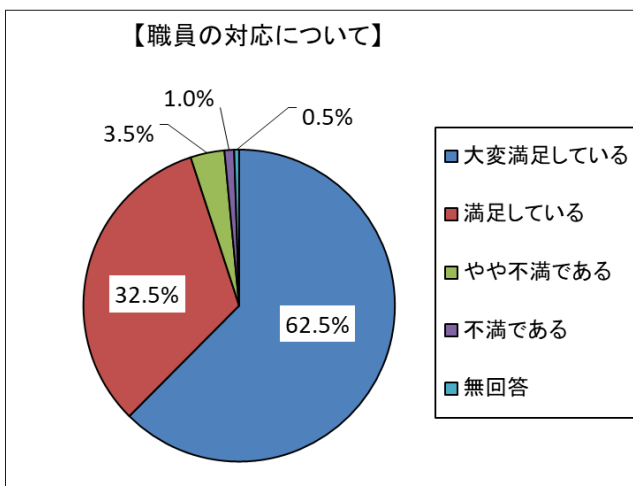
4 調査結果





※「やや不満」「不満」の理由
 ・園庭がないため外遊びが少ない
 ・保育時間の融通がきかない など

※「やや不満」「不満」の理由
 ・狭い
 ・園庭がない など



【自由意見】 99 件

- ・小規模保育園卒園後に通える保育所・認定こども園を増やしてほしい 18 件
- ・定員が少ないため保育士と園児がより深く関わることができて満足 他

XII 事業所内保育

1 調査方法

事業所内保育を実施している施設（19 箇所）で、調査期間中の利用者に施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集。

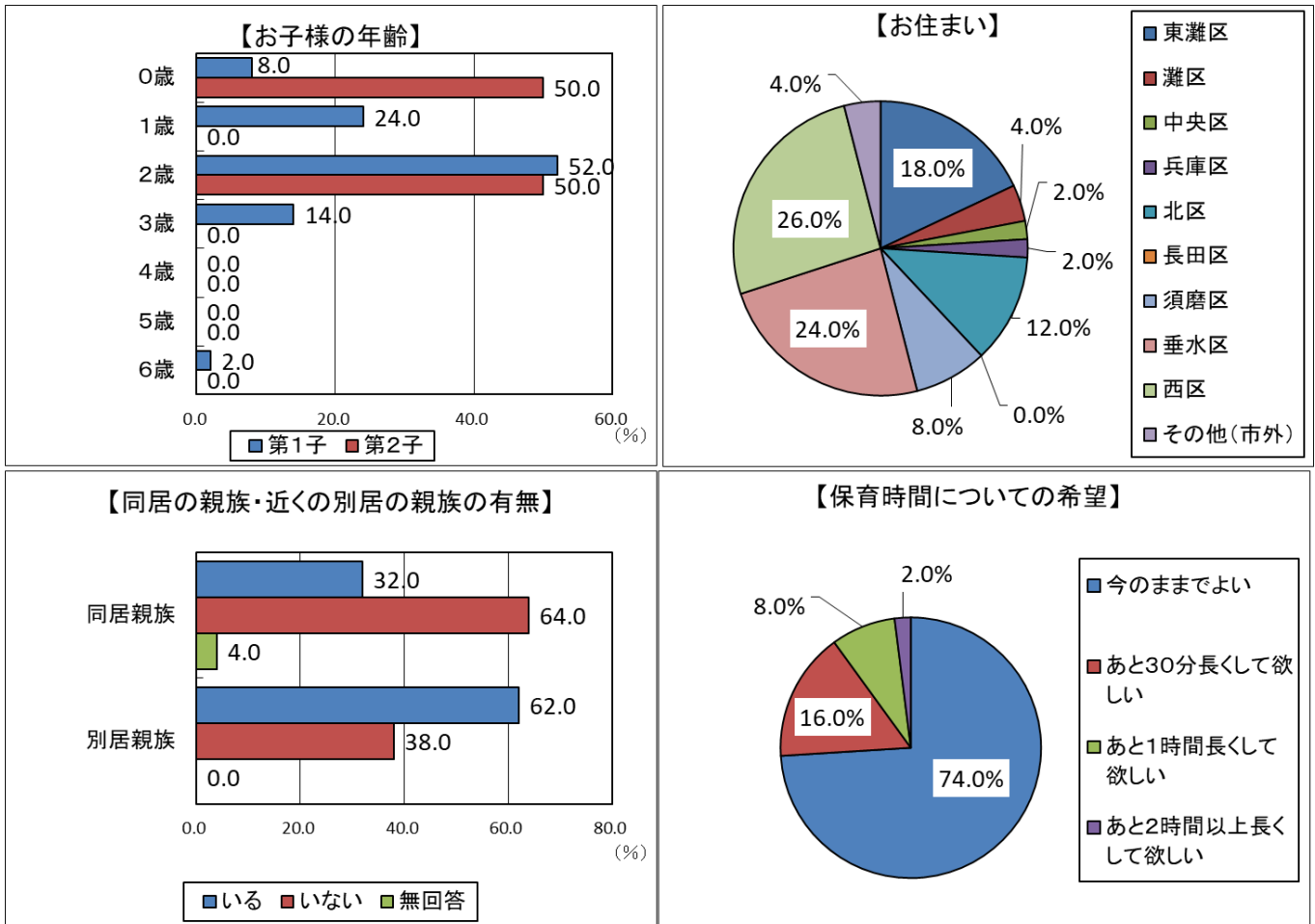
2 調査期間

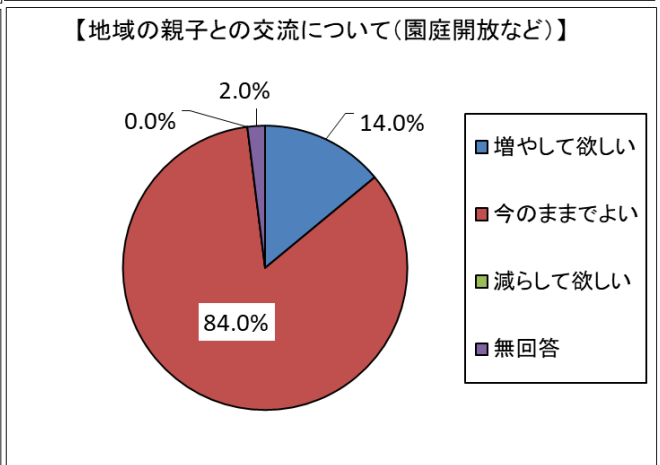
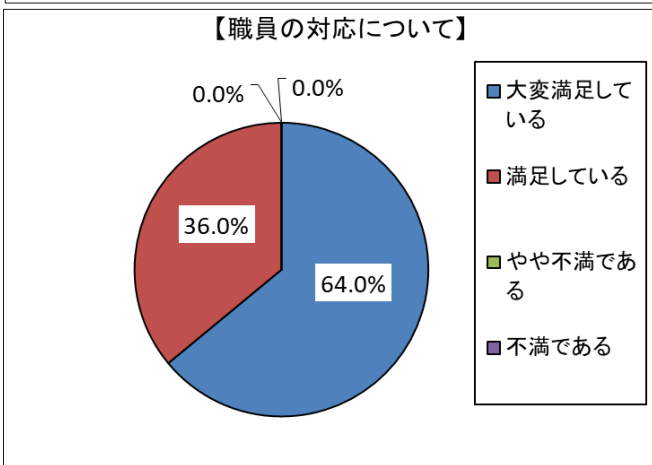
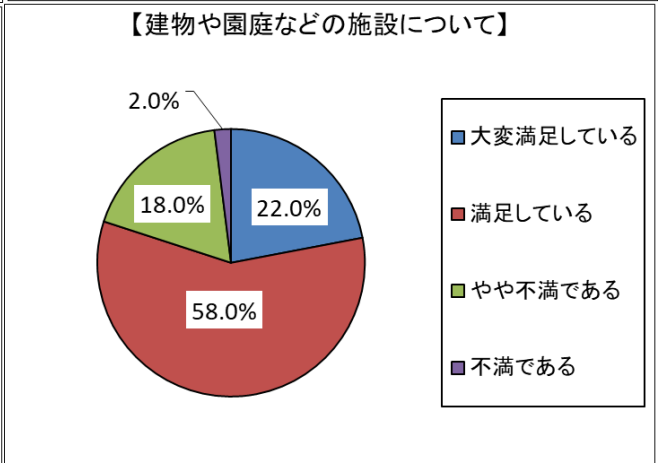
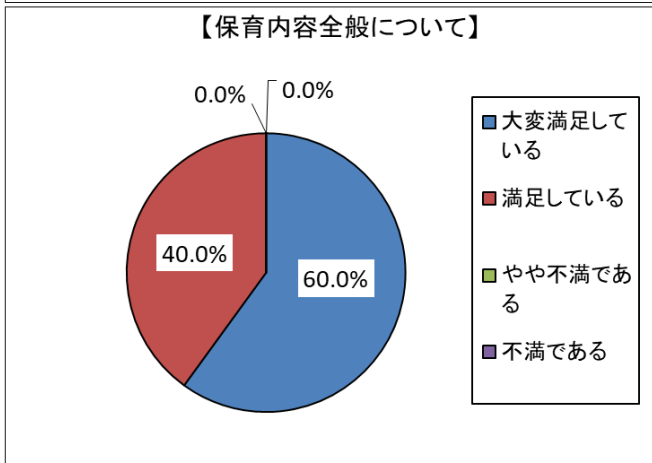
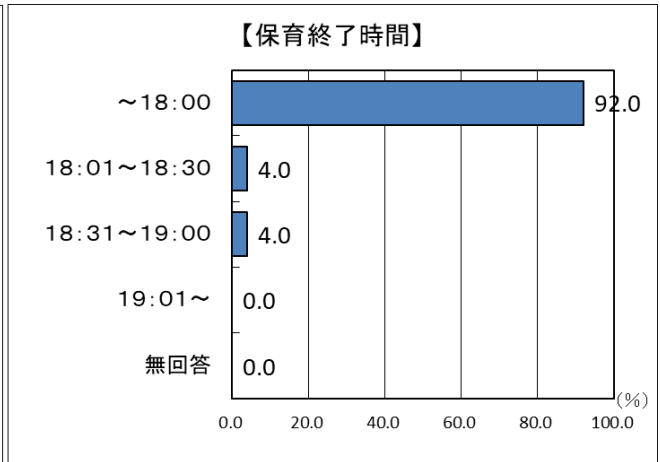
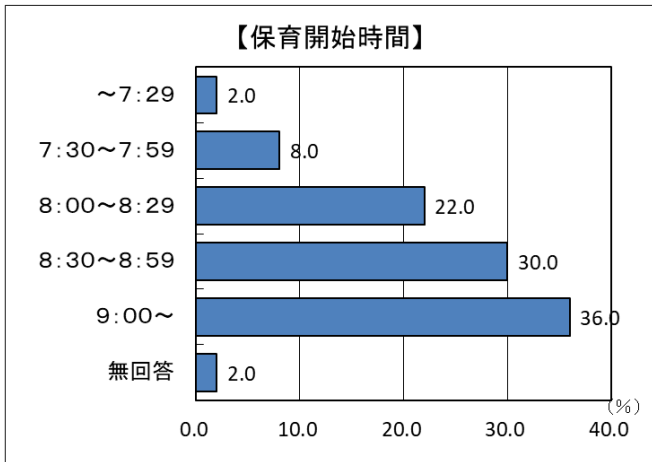
令和3年9月

3 配布等

- (1) 配布数 94 セット
- (2) 回収数 50 サンプル
- (3) 回収率 53.2%

4 調査結果





【自由意見】 11件

- ・ 転園先が見つかるか不安
- ・ 職員室にシュレッダーが置いてあり、子どもの出入りがあるため心配
- ・ お昼ご飯の後に歯磨きの時間を設けてほしい

他

XIII 家庭的保育

1 調査方法

家庭的保育を実施している施設（24 箇所）で、調査期間中の利用者に施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集。

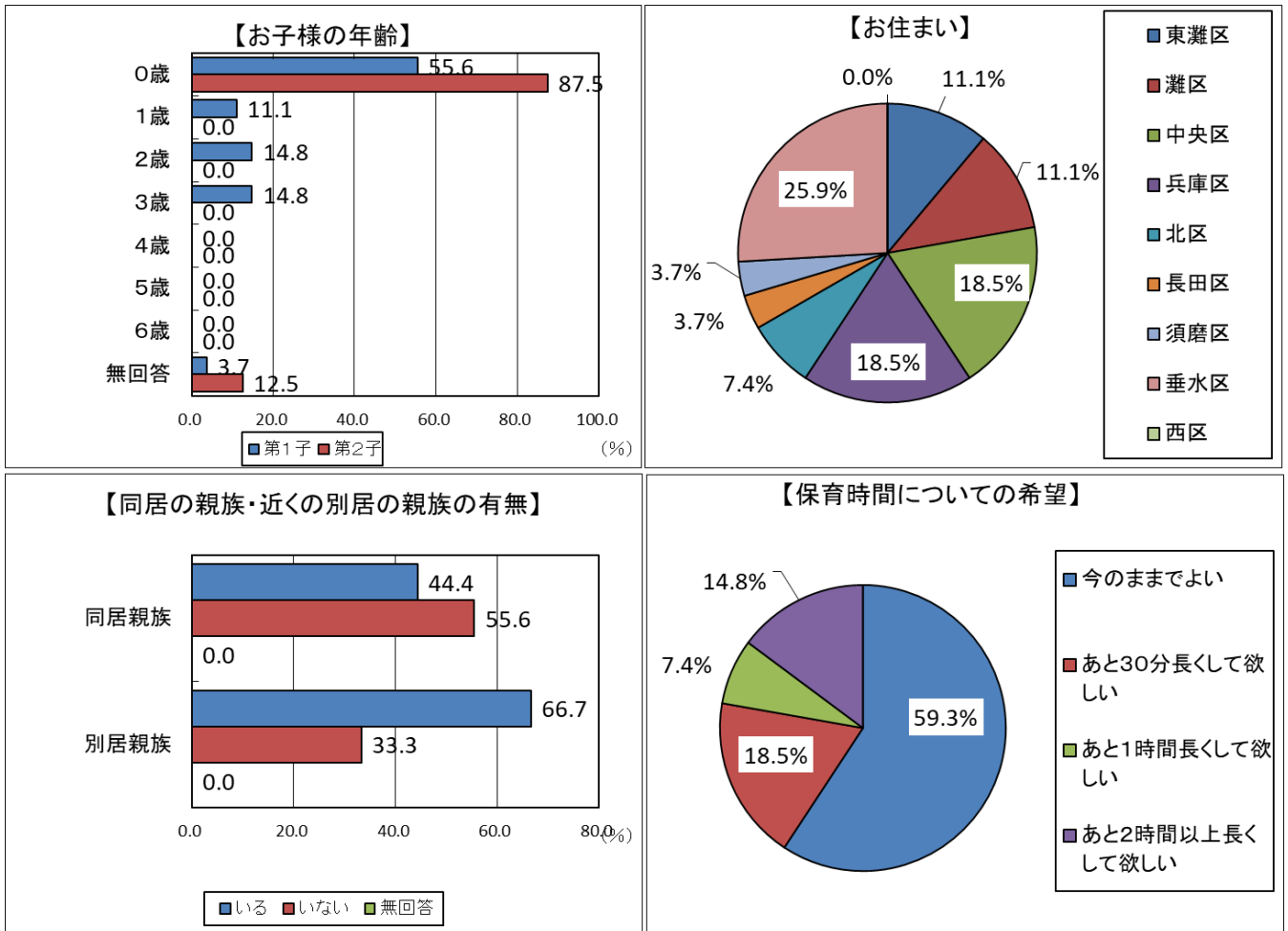
2 調査期間

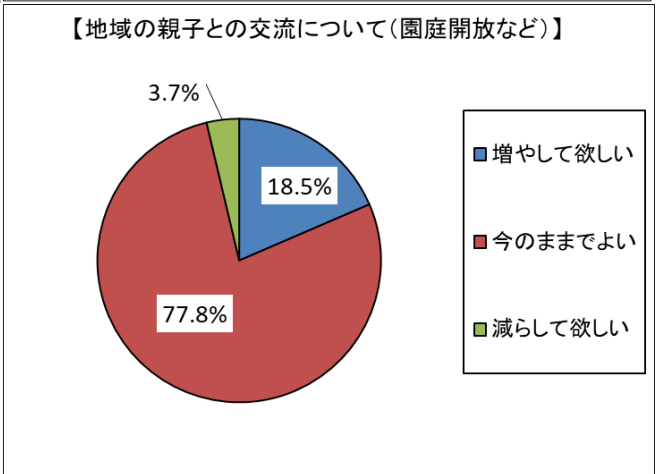
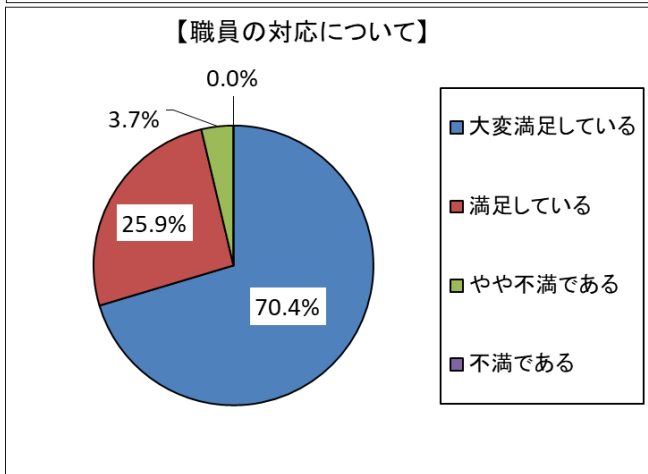
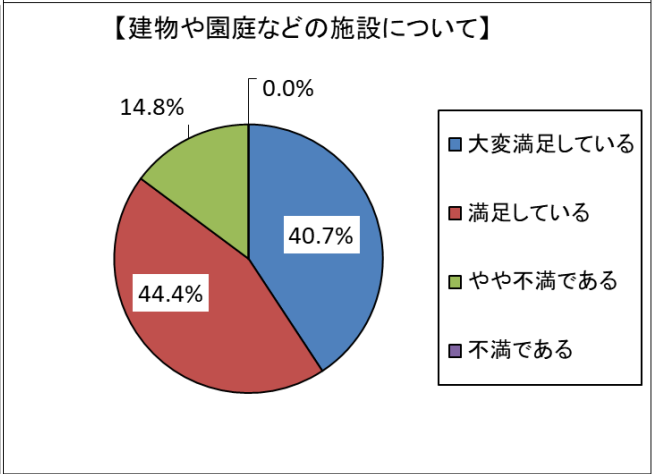
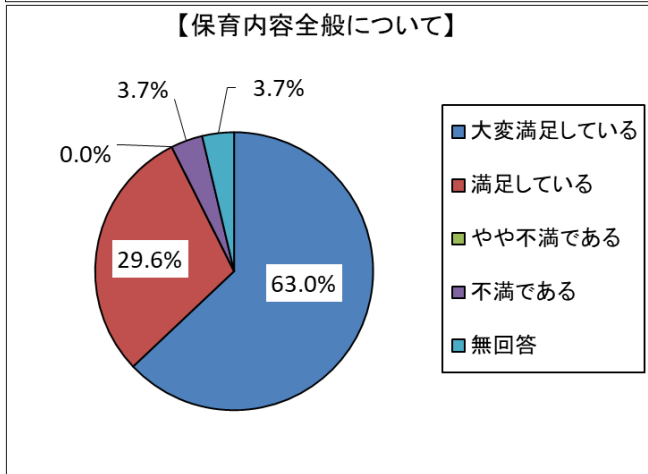
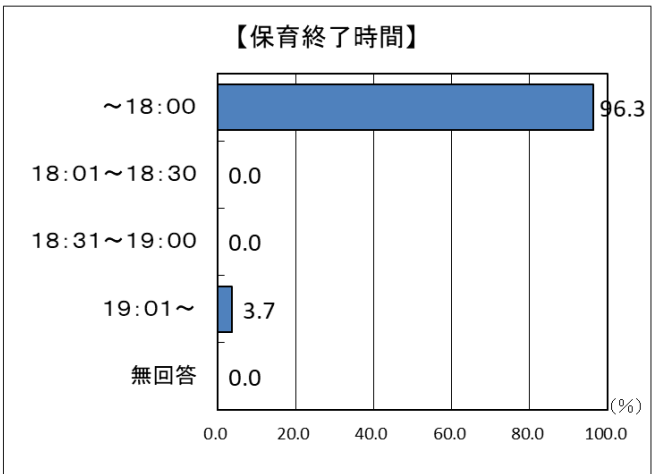
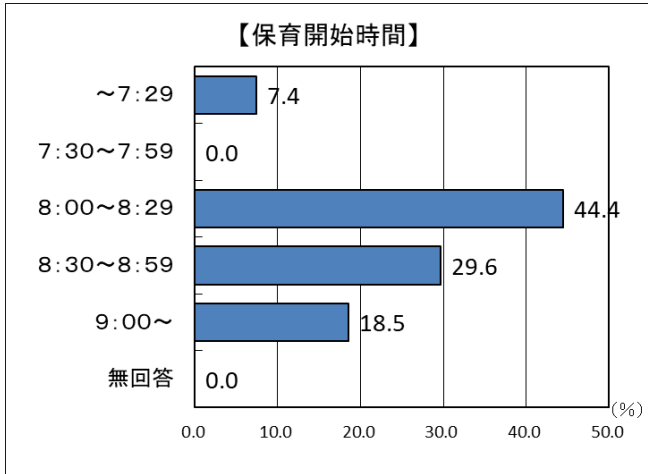
令和3年9月

3 配布等

- (1) 配布数 67 セット
- (2) 回収数 27 サンプル
- (3) 回収率 40.3%

4 調査結果





【自由意見】 3件

- ・施設でどんな風に過ごしているか実際に見てみたい。
- ・自分のニーズに合った施設に預けることができよかった。
- ・子どもを見ていただいてとても感謝している。

(5) 事業所調査結果

1 調査方法

市内事業所のうち、従業員数 101 人以上の事業所の事業主に対して二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集。

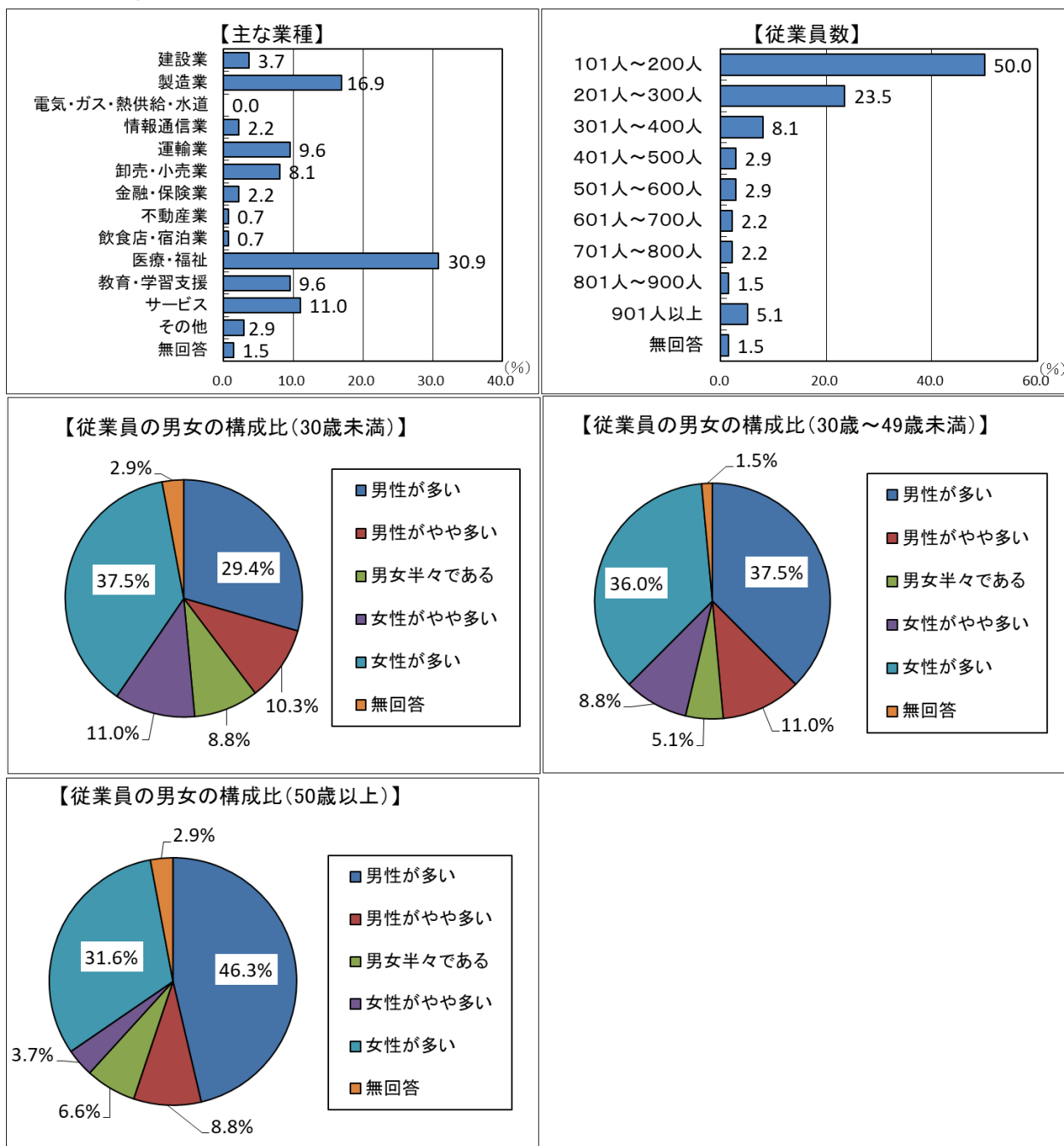
2 調査期間

令和 3 年 9 月

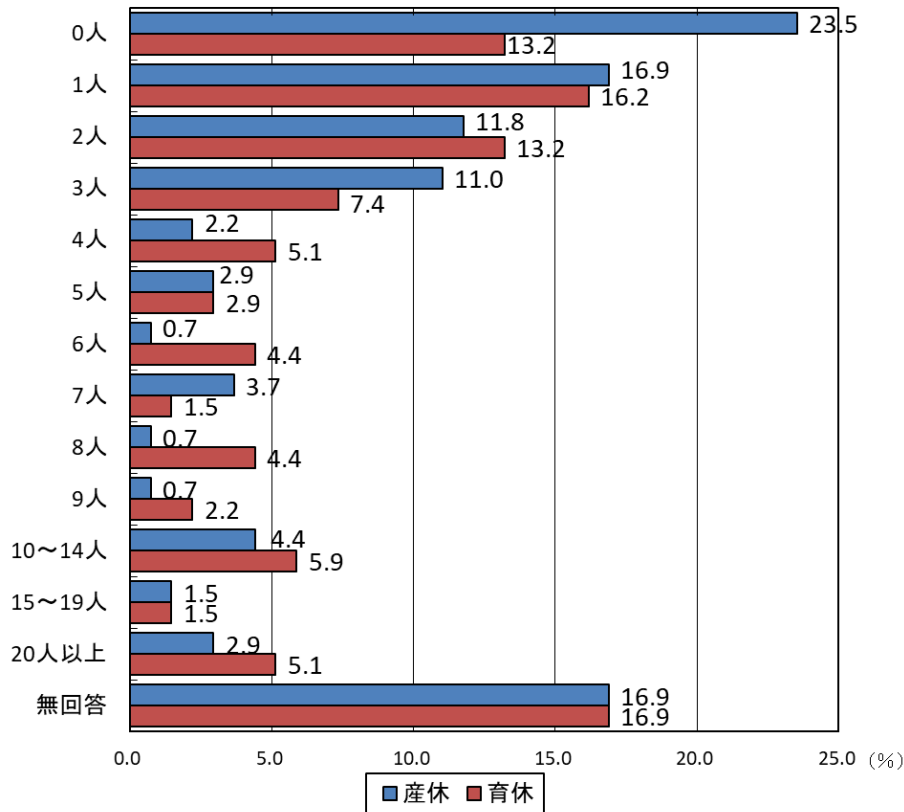
3 配布等

- (1) 配布数 689 セット
- (2) 回収数 146 サンプル
- (3) 回収率 21.2%

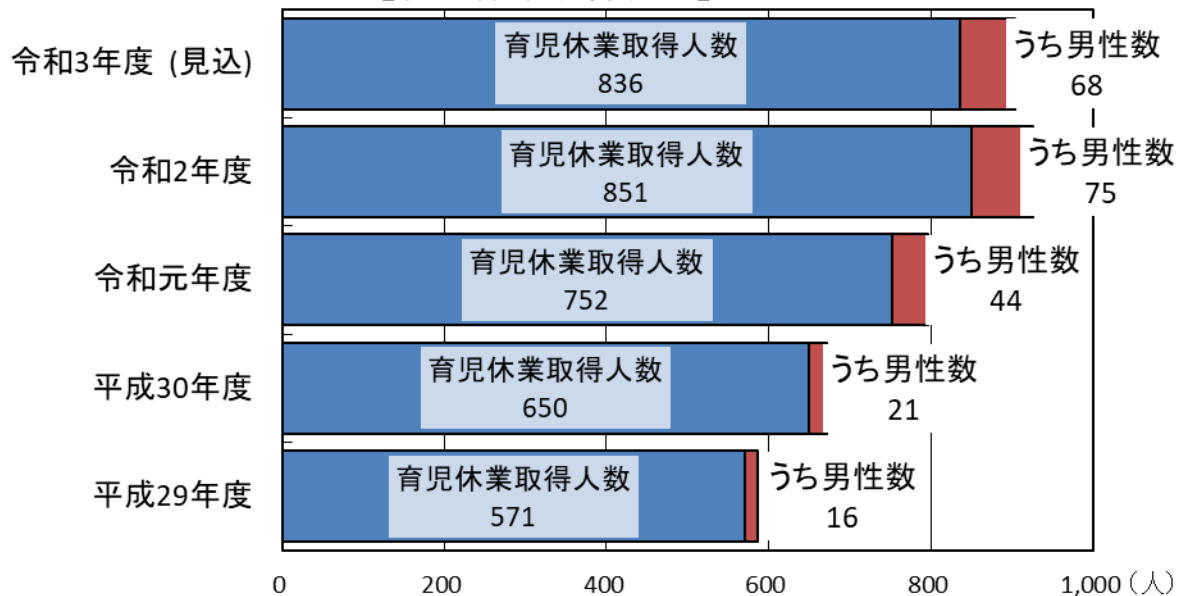
4 調査結果



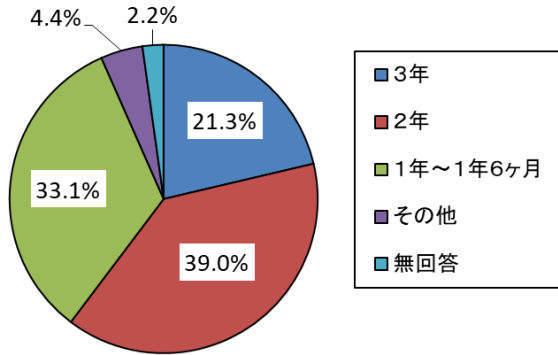
【産休・育休の取得状況(令和3年度)(見込み)】



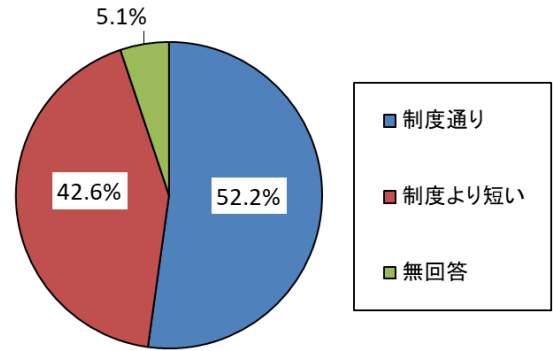
【育児休業取得状況】



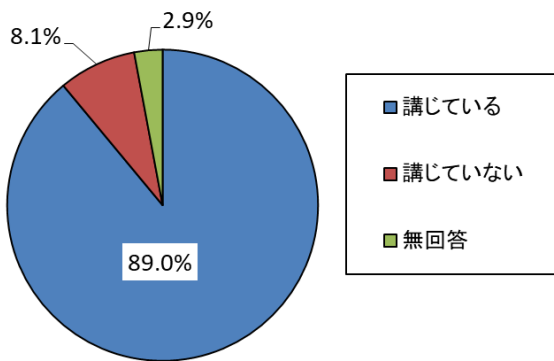
【育児休業の期間について】



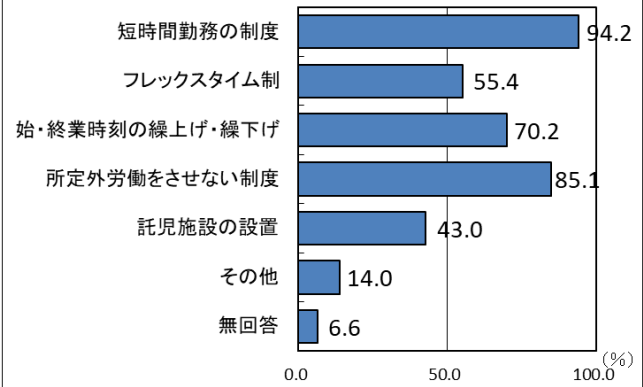
【育児休業の取得状況について】



【労働時間の短縮等の措置について】



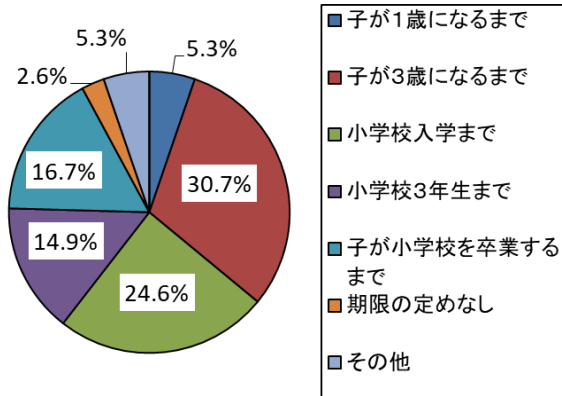
【育児支援のために講じている施策について】



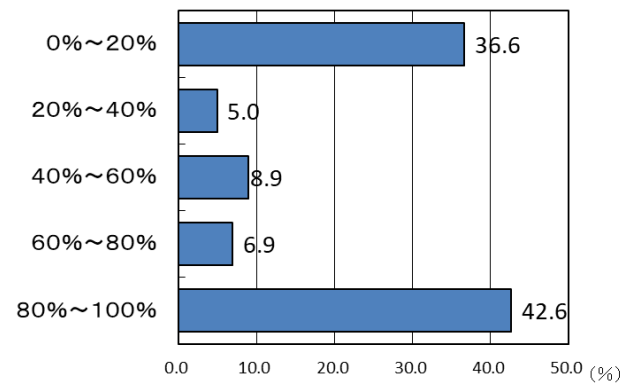
※「その他」の回答としては、

- ・時間外労働、深夜業の制限
- ・子の看護休暇
- ・パパママ活躍推進手当（延長保育料などを一部補助） など

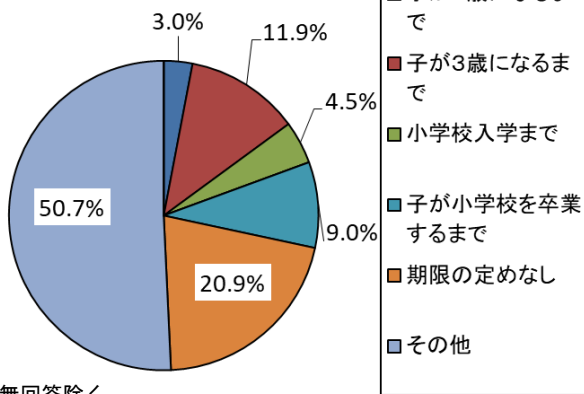
【短時間勤務の制度（取得期間）】



【短時間勤務の制度（利用割合）】

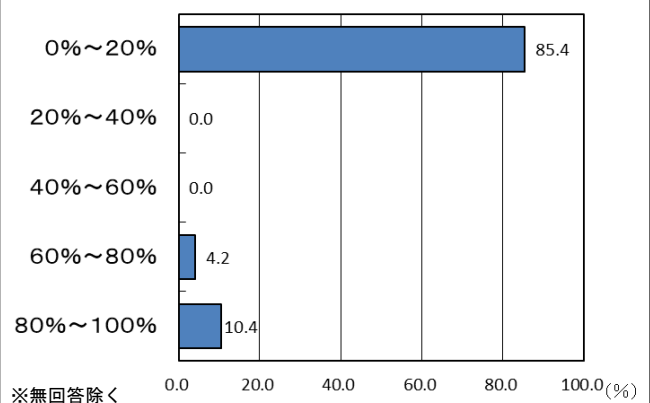


【フレックスタイム制(取得期間)】



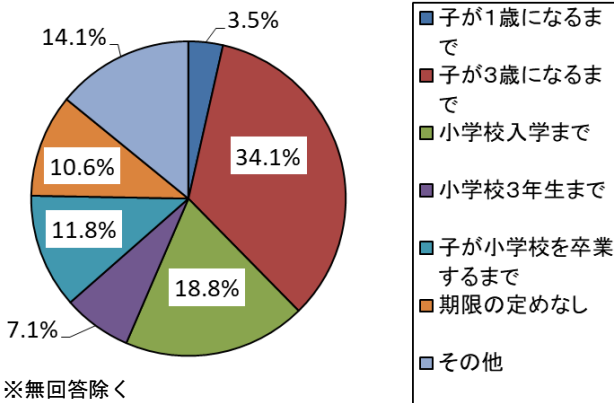
※無回答除く

【フレックスタイム制(利用割合)】



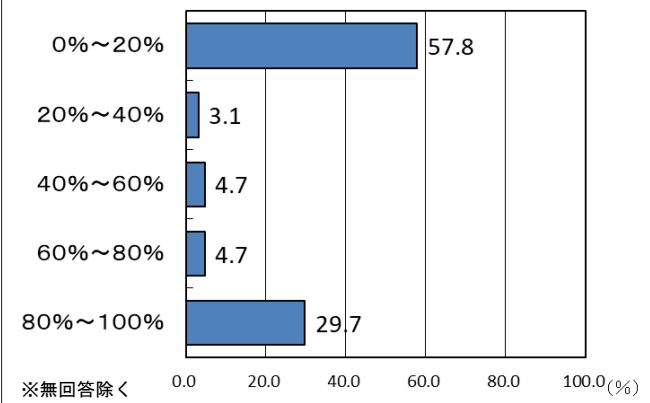
※無回答除く

【始・終業時刻の繰上げ・繰下げ(取得期間)】



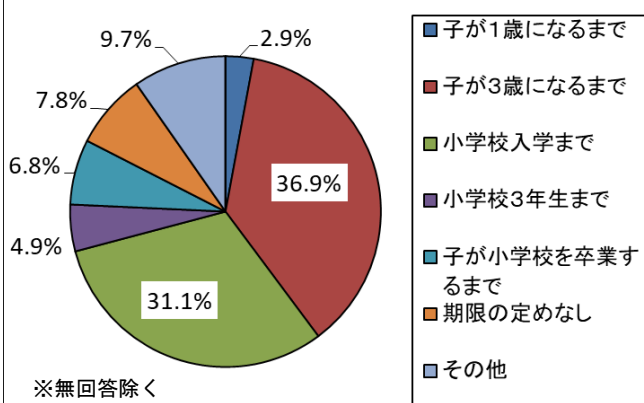
※無回答除く

【始・終業時刻の繰上げ・繰下げ(利用割合)】



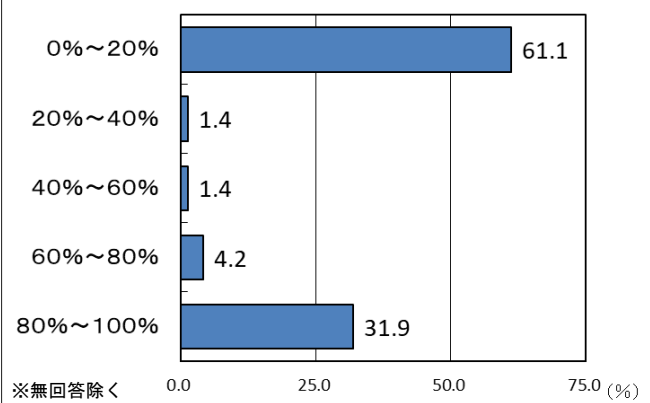
※無回答除く

【所定外労働をさせない制度(取得期間)】



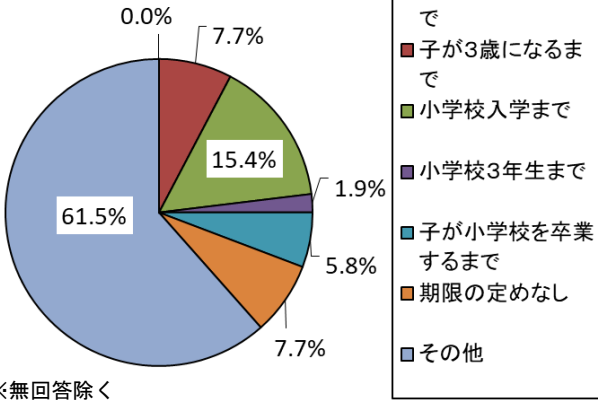
※無回答除く

【所定外労働をさせない制度(利用割合)】



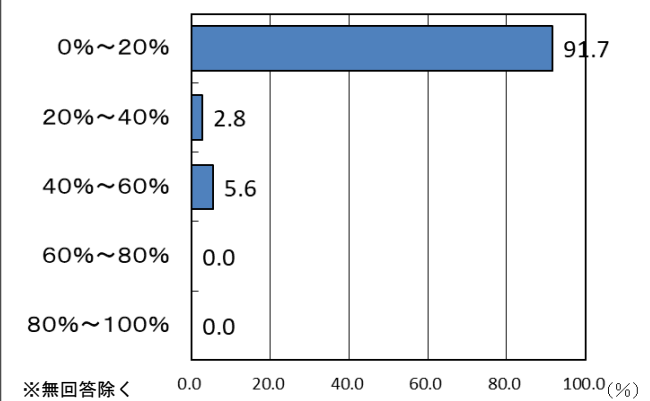
※無回答除く

【託児施設の設置(取得期間)】



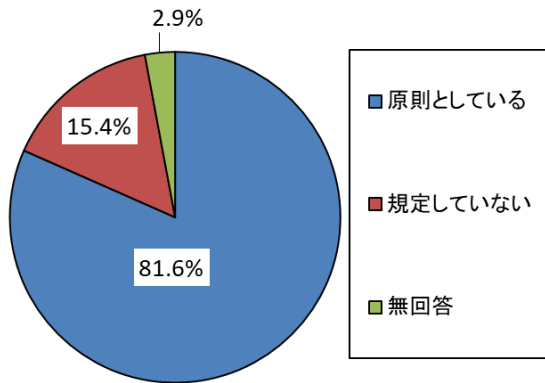
※無回答除く

【託児施設の設置(利用割合)】

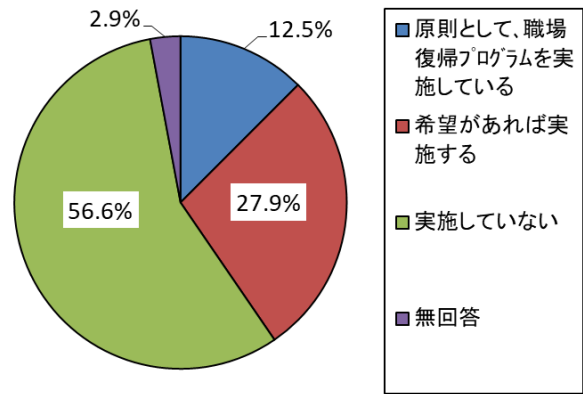


※無回答除く

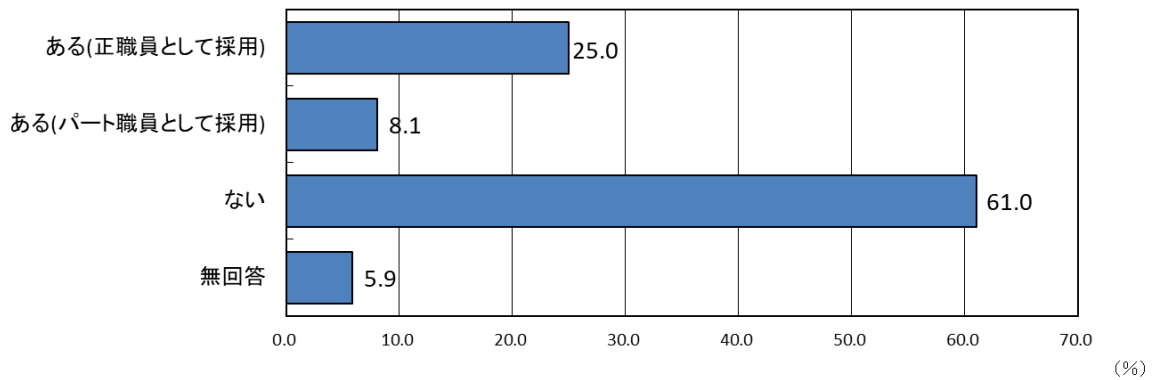
【現職復帰を原則としているか】



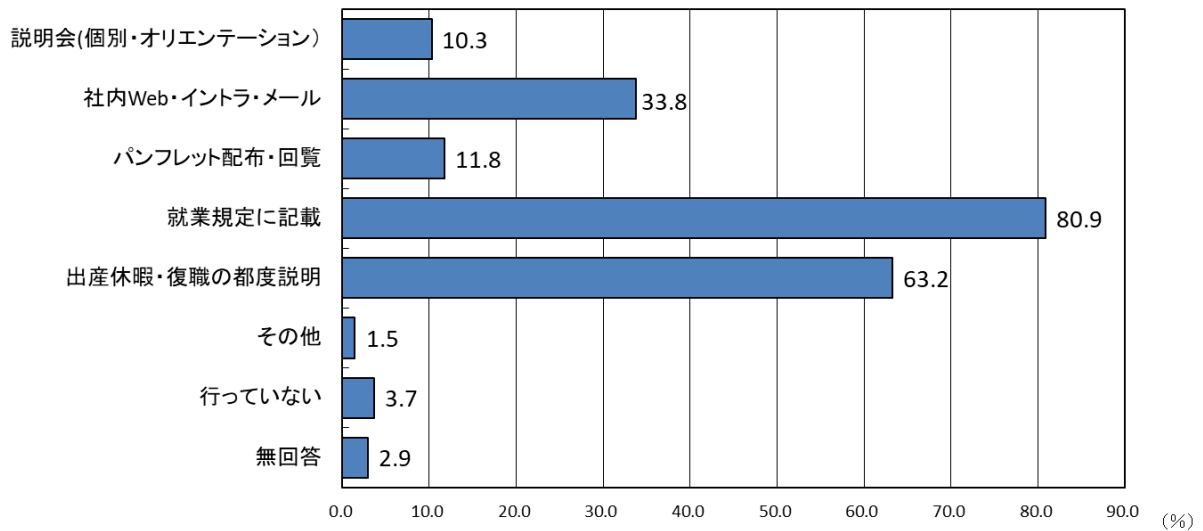
【育児休業からの復帰プログラム】



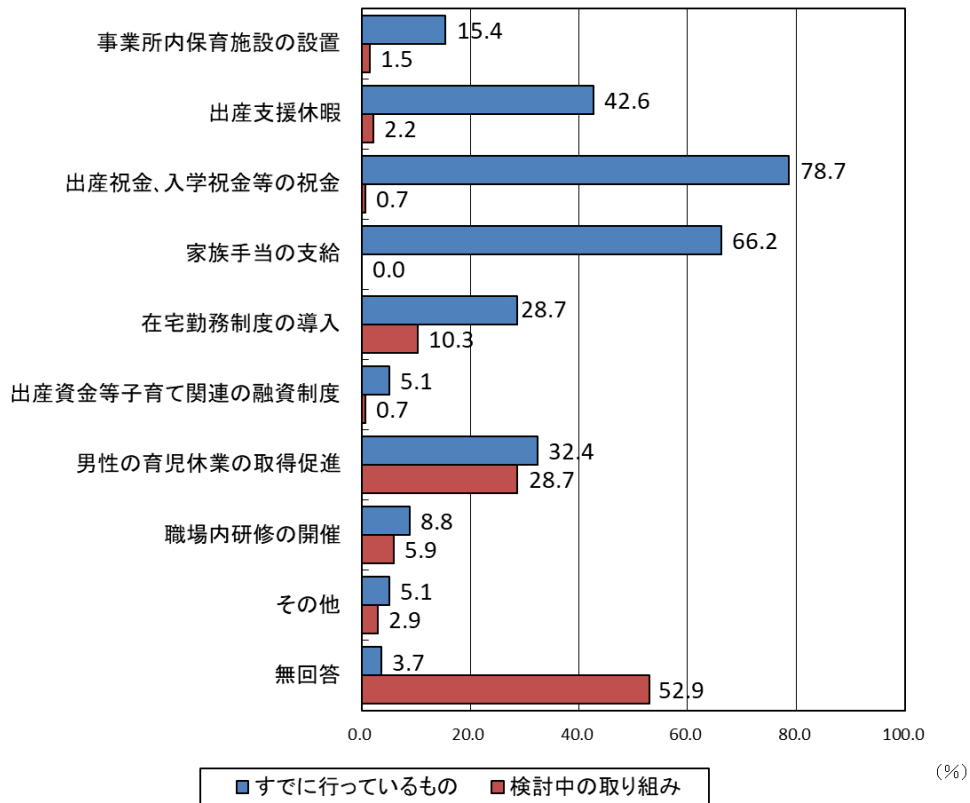
【従業員の再雇用制度の有無】



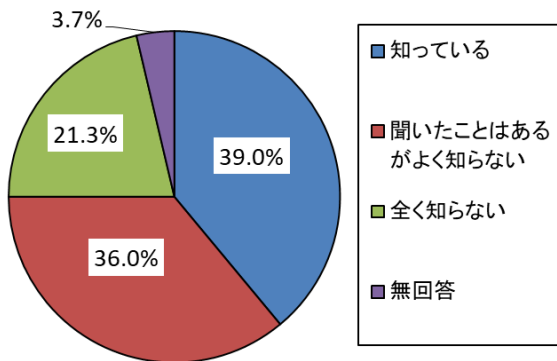
【制度を周知するための取り組みを行っているか】



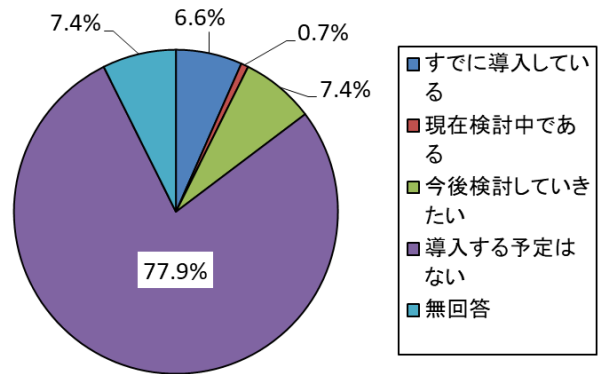
【子育て支援のための対策としての考え】



【企業主導型保育事業を知っていますか】



【企業主導型保育事業の今後の導入予定】



【子育て支援施策を推進するために、行政に望むこと（自由記述）】

- ・待機児童の解消・保育所整備 9件
- ・保育士の賃金の引上げ 3件
- ・学童保育の充実 2件
- ・病児保育の充実 2件
- ・公的支援のわかりやすい案内
- ・施設運営に関する個別アドバイス など

3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

本市事業名		指標 (単位)	令和2年度		令和3年度	
			計画値	実績値	計画値	実績値
延長保育事業	量の見込み	実人数 (人)	3,725	3,648	3,717	
	確保方策		3,725	3,648	3,717	
幼稚園預かり保育事業	量の見込み	延べ人数 (人日)	891,633	690,563	896,068	
	確保方策		891,633	690,563	896,068	
一時保育事業	量の見込み	延べ人数 (人日)	76,150	35,940	74,180	
	確保方策		76,150	35,940	74,180	
病児保育事業	量の見込み	延べ人数 (人日)	20,873	4,195	20,829	
	確保方策		25,680	30,020	25,680	
保育サービスコーディネーター	量の見込み	箇所数 (箇所)	12 (16人)	12 (16人)	12 (16人)	
	確保方策		12 (16人)	12 (16人)	12 (16人)	
子育てリフレッシュステイ事業 ※単位：延べ人数	量の見込み	ショート ステイ	2,122	1,082	1,897	
		デイ サービス	2,164	1,337	1,969	
	確保方策	ショート ステイ	2,122	1,082	1,897	
		デイ サービス	2,164	1,337	1,969	
地域子育て支援センター事業・大 学と連携した子育て支援事業・児 童館における親子館事業	量の見込み	延べ人数 (人日)	51,143	-	50,442	
	確保方策	箇所数 (箇所)	12・9・ 120	12・9・ 120	12・9・ 120	
		※確保方策は、左から地域子育て支援センター事業・大学と連携した子育て支援事業・児童館における親子館事業の順				
ファミリー・サポート・センター 事業	量の見込み	週あたり 延べ人数 (人)	554	147 (58)	550	
	確保方策		245	147 (58)	314	
新生児訪問指導事業	量の見込み	実人数 (人)	10,280	9,622	10,128	
	確保方策	実施体制 (人)	160	236	160	

本市事業名		指標 (単位)	令和2年度		令和3年度	
			計画値	実績値	計画値	実績値
保健師による相談・指導	量の見込み	実人数 (人)	2,058	1,031	2,085	
	確保方策	実施体制 (人)	58	154	58	
産前産後ホームヘルプサービス事業	量の見込み	延べ人数 (人)	2,301	1,945	2,531	
	確保方策	実施体制 (事業所)	15	13	15	
養育支援ヘルパー派遣事業	量の見込み	延べ人数 (人日)	163	274	175	
	確保方策		15	13	15	
妊婦健康診査事業	量の見込み	妊娠 届出数 (人)	11,350	10,284	11,183	
		受診回数 (回)	143,010	114,464	140,906	
	確保方策	実施場所 実施体制	産科婦人科医療機関・助産所			
放課後児童クラブ	量の見込み	小学1年生	5,328	4,712	5,434	
		小学2年生	4,442	4,488	4,509	
		小学3年生	3,505	3,351	3,551	
		小学4年生	1,989	2,122	2,037	
		小学5年生	775	843	784	
		小学6年生	576	353	578	
	合計	16,615	15,869	16,893		
確保方策		16,615	15,869	16,893		

4. 令和2年度 主な事業進捗状況

1. 仕事と子育ての両立支援

保育ニーズに対応した受入れ枠の確保として、潜在的な保育需要や女性の就労機会の増加を踏まえ、保育所待機児童解消のため、保育所等の新設や幼稚園から認定こども園への移行、小規模保育事業所等の整備等により約 900 人分の保育定員を拡大したことに伴い、待機児童数は令和2年4月の52人から令和3年4月には11人と過去最少となりました。

また、保育人材の確保・定着支援として、新卒保育士等に対する一時金の給付および採用3～7年目の職員に対する定着一時金の給付、採用1～7年目までの保育士等の宿舍の借り上げ費用に対する補助等を行うとともに、登降園管理・午睡チェック等のシステム導入に要する経費に対して引き続き補助を行い、令和3年度までに希望する園の導入率100%を目指します。

さらに、多様な保育ニーズに対応するため、病児保育施設を新たに2か所増設するとともに、延長保育や預かり保育等を行う実施園数の拡大を図りました。

2. 妊娠・出産・子育て期の支援

多子世帯への支援の充実として、幼児教育・保育の無償化の対象外である住民税課税世帯の0～2歳児の保育料について、多子計算に係る同時在園要件の所得制限を撤廃し、すべての世帯において第2子半額・第3子以降を無償にしました。加えて、一時保育利用料の減免や保育所等における副食費の第3子以降無償化を行いました。

また、若年妊婦等に対する支援の充実として、思いがけない妊娠など支援が必要な若年妊婦等に対して、民間団体を活用し、新たに夜間・休日における相談体制を確保しました。

さらに、産後の育児不安が強い母親を対象に、宿泊・通所を通して、母体のケアや育児に対する手厚い支援と相談を行うため、利用者負担額の引き下げ、実施施設の拡大、利用可能日数の拡大を行い、産後ケア事業の充実を図りました。

3. 特に支援が必要な子どもたち・家庭への支援

児童虐待に係る相談・通報への対応強化として、こども家庭センターに児童虐待対応担当課長1名を含む児童福祉司9名及び児童心理司2名を増員し、各区役所のこども家庭支援課に家庭支援担当係長を配置しました。また、法律的判断を伴う児童虐待に対応するため、引き続き常勤の弁護士を配置するとともに、警察との緊密な連携を図り、より迅速な対応を行うため、現職の警察官を児童虐待対策担当課長として新たに配置しました。

さらに、家庭的な環境で児童の養育を行うファミリーホームの1か所増設や児童養護施設におけるアフターケア体制の強化として、児童退所後の支援を行う職員を配置した場合の加算制度を設け、7施設で活用されるなど社会的養護体制の充実に取り組みました。

4. 地域における子育て支援・青少年の健全育成

就学前の子どもが遊びを通して体力・知力の向上を図ることができるよう、室内で安全に思い切り遊べる拠点「こべっこあそびひろば」を新たに六甲アイランドに整備するとともに、子育て

中の親と子が孤立しないよう、気軽に集える「おやこふらっとひろば」を新たに5つ（東灘、灘、北、長田、須磨）の区役所で開設しました。

また、都心・三宮再整備に伴い、青少年会館のハーバーランドへの移転に向けた整備を進めました。

5. 幼児期の教育・保育の質の向上・小学校教育との連携

乳幼児期における遊びの重要性を、家庭、地域に啓発するため、発信内容および発信方法等について検討を行うとともに、「教育・保育部会」において議論を行いました。

6. 子育てしやすい社会環境づくりと啓発

神戸市子育て応援サイト「ママフレ」を中心に、「切れ目のない子育て支援」や「子育て環境の良さ」をわかりやすく市内外に情報発信するとともに、市民目線で子育て情報を発信する「KOBEMAMAフレ部」を立ち上げ、神戸市で実際に子育てをする部員による子育て情報の発信を展開しました。

また、子育て世帯にやさしい環境づくりとして、街中街灯の増設・LED化を行うとともに、子育てにやさしい駅前駐輪場の整備として、市営駐輪場においてチャイルドシート付自転車等を使用する方が駐輪しやすいよう、幅の広い区画(ママフレエリア)の整備を11か所で行いました。